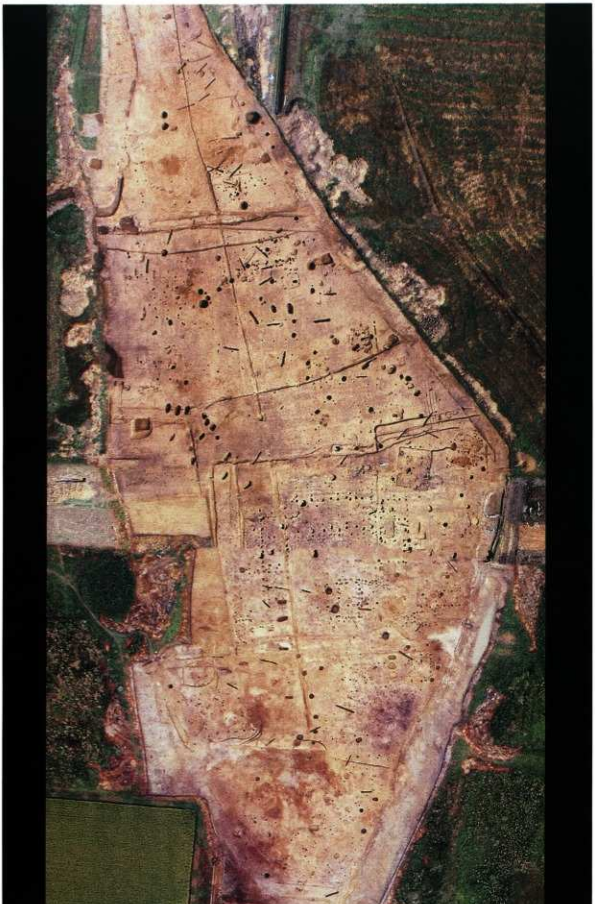
水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書　第17集

下植田遺跡 Ⅱ

姉体地区圃場整備事業（担い手育成区画整理型）に伴う緊急発掘調査

2003

財団法人　水沢市文化振興財団
水沢市埋蔵文化財調査センター



下植田遺跡全体合成写真

下植田遺跡 Ⅱ

姉体地区圃場整備事業（担い手育成区画整理型）に伴う緊急発掘調査

序　文

「水陸万頃」といわれる日高見の地には、原始古代から埋蔵文化財も含めて有形無形の文化遺産がたくさんあります。それらの多くは祖先のたゆまぬ努力で代々受け継がれ守られてきています。その恩恵の中に今の私たちの生活があります。

当調査センターでは、水沢市教育委員会をはじめ関係機関のご指導ご支援のもとに、これらの歴史・文化遺産に直に接することができる場として展示公開・情報提供を行ってきました。

下植田遺跡は、岩手県内陸南部を南流する北上川の右岸姉体低地の微高地上に位置しています。国事業の圃場整備に伴ない、当センターが平成11・12・13年の3ヵ年にわたり発掘調査を実施しました。

調査の結果、縄文時代の陥し穴状遺構や平安時代の竪穴住居跡、近世の屋敷跡とみられる遺構が確認されました。中でも近世の屋敷跡は［安永風土記］記載の「胆沢郡下胆沢中野村」屋敷名65軒の1つ『下植田屋敷1軒』に相当するのではと考察しており、文献資料の実証につながる屋敷跡と思っております。ぜひご高覧頂きまして至らぬ所をご教示いただければ幸いです。

尚、本書は平成11年度調査の報告書～水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第14集～に引き続くものとなります。

最後となりましたが、調査の円滑な実施にご理解とご協力をいただきました地元住民の皆様、発掘作業や室内作業等で献身的に働いていただいた皆様、並びに関係諸機関に対しまして厚くお礼申し上げます。

平成15年３月

水沢市埋蔵文化財調査センター
所長　山口了紀

例　　言

1　この報告書は姉体地区圃場整備事業（担い手育成区画整理型）に伴い平成12年度、13年度に実施された下植田遺跡の発掘調査の報告である。
2　岩手県の遺跡台帳に登録されている遺跡番号はNE16-0102で、遺跡の略号は平成12年度調査がSUD-00、平成13年度調査がSUD-01である。
3　発掘調査は平成12年度調査が平成12年4月5日から同年8月4日まで実施し、平成13年度調査は平成13年6月11日から同年9月7日まで実施した。
4　整理作業は平成12年8月5日から平成13年3月23日まで（平成12年度分）、平成13年9月8日から平成14年3月22日まで（平成12、13年度分）、平成14年4月10日から平成15年3月22日まで（平成12、13年度分）実施した。
5　発掘調査及び室内整理作業は平成12年度を佐藤良和、横山郁子が担当し、平成13年度及び14年度を佐藤良和、櫻庭育美が担当した。
6　原稿の執筆及び編集はすべて佐藤良和が行い、それを櫻庭育美が補佐した。
7　調査対象面積は平成12年度が4,000㎡、平成13年度は2,900㎡である。
8　遺構の平面位置は平面直角座標第Ⅹ系で表示し、高さは標高値をそのまま使用している。
9　土層の観察にあたっては「新版標準土色帳」（小山正忠・竹原秀雄（1995））を参項にした。
10　遺構名称は柱穴列跡にはSA、溝跡にはSD、井戸跡にはSE、竪穴住居跡にはSI、土坑跡にはSK、その他にはSX、柱穴にはPを冠した。平成12年度調査で検出した遺構は2000番台、平成13年度に検出した遺構は3000番台とし、下二桁に関しては本遺跡調査における各遺構の通し番号を付している。たとえばSI2003は平成12年度に調査した下植田遺跡3棟目の竪穴住居跡という意味である。
11　掘立柱建物跡は整理作業時に精査し、SBを冠し任意の通し番号を付した。
12　現地事務所の造成は平成13年度に実施し、（株）菅原組に委託した。
13　基準点測量及び遺構配置図作成は（株）アクト技術開発に委託した。
14　空中写真撮影は（株）アクト企画に委託した。
15　遺跡全景合成写真は（有）キュービックが製作した。
16　現地での発掘調査や室内での整理作業にあたり、地元の方々をはじめとして、以下の関係機関及び諸氏からご指導、御協力を得た。

水沢地方振興局農村整備事務所　　水沢市教育委員会　　羽柴直人

17　使用した地形図は国土地理院発行5万分の1「水沢・北上」及び水沢市発行、2500分の1地形図を使用した。
18　遺構の図版は原則として1/60とし、それ以外のものにはスケールを付した。
19　遺構の平面図はページの上方を北とし、それ以外のものには方位を付した。
20　遺物の図版は原則として1/3とし、それ以外のものにはスケールを付した。
21　図版に使用したスクリーントーンは以下の内容を示す。

……黒色処理　　
……地山　　
……施釉部分

22　写真図版の縮尺は不定である。
23　野外調査に伴う出土遺物及び諸記録、室内整理の諸記録は水沢市埋蔵文化財調査センターに保管してある。

下植田遺跡発掘調査報告書　Ⅱ

姉体地区圃場整備事業（担い手育成区画整理型）に伴う緊急発掘調査

目　　次

巻頭カラー

序　文

例　言

〔本　　文〕

Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… 1

Ⅱ　調査の方法 …… 1

Ⅲ　基本土層 …… 1

Ⅳ　平成12年度調査の報告

1　遺構と遺物の概要 …… 7

2　竪穴住居跡 …… 7

3　土坑跡 …… 17

4　近世と思われる遺構群

柱列跡 …… 51

掘立柱建物跡 …… 52

溝跡 …… 53

井戸跡 …… 54

その他性格不明遺構 …… 63

5　遺構外出土遺物 …… 70

Ⅴ　まとめ

1　縄文時代 …… 70

2　平安時代 …… 70

3　近世以降 …… 72

Ⅵ　平成13年度調査の報告

1　遺構と遺物の概要 …… 134

2　竪穴住居跡 …… 134

3　土坑跡 …… 136

4　掘立柱建物跡 …… 148

5　井戸跡 …… 148

6　溝跡 …… 159

7　馬蹄形状周溝 …… 160

8　その他不明遺構 …… 164

9　遺構外出土遺物 …… 166

10 まとめ …… 169
Ⅶ 3ヶ年調査のまとめ
1 縄文時代 …… 170
2 平安時代 …… 173
3 近世 …… 175

[図 版]

第1図 水沢市内遺跡位置図 …… 2
第2図 下植田遺跡周辺地形図 …… 3
第3図 基本土層 …… 4
第4図 平成12年度調査遺構配置図 …… 5
第5図 SI01竪穴住居跡 …… 6
第6図 SI2003竪穴住居跡（1） …… 8
第7図 SI2003竪穴住居跡（2） …… 10
第8図 SI2003竪穴住居跡（3） …… 11
第9図 SI2003竪穴住居跡（4） …… 12
第10図 SI2004竪穴住居跡（1） …… 14
第11図 SI2004竪穴住居跡（2） …… 15
第12図 SI2005竪穴住居跡 …… 16
第13図 土坑跡（1） …… 17
第14図 土坑跡（2） …… 18
第15図 土坑跡（3） …… 19
第16図 土坑跡（4） …… 20
第17図 土坑跡（5） …… 21
第18図 土坑跡（6） …… 22
第19図 土坑跡（7） …… 23
第20図 土坑跡（8） …… 24
第21図 土坑跡（9） …… 25
第22図 土坑跡（10） …… 26
第23図 土坑跡（11） …… 27
第24図 土坑跡（12） …… 28
第25図 土坑跡（13） …… 29
第26図 土坑跡（14） …… 30
第27図 土坑跡（15） …… 31
第28図 土坑跡（16） …… 32
第29図 土坑跡（17） …… 33
第30図 土坑跡（18） …… 34
第31図 土坑跡（19） …… 35
第32図 土坑跡（20） …… 36
第33図 土坑跡（21） …… 37
第34図 土坑跡（22） …… 38
第35図 土坑跡（23） …… 39
第36図 土坑跡（24） …… 39
第37図 土坑跡（25） …… 40
第38図 土坑跡（26） …… 40
第39図 土坑跡（27） …… 41
第40図 土坑跡（28） …… 42
第41図 土坑跡（29） …… 43
第42図 土坑跡（30） …… 45
第43図 土坑跡（31） …… 46
第44図 SA2001柱列跡 …… 51
第45図 SB2008掘立柱建物跡 …… 52
第46図 溝跡（1） …… 55
第47図 溝跡（2） …… 57
第48図 溝跡（3） …… 58
第49図 溝跡（4） …… 59
第50図 井戸跡（1） …… 60
第51図 井戸跡（2） …… 61
第52図 井戸跡（3） …… 62
第53図 SX2009遺構 …… 64
第54図 SX2008・2010遺構 …… 66
第55図 SX2011・2012遺構 …… 67
第56図 SX2013・2015遺構 …… 68
第57図 SX2016遺構 …… 69
第58図 遺構外出土遺物 …… 71
第59図 平成13年度遺構配置図 …… 133
第60図 SI3007竪穴住居跡 …… 134

第61図　SI3008竪穴住居跡 …… 135
第62図　SI3009竪穴住居跡 …… 136
第63図　土坑跡（1） …… 137
第64図　土坑跡（2） …… 138
第65図　土坑跡（3） …… 139
第66図　土坑跡（4） …… 140
第67図　土坑跡（5） …… 141
第68図　土坑跡（6） …… 142
第69図　土坑跡（7） …… 143
第70図　土坑跡（8） …… 144
第71図　土坑跡（9） …… 145
第72図　近世遺構群遺構配置図 …… 149
第73図　SB02掘立柱建物跡 …… 151
第74図　SB3009掘立柱建物跡 …… 152
第75図　SB3010掘立柱建物跡 …… 153
第76図　SB3011・3012掘立柱建物跡 …… 154
第77図　井戸跡 …… 155
第78図　井戸跡 …… 156
第79図　溝跡（1） …… 157
第80図　溝跡（2） …… 160
第81図　馬蹄形状周溝（1） …… 161
第82図　馬蹄形状周溝（2） …… 162
第83図　馬蹄形状周溝（3） …… 163
第84図　不明遺構（1） …… 165
第85図　不明遺構（2） …… 167
第86図　不明遺構（3）・遺構外出土遺物 … 168
第87図　下植田遺跡全体図 …… 171
第88図　土器比較図 …… 174
第89図　近世屋敷図（1） …… 176
第90図　近世屋敷図（2） …… 177

[写　真　図　版]

平成12年度調査分

写真図版１　調査区全景・SI01屋外溝
写真図版２　SI2003竪穴住居跡（1）
写真図版３　SI2003竪穴住居跡（2）
写真図版４　SI2003竪穴住居跡（3）
写真図版５　SI2004竪穴住居跡（1）
写真図版６　SI2004竪穴住居跡（2）
写真図版７　SI2005竪穴住居跡
写真図版８　土坑跡（1）
写真図版９　土坑跡（2）
写真図版10　土坑跡（3）
写真図版11　土坑跡（4）
写真図版12　土坑跡（5）
写真図版13　土坑跡（6）
写真図版14　土坑跡（7）
写真図版15　土坑跡（8）
写真図版16　土坑跡（9）
写真図版17　土坑跡（10）
写真図版18　土坑跡（11）
写真図版19　土坑跡（12）
写真図版20　土坑跡（13）
写真図版21　土坑跡（14）
写真図版22　土坑跡（15）
写真図版23　土坑跡（16）
写真図版24　土坑跡（17）
写真図版25　土坑跡（18）
写真図版26　土坑跡（19）
写真図版27　土坑跡（20）
写真図版28　土坑跡（21）
写真図版29　土坑跡（22）
写真図版30　土坑跡（23）
写真図版31　土坑跡（24）
写真図版32　土坑跡（25）
写真図版33　土坑跡（26）
写真図版34　土坑跡（27）
写真図版35　土坑跡（28）
写真図版36　土坑跡（29）
写真図版37　土坑跡（30）
写真図版38　土坑跡（31）
写真図版39　土坑跡（32）
写真図版40　土坑跡（33）
写真図版41　土坑跡（34）
写真図版42　土坑跡（35）
写真図版43　土坑跡（36）
写真図版44　土坑跡（37）

写真図版45　溝跡（1）
写真図版46　溝跡（2）
写真図版47　溝跡（3）
写真図版48　溝跡（4）
写真図版49　SD20132溝跡・井戸跡（1）
写真図版50　井戸跡（2）
写真図版51　井戸跡（3）・性格不明遺構（1）
写真図版52　性格不明遺構（2）
写真図版53　性格不明遺構（3）
写真図版54　性格不明遺構（4）
写真図版55　出土遺物（1）
写真図版56　出土遺物（2）
写真図版57　出土遺物（3）
写真図版58　出土遺物（4）
写真図版59　出土遺物（5）

平成13年度調査分

写真図版60　遺跡全景
写真図版61　SI3007竪穴住居跡
写真図版62　SI3008竪穴住居跡（1）
写真図版63　SI3008竪穴住居跡（2）
写真図版64　SI3009竪穴住居跡
写真図版65　土坑跡（1）
写真図版66　土坑跡（2）
写真図版67　土坑跡（3）
写真図版68　土坑跡（4）
写真図版69　土坑跡（5）
写真図版70　土坑跡（6）
写真図版71　土坑跡（7）
写真図版72　土坑跡（8）
写真図版73　土坑跡（9）
写真図版74　土坑跡（10）
写真図版75　土坑跡（11）
写真図版76　土坑跡（12）
写真図版77　土坑跡（13）
写真図版78　土坑跡（14）
写真図版79　土坑跡（15）
写真図版80　土坑跡（16）
写真図版81　土坑跡（17）
写真図版82　土坑跡（18）
写真図版83　土坑跡（19）
写真図版84　土坑跡（20）
写真図版85　井戸跡（1）
写真図版86　井戸跡（2）
写真図版87　溝跡（1）
写真図版88　溝跡（2）
写真図版89　馬蹄形状周溝（1）
写真図版90　馬蹄形状周溝（2）
写真図版91　馬蹄形状周溝（3）
写真図版92　不明遺構（1）
写真図版93　不明遺構（2）
写真図版94　不明遺構（3）
写真図版95　不明遺構（4）
写真図版96　不明遺構（5）
写真図版97　出土遺物

［図　表］

表1　平成12年度土坑一覧表 …… 47
表2　平成13年度土坑一覧表 …… 146
表3　出土土器観察表 …… 179
表4　出土石器及び土製品観察表 …… 182

抄　録
奥　付

Ⅰ　遺跡の立地と環境（第１、２図参照）

水沢市は、北上山地西部の丘陵地帯、奥羽山脈から東流する胆沢川の作った胆沢扇状地と、その間にあって中央部を北上川が南流する北上川縦谷の三地形からなっている。胆沢扇状地は胆沢川、北股川～衣川間の広大な扇状地で、扇頂を胆沢町の若柳、市野々として、東方に約20kmの半径をもって円弧を描いて北上川に及んでいる。扇面は扇頂から等しい距離で等しい傾斜を示す同心円状の等高線を描く典型的な扇状地ではなく、扇状地形成後、多くの変動をうけたようで、扇頂から扇端に傾斜するとともに南部から北部にも次第に高度を減じながら階段状に多くの段丘面が段丘崖をはさんで配列している。これらの段丘群は大別して上位・中位・下位の段丘となり、それぞれ一首坂・胆沢・水沢段丘と称されている。胆沢扇状地は奥羽山脈の隆起に伴い、胆沢川の堆積と侵食によって形成された開析扇状地で、その形成は洪積世と考えられている。市の中央部をしめる北上川縦谷は、北上川の作った段丘面で、姉体低地と段丘崖下に拡がる北上川の沿岸低地とからなる。

下植田遺跡は水沢市真城字下植田地内に所在し、東日本旅客鉄道東北線水沢駅の南南東約4.7kmのところに位置する。遺跡は大深沢川の沖積によると思われる島状の微高地上に立地し、すぐ東には、姉体低地がひろがる。遺跡は現在畑地となっており、周辺には水田がひろがる。標高は約53mほどである。平成11年度には、圃場整備に関わる農道整備に伴う発掘調査が実施され、縄文時代の陥し穴と思われる土坑、平安時代の集落、近世屋敷跡が調査されている。

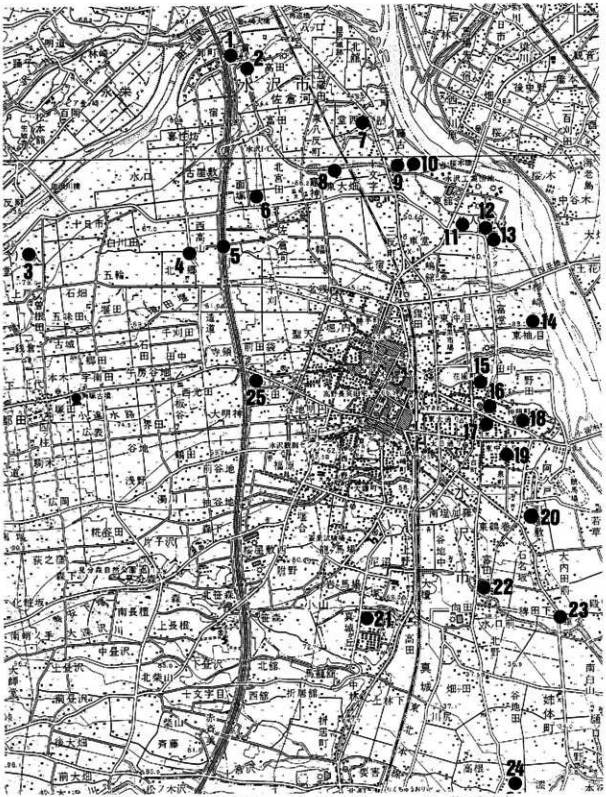
周辺南東約1kmほどのところに奈良、平安時代の集落跡である漆林Ⅱ遺跡、本宿迎畑遺跡が位置している。

Ⅱ　調査の方法

平成12年度、13年度調査とも重機による表土剥ぎを行い、その後作業員によって遺構の検出及び精査を行った。各遺構は半切または土層観察用のベルトを残して掘り下げた。土層は写真撮影を行った後、標高値を用いて図面に記録した。一部遺構埋土と地山の区別がつかず、埋土土層の記録をとれず完掘してしまったものもある。完掘後、平面写真撮影を行い、その後平面直角座標第Ⅹ系を用いて図面に記録した。写真撮影には6×7版大型カメラ1台と35mmカメラ2台を使用した。35mmカメラにはモノクロ、カラーリバーサルフィルムをそれぞれ使用した。

Ⅲ　基本土層（第3図）

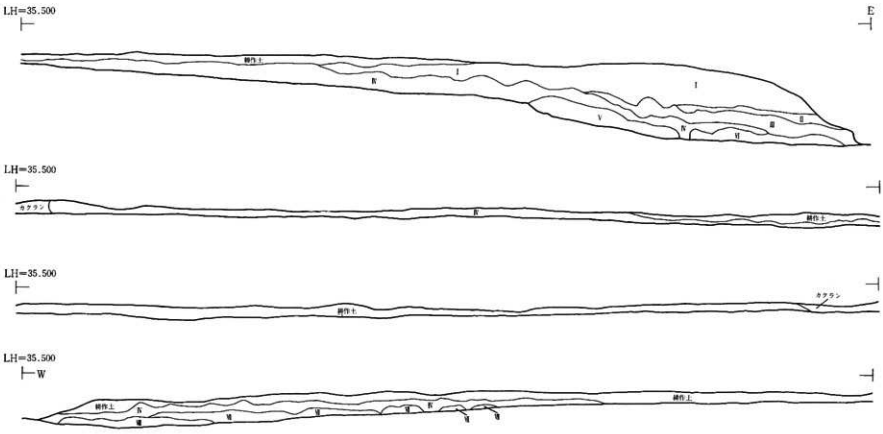
平成12、13年度調査区は周辺が圃場整備中ということもあり、調査直前は雑草が生い茂る荒廃地と化していたが、もともとは畑地であった。遺跡（調査区）は中央部が最も高く、東西に緩やかに傾斜し、東端では約1.5mほどの崖になる。過去何度か高地整理による掘削が行われており、そのさいに東側に盛土を行い平坦面を広げている。東側を除き本来は耕作土がほぼ全面に渡って見られたのだろうが、今回の圃場整備で重機の通り道となり、所々耕作土が見られなくなっている。検出面上部の堆積はすべて耕地整理時に伴うものと思われる。



1	玉貫遺跡	7	伯済寺遺跡	13	沢田遺跡	19	熊の堂遺跡
2	膳性遺跡	8	東大畑遺跡	14	東袖ノ日遺跡	20	町屋敷遺跡
3	中半入遺跡	9	白井坂Ⅱ遺跡	15	常盤広町遺跡	21	雷神Ⅰ遺跡
4	高山遺跡	10	白井坂Ⅰ遺跡	16	常盤小学校遺跡	22	林前遺跡群
5	西大畑遺跡	11	仙人西遺跡	17	跡呂井遺跡群	23	姉体車堂Ⅱ遺跡
6	面塚遺跡	12	仙人東遺跡	18	杉の堂遺跡	24	下植田遺跡
						25	後田遺跡

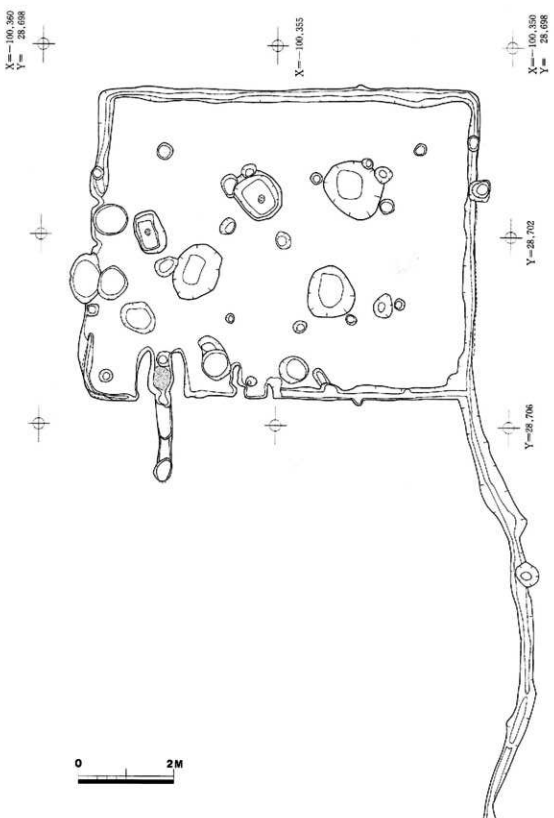
第１図　水沢市内遺跡位置図

第2図　下植田遺跡周辺地形図


LH=35.500
E
耕作土
I
II
III
V
VI
LH=35.500
カクラン
III
耕作土
LH=35.500
耕作土
カクラン
LH=35.500
W
耕作土
耕作土
I 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 褐色土ブロックを含む 盛土
II 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密
III 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 酸化鉄を含む グライ化層
IV 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化物を含む
V 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 酸化鉄を含む
VI 10YR4/1 褐灰色 粘性小 締まり密 酸化鉄、礫を含む
VII 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 褐色土ブロックを含む
VIII 10YR4/1 灰白色 粘性なし 締まり密 酸化鉄を含む グライ化層
0
2M

第33図 基本土層

第4図　平成12年度調査遺構配置図



第5図 SI01竪穴住居跡

Ⅳ　平成12年度調査の報告

1　遺構と遺物の概要（第4図　写真図版1）

縄文時代と思われる土坑77基、古代の竪穴住居跡3棟、近世から近代にかけてと思われる建物跡1棟、溝跡4条を検出した。遺物は遺構外から縄文時代と思われる石器が、古代の土師器、須恵器、近世から近代にかけての陶磁器等が出土している。

2　竪穴住居跡

ＳＩ０１竪穴住居跡（第5図　写真図版1）

平成11年度調査で検出した竪穴住居跡であるが、平成12年度にこの竪穴住居跡の外に伸びる壁溝（屋外溝）を検出したため、概略を含めここで触れる。この竪穴住居跡は平成11年度調査区の北東に検出された長方形状の竪穴住居跡である。長軸はほぼ北―南を向き、8.52ｍを計測し、短軸は約７ｍを計る。埋土はほとんどが暗褐色土の単層である。カマドは竪穴住居跡の東壁南東部分に1基（１号カマド）と同じく東壁ほぼ中央付近に１基（２号カマド）、計２基が確認された。１号カマドの袖には芯材と思われる礫は確認できなかったが、明黄褐色土で非常に締まった土が確認でき、この層が芯材と思われる。火床はカマドの内部ほぼ前面に広がっており、その厚さも最大で約10㎝を計測する。このカマドは煙道を持ち、その長さは約1.8ｍを計測する。２号カマドは煙道を持たず、わずかに袖が確認されたにすぎなかった。このカマドの袖は焼土ブロックや炭化材が混入した土で固められており、芯材には北袖には土師器の甕を用いている。火床と思われる焼土の広がりは確認できるが、その厚さは薄い。

壁溝は幅10～20㎝で深さが4～10㎝ほどである。この袖の下にも溝が観察できる。この壁溝は北東コーナーから約4.5ｍほど東へ伸びる。

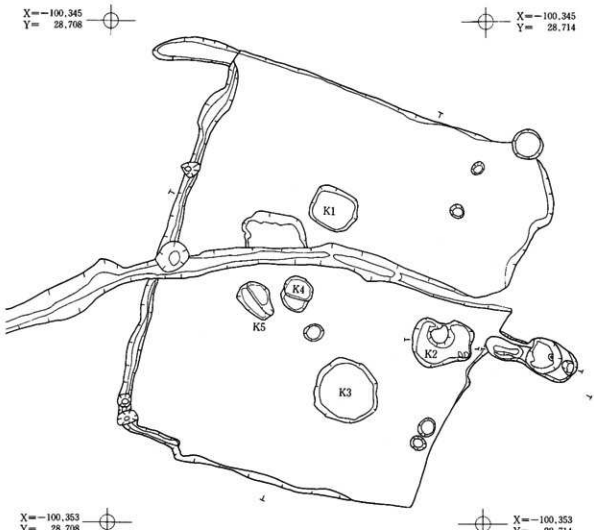
遺物は出土していない。竪穴住居跡及び屋外溝の埋土観察については、平成11年度調査報告書を参照願いたい。

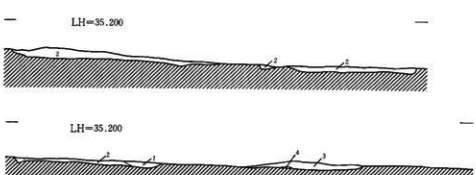
ＳＩ２００３竪穴住居跡（第6～9図　写真図版2～4、55～56）

平成12年度調査区の南東隅で検出した。本年度調査で最初に検出した竪穴住居跡で、本遺跡3棟目の竪穴住居跡である。中央をSI01竪穴住居跡の屋外溝が走る。本住居跡の方が古い。

長軸はやや東に振れるものの概ね南北6.5ｍ、短軸5.55ｍである。埋土は黒褐色土（図面上2層）と暗褐色土（図面上3層）の2つの層で構成される。2層には炭化材と焼土ブロックが混入するが、3層には炭化材のみが混入する。なお。１層はSI01竪穴住居跡屋外溝の埋土である。カマドは東壁中央付近に付設され煙道と煙出しを持つ。煙道は検出した部分で長さ60㎝、幅40㎝、煙出しは直径約60㎝で、平面形はやや形の崩れた円形状である。煙出しの底面レベルは煙道の底面レベルよりも25㎝ほど低くなっている。カマドの袖は残っておらず、煙道も上部が掘削されたり、一部撹乱が見られるところもある。竪穴住居内からは5つの土坑を検出した。すべての土坑の埋土には炭化物が混入している。

遺物は土師器、須恵器が出土している。１は須恵器の坏である。推定口径13.8㎝、推定底径7.4㎝、器高4.1㎝を計測し、外面底部は回転糸切無調整である。ロクロ調整がなされるが、外面底部付近にはケズリ調整が観察できる。胎土には石英を多く含み、焼成は普通、内外面ともにぶい黄橙色である。２は口縁部が欠損した土師器の坏である。推定底径6.4㎝、現存高2.5㎝ロクロ調整と思われるが内外面とも器面荒れが激しく、はっきりとしない。内面もまた黒色処理が観察されない。

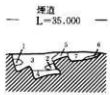




1 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密 焼土ブロックを含む S101 壁外溝埋土
2 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土ブロックを含む
3 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化材を含む
4 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土ブロックを含む 貼り床

第6図 SI 2003竪穴住居跡（1）

外面底部付近にはケズリ調整の痕跡も見られる。底部は回転糸切無調整、外面は灰黄色、内面は鈍い橙色である。3は底部と口縁部が欠損した須恵器の坏である。推定底径7.8cm、現存高3.2cmで底部は回転糸切無調整である。外面底部付近にはケズリ調整の痕跡が観察できる。胎土には海綿骨芯が観察できる。内外面ともにぶい橙色である。4は土師器口縁部の破片である。推定口径14.6cm、現存高2.7cmを計測する。外面はロクロ調整で内面はミガキ調整である。外面は橙色で内面には黒色処理がなされる。胎土はやや粗雑で焼成は比較的良好である。5は土師器の長胴甕である。推定口径21.1cm、現存高20.8cmを計測する。胴部外面には縦方向のハケメ調整が、内面には横方向のハケメ調整がなされる。口縁部は内外面とも横ナデ調整が施される。胎土はやや緻密で焼成はやや良好、外面は明黄褐色で内面は橙色である。ロクロ調整の痕跡は確認できない。6は土師器で口縁部から胴部にかけての球胴甕と思われる破片である。推定口径18.2cm、現存高6.5cmを計測する。口縁部は内外面とも横ナデ調整が施され、胴部内外面には横方向のヘラケズリ、またはヘラナデと思われる調整が施される。外面はにぶい黄橙色、内面は灰黄色である。7は土師器の長胴甕と思われる底部から胴部にかけての破片である。底径8.5cm、現存高7.2cmを計測する。外面にはヘラケズリ調整が、内面にはハケメ調整が施される。胎土には砂礫が多く混入し、焼成はやや悪い。内外面とも橙色である。8は土師器球胴甕、口縁部周辺の破片である。現存高は5.6cmを計測する。外面にはハケメ調整を施した後口縁部に横ナデ調整を施す。内面は胴部の調整は不明であるが、口縁部には横ナデ調整が施される。胎土は緻密で焼成は良好、外面が橙色で内面はにぶい黄橙色である。9は土師器長胴甕胴下部と思われる破片である。現存高は10cmを計測する。外面にはケズリ調整が施されるが非常に粗く、粘土の塊が観察できる。内面はハケメ調整が施される。底部に近いところでは横方向のハケメ調整が観察できるが、それ以外は縦方向のハケメ調整である。胎土は砂粒を含みやや粗く、焼成は悪い。外面は明黄褐色で内面は橙色である。10は須恵器蓋のつまみである。現存高2.1cm、胎土は緻密で焼成は良好、内外面とも褐灰色である。11は高台部の破片である。推定裾径7.3cm、現存高1.9cmである。内外面ともロクロ調整で、再調整は認められない。胎土は緻密で焼成も比較的良好である。内外面ともにぶい黄橙色である。12は土師器甕と思われる口縁部から胴上部にかけての破片である。推定口径18.1cm、現存高6.4cmを計測する。外面にはハケメ調整を施した後に口縁部に横ナデ調整を施す。外面にハケメ調整の痕跡は残るが、ヘラナデ調整、またはヘラケズリ調整によって消されているようである。内面は口縁に横ナデ調整が施されているが、胴部の調整はわからない。胎土は砂礫を多く含み、焼成はやや良好、外面は浅黄橙色で内面は橙色である。13は土師器の長胴甕と思われる口縁部から胴部にかけての破片である。推定口径20.0cm、現存高13.4cmを計測する。胴部外面には縦方向のハケメ調整が施され、内面には横方向のハケメ調整が施される。口縁部は内外面とも横ナデ調整である。胎土はやや緻密で砂礫を混入する。焼成は比較的良好で外面は橙色、内面はにぶい橙色である。14は土師器の長胴甕と思われる口縁部から胴部にかけての破片である。推定口径24.3cm、現存高22.9cmを計測する。胴部には上下方向のヘラケズリ調整が、内面には横方向のハケメ調整が施される。口縁部は内外面とも横ナデ調整である。胎土は直径1～4mm程度の砂礫を含み、焼成は比較的悪い。外面はにぶい黄橙色で内面は橙色である。15は土師器の甕と思われる口縁部から胴上部にかけての破片である。胴部外面には縦方向の、内面には横方向のヘラナデ調整またはヘラケズリ調整が施される。色調は内外面とも浅黄橙色である。16は土師器の鉢と思われる。口径28.0cm、底径11.7cm、器高16.4cmを計測する。外面には口縁部以外にタタキ調整が観察でき、その後胴部下半にはヘラケズリ調整またはヘラナデ調整が、胴部上半から口縁部にかけてはヨコナデ調整が施される。内面は黒色処理がなされ、



1 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性やや大 締まり密
炭化材、焼土粒を含む
2 7.5YR3/3 暗褐色 粘性やや大 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR3/2 黒褐色 粘性やや大 締まり密
炭化材、焼土粒を含む
4 10YR3/3 黒褐色 粘性やや大 締まり密
炭化粒、焼土粒、黄褐色土を含む
5 10YR3/3 暗褐色 粘性やや大 締まり密
炭化粒、黄褐色土、焼土を少量含む
6 10YR4/4 褐色 粘性やや大 締まり密
炭化粒を含む
7 7.5YR3/4 暗褐色 粘性中 締まり密
炭化粒、焼土を含む

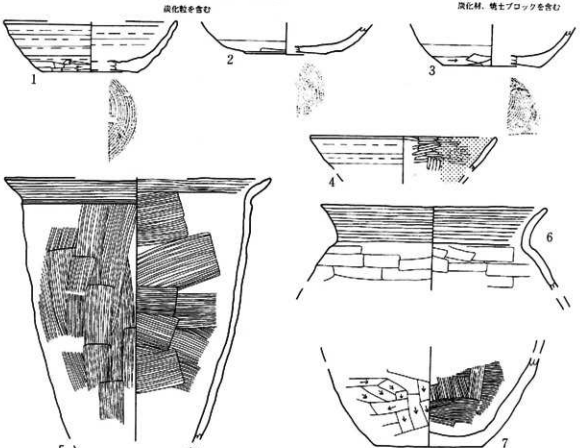
1 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まりやや密
炭化材、焼土ブロックを含む
2 10YR5/6 黄褐色 粘性なし 締まりやや密
炭化粒、焼土ブロックを含む

1 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まりやや密
炭化材、焼土ブロックを含む
2 10YR3/6 暗赤褐色 粘性やや小 締まり密
炭化粒を含む
3 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密
炭化粒を含む

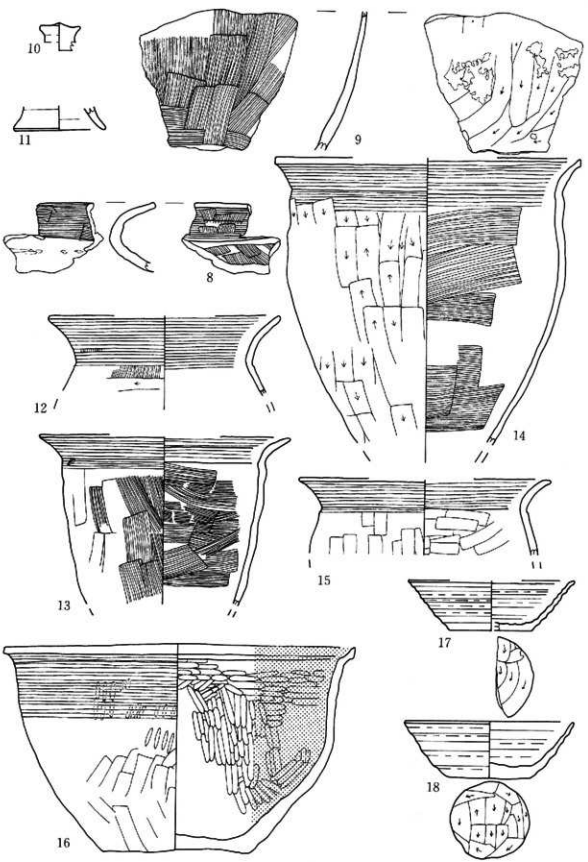
1 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土ブロックを含む
2 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土ブロックを含む
3 10YR4/1 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土ブロックを含む
4 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化物、焼土ブロックを含む
5 10YR5/6 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土ブロックを含む

1 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まりやや密
炭化粒、焼土ブロックを含む
2 10YR6/6 明黄褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒を含む
3 10YR6/8 明黄褐色 粘性やや小 締まり密
炭化粒を含む

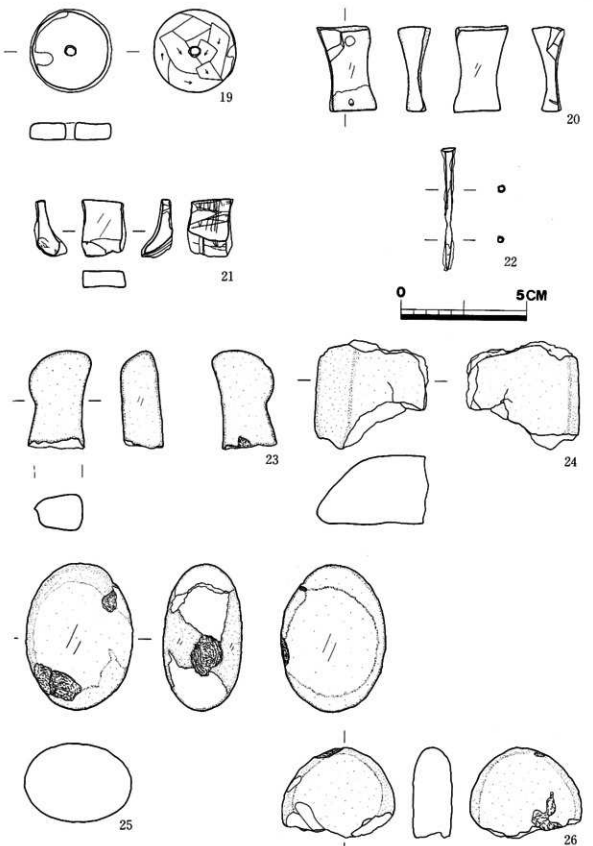
1 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密
炭化材、焼土ブロックを含む
2 10YR6/3 明黄褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒を少量含む
3 10YR4/6 褐色 粘性なし 締まり密
炭化材、焼土粒を含む
4 10YR5/4 黄褐色 粘性なし 締まり密
炭化材、焼土ブロックを含む



第7図 SI 2003竪穴住居跡（2）



第8図　SI 2003竪穴住居跡（3）



第9図　SI 2003竪穴住居跡（4）

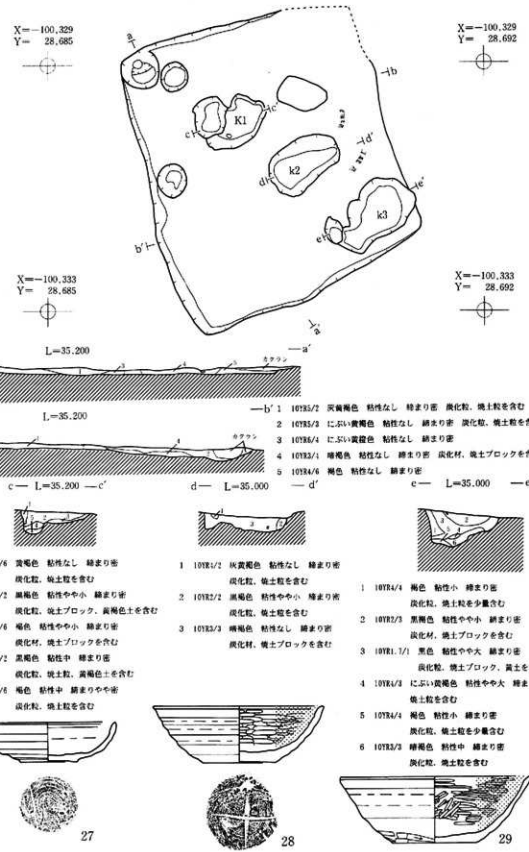
ミガキ調整が施される。胎土は砂礫を多く含み、石英をまばらに含んでいる。焼成は比較的良好で、外面はにぶい黄橙色である。17はk6土坑から出土した須恵器の坏である。推定口径13.2cm、推定底径6.6cm、器高4cmを計測する。底部は切り離し後ケズリ調整による再調整がなされている。胎土は直径0.5～3mm程度の砂粒や石英等を少量含み、焼成は比較的悪い。内外面ともにぶい黄橙色である。18はk6土坑から出土した須恵器の坏で口径13.4cm、底径6.6cm、器高4.5cmを計測する。底部は切り離し後ケズリ調整による再調整がなされている。胎土には砂粒や石英が少量含まれる。焼成は比較的悪く、内外面ともにぶい黄橙色である。

19から26までは土製品、石製品、鉄器、石器である。19は土製の紡錘車で直径6.5cm、厚さ1.3cm、重量64.3gを計測する。片面にはケズリ調整のような痕跡が確認でき、中央には直径10mm程度の軸穴が穿孔される。20は砥石である。長軸6.7cm、幅2.9～4.0cm、厚さ1.0～2.7cm、重量71.66gを計測する。長軸方向の4面とも使用されているようで、幅が広くなっている面の長軸両端中央付近には小穴が穿孔される。21は砥石の破損品である。現存長軸4.6幅3cm前後で厚さは0.6～2.2cm、重量26.32gを計測する。幅が広くなっている面が使用されたようで、その片面には短軸及び長軸に平行して数本の線刻がなされる。22は鉄製の釘で埋土から出土している。長軸5.0cmで、直径は0.6cm、重量は1.55gを計測する。上部は平らになっている。23は器種不明の石製品である。現存長軸7.8cm、短軸3.6～4.6cm、厚さ2.9cm、重量1.55gを計測する。図面下方は欠損していると思われる。断面形は台形状をなす。中央付近でくびれ、図面上方では左側が丸みをおび、右側では外方にそるような形状をなす。時代も特定できない。24は石皿の破片と思われる礫石器の破片である。、磨面は現存している部分で5.0×4.7cm、下面は9.8×9.0cm、厚さ5.5cmで断面は台形状をなすと思われる。重量は506.87gである。25は磨石と敲打石の兼用石器と思われる。長軸11.7cm、短軸8.5cm、厚さ6.3cm、重量876.9gを計測する。断面形は楕円形である。磨面には広い面を使い、敲打痕はその縁辺部または側面部を敲打石として使用しているようである。26は磨石と敲打石の兼用石器と思われる破片である。現存長軸7.3cm、短軸9.0cm、厚さ3.2cm、重量240.10gを計測する。磨面には広い面を使用している。敲打痕跡は側面と磨面に観察できる。

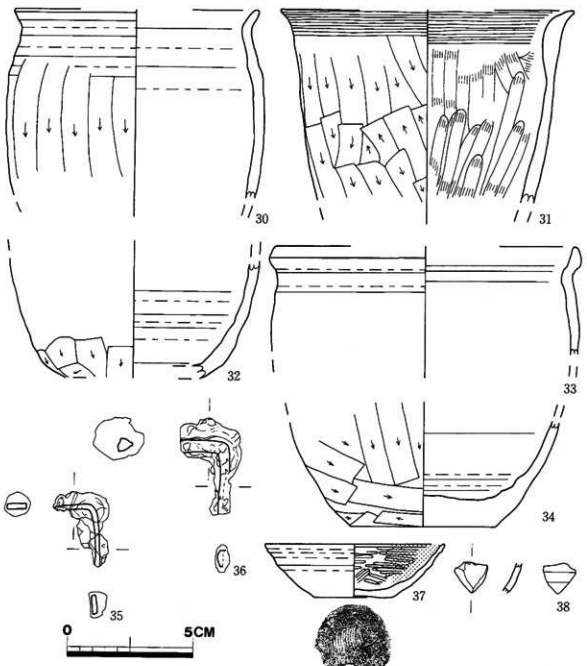
SI2004竪穴住居跡（第10、11図　写真図版5、6、56、57）

調査区中央東寄りの落ち際付近で検出した。ほとんどが耕地整理時に削平されたようである。長軸はやや東に振れるが南北方向で4.56m、短軸3.91mの台形状の竪穴住居跡である。埋土は5層に分層でき、大半の埋土には炭化材・粒や焼土粒・ブロックが混入する。カマドは検出されなかった。竪穴住居内には3基の土坑が確認できるが、その埋土全てに炭化材・粒、焼土ブロック・粒が観察できる。

遺物は土師器、須恵器、須恵系土器、器種不明鉄製品が出土している。27は須恵系土器と思われる坏である。口径10.8cm、底径4.4cm、器高3.2cmで底部は回転糸切り無調整である。底部はやや台状に張り出し、内湾しながら口縁部へと立ち上がっていく。胎土には砂粒、石英、赤褐色粒が混入している。焼成は比較的悪く内外面とも浅黄橙色である。28は須恵系土器の坏で口径13.7cm、底径5.7cm、器高4.6cmを計測し、底部は回転糸切無調整である。外面はロクロ調整で内面は黒処理がなされ、ミガキが施される。底部は切り離し後『十』字が線刻される。胎土は砂礫が多く混入し、石英をまばらに含む。焼成は比較的良く外面はにぶい黄橙色である。29はロクロ成形の土師器坏である。推定口径15.2cm、推定底径6.6cm、器高5.3cmを計測する。底部は切り離し後再調整される。おそらくケズリ調整と思われるが、摩滅のため単位等はっきりしない。外面底部付近にはケズリ調整が施され、内面は黒色処理されミガキ調整が施される。胎土には砂粒、赤褐色粒が少量混入する。焼成は悪く外面は



第10図 SI 2004竪穴住居跡（1）



第11図　SI 2004竪穴住居跡（2）

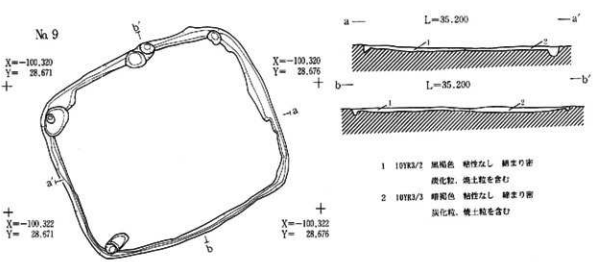
にぶい橙色である。30は土師器の長胴甕である。推定口径19.0cm、現存高14.9cmを計測する。ロクロ成形され、外面には口縁部から底部に向けてのケズリ調整が、内面には指ナデ調整が施される。口縁部はロクロ成形のみで、その後の調整は確認されない。胎土はやや粗雑で焼成も悪い。外面は橙色で内面は明褐色である。31は土師器の長胴甕と思われる破片である。推定口径23.3cm、現存高15.2cmを計測する。外面胴部にケズリ調整、内面胴部に指ナデ調整が施された後が施された後口縁部に横ナデ調整が施されている。この横ナデ調整によって口縁部が摘み上げられるように成形されたと思われる。胎土には砂粒、小礫が多量に含まれ、焼成は比較的良好である。外面はにぶい橙色、

内面は橙色である。32は土師器長胴甕の底部付近から胴部までの破片である。底部は胴部との接合面で剥離し欠損している。推定底径10.8cm、現存高9.5cmを計測する。外面は摩滅が激しく底部付近の削り調整が観察できるのみである。内面はロクロ調整と思われる痕跡が確認できるが、はっきりしない。胎土はやや粗雑で焼成もあまり良くない。内外面とも橙色である。33はロクロ成形の土師器長胴甕の破片である。推定口径23.8cm、現存高8.6cmを計測する。内外面ともロクロ調整が観察できる。胎土には砂礫が含まれ、焼成は良好、外面は浅黄橙色で内面はにぶい黄橙色である。34はロクロ成形されたと思われる土師器甕である。底径11.6cm、現存高8.5cmを計測する。外面にはケズリ調整が施される。内面にはロクロ調整と思われる痕跡が観察できるが、摩滅のためはっきりしない。底部は切離しの痕跡が観察できないことから再調整されたと思われるが、やはり摩滅のためはっきりしない。胎土には砂礫、小礫が含まれ焼成は比較的良好である。外面は橙色で内面は明黄褐色である。35、36は器種不明の鉄製品である。刀子の破片の可能性もあるが断定はできない。37は竪穴住居内のK2土坑から出土した土師器の坏である。推定口径14.4cm、推定底径6.0cm、器高4.3cmを計測する。底部には回転糸切の痕跡が残り、その後再調整が加えられたようである。底部から外方に直線的に口縁端部までいたる。外面はロクロ調整で内面には黒色処理がなされミガキが施される。胎土は砂粒、小礫を含みやや粗雑である。焼成は比較的悪く、外面はにぶい橙色である。38はK2から出土した灰釉陶器の破片である。現存高は2.4cmを計測し、外面にはやや緑がかった釉が施釉される。

SI2005竪穴住居跡（第12図　写真図版7）

調査区中央付近で検出した。削平を受けているせいかかなり浅い竪穴住居跡である。長軸は北東―南西を向き3.62m、短軸3.17mのやや小型の竪穴住居跡である。壁際には溝が周り、東コーナーをのぞいては柱穴と思われる小穴を検出した。埋土は黒褐色土と暗褐色土の二層から構成され、いずれも炭化粒、焼土粒を混入する。

遺物は出土していない。

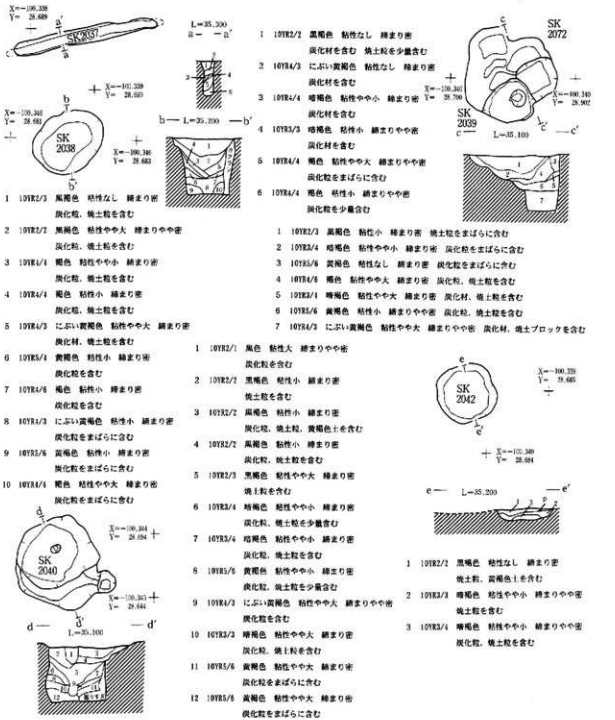


第12図　SI2005竪穴住居跡

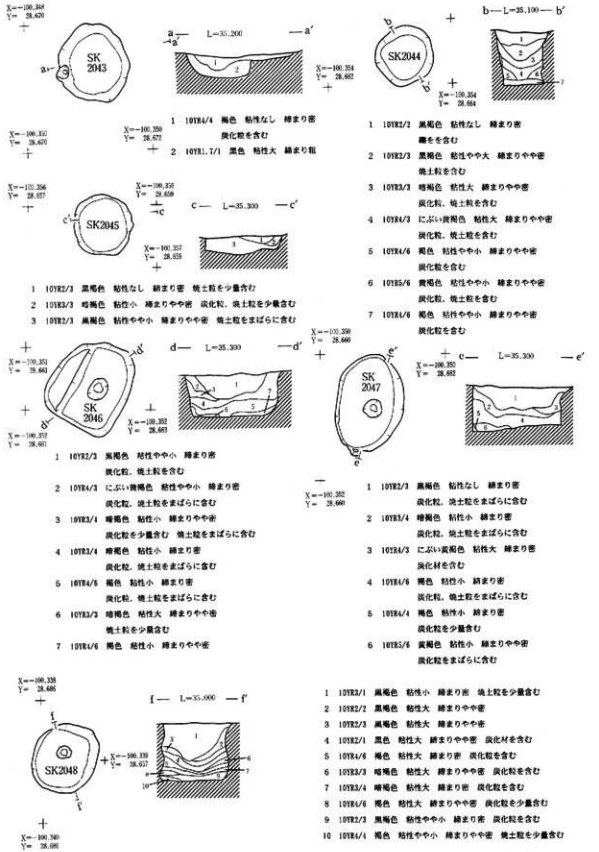
3　土坑跡（第13～43図　写真図版8～44）

今回の調査では検出順にとおし番号を付し、かつ前回調査の続き番号を使用した。したがって時代などは一切考慮していない遺構番号となっている。

検出した土坑は縄文時代の陥し穴状遺構、平安時代の性格不明遺構、時代、性格ともに不明な遺構となっている。ここでは遺物を出土した土坑についてのみ触れることとし、その他のものに関しては一覧表を参照願いたい。



第13図　土坑跡（1）


SK 2043
a— L=35.200 —a'
1 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒を含む
2 10YR2.1/1 黒色 粘性大 締まり粗
SK2044
b— L=35.100 —b'
1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密
礫をを含む
2 10YR2/3 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密
焼土粒を含む
3 10YR3/3 暗褐色 粘性大 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性大 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まりやや密
炭化粒を含む
6 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まりやや密
炭化粒を含む
SK2045
c— L=35.300 —c'
1 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒を少量含む
2 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を少量含む
3 10YR2/3 黒褐色 粘性やや小 締まりやや密 焼土粒をまばらに含む
SK 2046
d— L=35.300 —d'
1 10YR2/3 黒褐色 粘性やや小 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性やや小 締まり密
炭化粒、焼土粒をまばらに含む
3 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まりやや密
炭化粒を少量含む 焼土粒をまばらに含む
4 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密
炭化粒、焼土粒をまばらに含む
5 10YR4/6 褐色 粘性小 締まり密
炭化粒、焼土粒をまばらに含む
6 10YR3/3 暗褐色 粘性大 締まりやや密
焼土粒を少量含む
7 10YR4/6 褐色 粘性小 締まりやや密
SK 2047
e— L=35.300 —e'
1 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒をまばらに含む
2 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密
炭化粒、焼土粒をまばらに含む
3 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性大 締まり密
炭化材を含む
4 10YR4/6 褐色 粘性小 締まり密
炭化粒、焼土粒をまばらに含む
5 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密
炭化粒を少量含む
6 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まりやや密
炭化粒をまばらに含む
SK2048
f— L=35.000 —f'
1 10YR3/1 黒褐色 粘性小 締まり密 焼土粒を少量含む
2 10YR2/2 黒褐色 粘性大 締まりやや密
3 10YR2/3 黒褐色 粘性大 締まりやや密
4 10YR2/1 黒色 粘性大 締まりやや密 炭化材を含む
5 10YR4/6 褐色 粘性大 締まり密 炭化粒を含む
6 10YR3/3 暗褐色 粘性大 締まりやや密 炭化粒を含む
7 10YR3/4 暗褐色 粘性大 締まり密 炭化粒を含む
8 10YR4/6 褐色 粘性大 締まりやや密 炭化粒を少量含む
9 10YR2/3 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒を含む
10 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まりやや密 焼土粒を少量含む

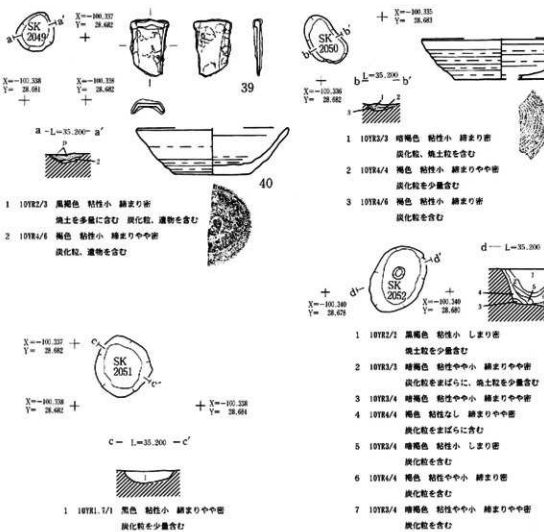
第14図　土坑跡（2）

SK２０４９土坑（第15図　写真図版11、57）

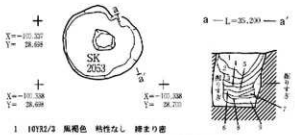
長軸67cm、短軸58cmの卵形をした土坑である。上層に焼土粒、炭化粒をを多量に含んだ黒褐色土が、下層には炭化粒を含んだ褐色土が堆積している。遺物は上下２層から出土している。遺物は石器（39）と焼成不良の須恵器坏（40）が出土している。40は推定口径12.2cm、推定底径6.0cm、器高3.8cmを計測する。底部の切り離しは回転ヘラ切と思われる。内外面とも浅黄橙色である。

SK２０５０土坑（第15図　写真図版11、57）

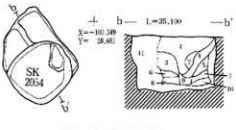
長軸86cm、短軸50cmの長楕円形をした土坑である。上層に焼土粒、炭化粒が混入する暗褐色土が堆積し下層には炭化粒を含む褐色土が堆積する。遺物は須恵器の坏（41）が出土している。推定口径12.8cm、推定底径7.4cm、器高3.3cmを計測する。底部は回転糸切無調整で、焼成は悪い。内外面とも浅黄色である。



第15図　土坑跡（３）

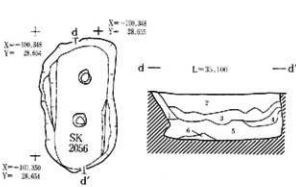


1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密
2 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 黄褐色土を少量含む
3 10YR4/6 褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒を少量、黄褐色土を含む
4 10YR2/2 黒褐色 粘性やや大 締まり密
5 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性小 締まりやや密
6 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒を少量含む
7 10YR4/4 褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒を少量含む
8 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒をまばらに含む
9 10YR4/6 褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒をまばらに含む

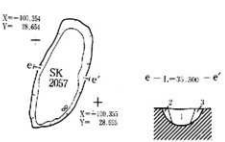


1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まりやや密
炭化材、焼土粒を含む
5 10YR4/6 褐色 粘性やや大 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR4/6 褐色 粘性小 締まり密
炭化粒を含む
7 10YR5/6 黄褐色 粘性やや大 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性やや小 締まり密
炭化粒、焼土粒を少量含む
9 10YR4/6 褐色 粘性大 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
10 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む
11 10YR5/6 黄褐色 粘性やや大 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む（掘りすぎ）

1 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
2 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まりやや密 焼土粒を含む
3 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化材を含む
4 10YR3/3 暗褐色 粘性大 締まりやや密 炭化粒を少量含む
5 10YR3/1 暗褐色 粘性大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR4/4 褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
8 10YR4/4 褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む

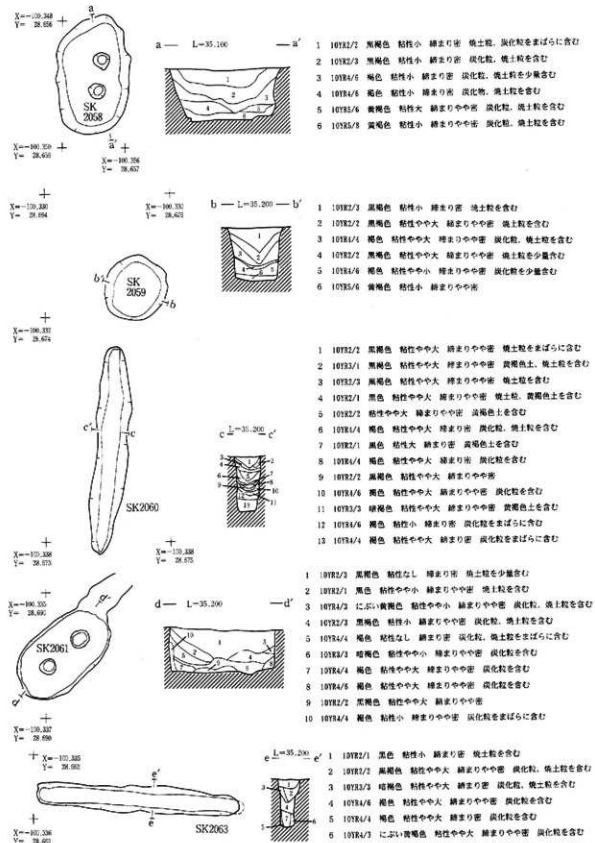


1 10YR3/4 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒をまばらに含む
2 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒をまばらに含む
3 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まりやや密 炭化材、焼土粒を含む
4 10YR4/4 褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR4/6 褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化材、焼土粒を含む
6 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を少量含む



1 10YR2/3 黒褐色 粘性やや小 締まり密
炭化粒、焼土粒をまばらに含む
2 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を少量含む
3 10YR3/4 暗褐色 粘性やや小 締まり密
炭化粒をまばらに含む
4 10YR4/4 暗色 粘性小 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を少量含む

第16図 土坑跡（4）



第17図　土坑跡（5）

SK２０６４土坑跡（第18図　写真図版15、57）

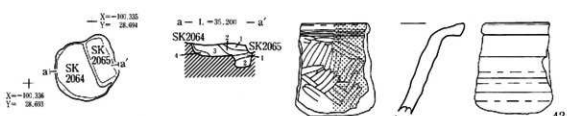
直径約93cmの円形状の土坑と思われる。SK2065土坑の上部に位置する。埋土は4層から構成され、そのいずれにも焼土粒、炭化材粒が混入する。検出面からの深さは20cm前後である。SK2065土坑よりも新しい。

遺物は土師器の鉢（42）が出土している。現存高14.4cmで口縁部から体部にかけての破片である。外反しながら口縁部にいたり、口縁部では水平方向に外方へ倒れ、端部は摘み上げられるように立ちあがる。ロクロ成形で内面は黒色処理されミガキ調整が施される。胎土はやや粗雑で焼成も悪い。外面はにぶい黄褐色である。

SK２０６６土坑（第19図　写真図版15、57）

長軸1.57m、短軸0.74m、深さ0.54mの隅丸方形状土坑である。底面中央には小穴を一つ確認した。埋土は5層から構成され、上層から黒褐色土、にぶい黄橙色土、褐色土（2層に分層）、暗褐色土となる。埋土全てに炭化粒または炭化材、焼土粒が混入する。

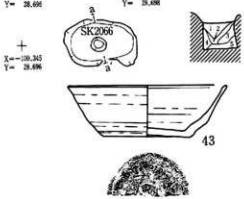
遺物は検出面から須恵器の坏片（43）、須恵器甕と思われる破片（44）が出土している。この土坑に伴うものではないと思われるが、便宜上ここで触れる。43は推定口径12.7cm、推定底径6.9cm、現存高4.2cmを計測する。底部は回転糸切無調整である。胎土には石英がまばらに混入し、焼成はやや悪い。色調は内外面とも灰黄色である。44は底部から胴部にかけての破片で、現存推定底径14.4cm、現存高8.4cmを計測する。底部には高台が剥離した痕跡が観察できる。外面にはロクロ成形のような痕跡が確認できるが器面が摩滅しているためはっきりとしない。また、ケズリ調整も施されるようである。内面は最終調整に指ナデ調整が行われているようである。胎土は緻密で焼成も良好である。内外面とも褐灰色で内面には煤状の炭化物が付着する。



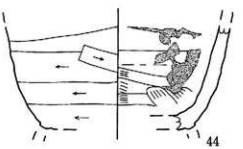
SK2064
1　10YR4/3　にぶい黄褐色　粘性なし　締まりやや密　炭化粒、焼土粒を含む
2　10YR2/3　黒褐色　粘性やや大　締まりやや密　炭化粒、焼土粒、黄褐色土を含む
3　10YR2/1　黒色　粘性小　締まりやや密　炭化粒を少量含む
4　10YR2/2　黒色　粘性小　締まりやや密　焼土粒を少量含む

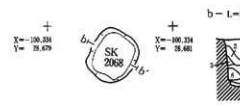
SK2065
1　10YR2/1　黒色　粘性やや大　締まりやや密　黄褐色土を含む
2　10YR3/3　暗褐色　粘性大　締まりやや密　炭化粒、焼土粒を含む

第18図　土坑跡（6）

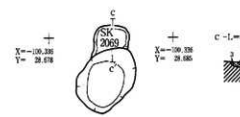


1 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性小 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
3 10YR4/6 褐色 粘性小 締まりやや密 炭化材、焼土粒を含む
4 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
5 10YR3/4 暗褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む

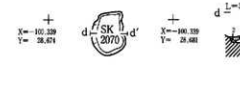




1 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR2/3 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密 黄褐色土をまばらに含む
3 10YR4/4 褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒を含む
4 10YR2/2 黒褐色 粘性大 締まりやや密 黄褐色土を少量含む
5 10YR4/4 褐色 粘性大 しまりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR4/6 褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒を含む
7 10YR3/3 暗褐色 粘性大 締まりやや密
8 10YR2/3 褐色 粘性大 締まりやや密 焼土粒を含む
9 10YR3/3 暗褐色 粘性大 締まりやや密



1 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土ブロックを含む
2 5YR3/6 暗赤褐色 粘性なし 締まり密 炭化材を含む（焼土層）
3 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む

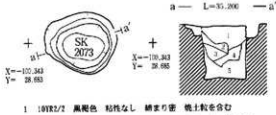


1 5YR4/8 赤褐色 粘性なし 締まり密 炭化材を含む（焼土層）
2 10YR6/6 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
3 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まりやや密 炭化材、焼土粒を含む

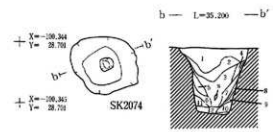
1 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
2 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒、黄褐色土を含む
3 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR5/6 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化材を含む
5 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、黄褐色土を含む
6 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まりやや密 炭化材、黄褐色土を含む

1 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性やや大 締まりやや密
炭化材、焼土ブロックを含む

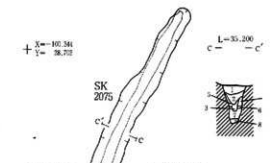
第19図 土坑跡（7）



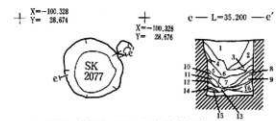
1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒を含む
2 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR3/4 暗褐色 粘性小 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR4/6 褐色 粘性小 締まり密 炭化材、焼土粒を含む

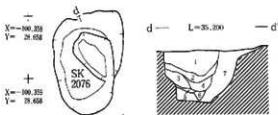


1 10YR2/1 黒色 粘性小 締まり密 焼土粒をまばらに含む
2 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 焼土粒をまばらに含む
3 10YR3/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む 石あり
4 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化材を含む
5 10YR4/4 褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒を含む
6 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性やや大 締まり密 炭化材を含む
7 10YR3/4 にぶい黄褐色 粘性大 締まり密 炭化粒を含む
8 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
9 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性大 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
10 10YR4/1 褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
11 10YR5/6 黄褐色 粘性大 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
12 10YR4/4 褐色 粘性大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む



1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 黄褐色土を含む
2 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まりやや密 焼土粒を含む
3 10YR4/4 褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化材、焼土粒を含む
4 10YR4/6 褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR4/1 褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR4/4 褐色 粘性やや大 締まり密 炭化材を含む
8 10YR3/4 暗褐色 粘性大 締まりやや密 炭化材を含む

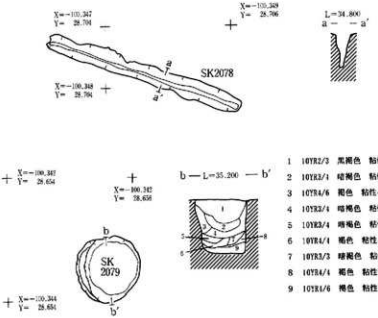




1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒、礫を含む
2 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密 焼土粒、礫を含む
3 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒、礫を含む
4 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒、礫を含む
6 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒、礫を含む
7 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む

1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒をまばらに含む
2 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒、炭化粒を含む
3 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR4/6 褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
5 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、黄土を含む
6 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まり密 焼土粒、黄土を含む
8 10YR3/3 暗褐色 粘性小 しまりやや密 炭化粒を含む
9 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む 焼土粒を少量含む
10 10YR3/4 暗褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒を含む 焼土粒を少量含む
11 10YR4/6 褐色 粘性やや大 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
12 10YR5/6 黄褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒を含む
13 10YR3/4 暗褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒を含む
14 10YR4/4 褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
15 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密
16 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む

第20図　土坑跡（8）



第21図　土坑跡（9）

SK２０８０土坑（第22図　写真図版19、57）

長軸1.72m、短軸0.97m、検出面からの深さ15cmほどの楕円形状土坑である。縄文時代の陥し穴状土坑と重複するが、本遺構のほうが新しい。埋土は黒色土の単層で、炭化材、焼土粒、黄褐色土を含む。人為的な堆積であろう。遺物は須恵器の坏2点（45、46）が出土している。

45は底部付近の破片で、底径7.3cm、現存高1.7cmを計測する。切り離しは回転ヘラ切りである。内外面とも灰白色である。46も破片で、推定口径14.0cm、推定底径6.8cm、器高4.2cmを計測する。切り離しは回転ヘラ切りで、底部は上げ底気味である。胎土には石英、小礫をまばらに含み、焼成も良好である。内外面とも黄灰色である。

SK２０８１土坑（第22図　写真図版19、57）

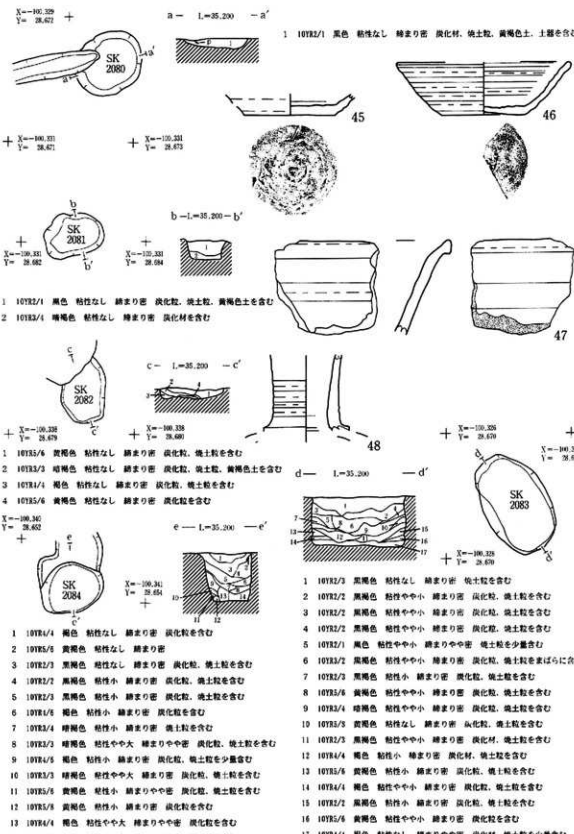
長軸47cm、短軸34cm、検出面からの深さ33cmの不整形な楕円形状土坑である。埋土は黒色土と暗褐色土の2層からなり、上層には炭化粒、焼土粒、黄褐色土が混入し、下層には炭化材が混入する。人為的な埋土であろう。

遺物は土師器の鉢と思われる破片（47）が出土している。現存高7.7cmの口縁部から体部にかけての破片である。ロクロ成形され、内面体部には煤状の物質が付着する。胎土は比較的緻密で、焼成はあまり良くない。内外面とも浅黄橙色である。

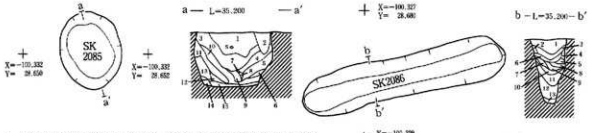
SK２０８２土坑（第22図　写真図版19、57）

現存長軸93cm、短軸70cm、検出面からの深さ8cm前後で、底面はフラットではない。埋土は4層から構成され、それぞれに炭化粒や焼土粒が混入する。

遺物は須恵器壺の頸部片（48）が出土している。現存高7.1cmを計測し、頸部と体部の境付近に環状に突帯が張り付く。胎土は緻密、焼成も良好である。内面は灰色、外面は灰黄色である。

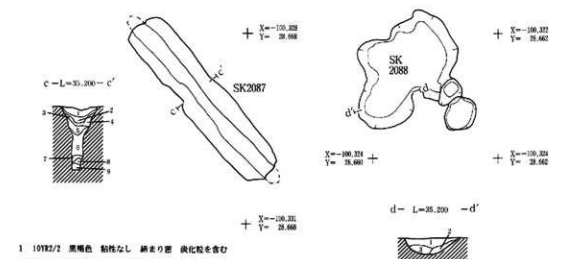

SK 2080
SK 2081
SK 2082
SK 2083
SK 2084
a — L=35.200 — a'
b —L=35.200— b'
c— L=35.200 —c'
d— L=35.200 —d'
e — L=35.200 —e'
45
46
47
48
1 10YR2/1 黒色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土粒、黄褐色土、土器を含む
1 10YR2/1 黒色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒、黄褐色土を含む
2 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化材を含む
1 10YR3/6 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒、黄褐色土を含む
3 10YR1/1 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR5/6 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を含む
1 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を含む
2 10YR5/6 黄褐色 粘性なし 締まり密
3 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR1/6 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
7 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 焼土粒を含む
8 10YR3/3 暗褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
9 10YR4/6 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
10 10YR3/3 暗褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
11 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
12 10YR5/8 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
13 10YR4/4 褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒を含む
14 10YR4/6 褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒を含む
1 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒を含む
2 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR2/1 黒色 粘性やや小 締まりやや密 焼土粒を少量含む
6 10YR3/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
9 10YR3/4 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
10 10YR3/3 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
11 10YR2/3 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
12 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
13 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
14 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
15 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
16 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒を含む
17 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まりやや密 炭化材、焼土粒を少量含む

第22図 土坑跡（10）



1 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒をまばらに含む 礫を含む
2 10YR5/6 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を含む
3 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒、小礫を含む
4 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
5 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒をまばらに含む
6 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
7 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まりやや密
8 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
9 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒、小礫を含む
10 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
11 10YR4/6 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
12 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
13 10YR5/8 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
14 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を少量含む 砂質土
15 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒、小礫を含む

1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒をまばらに含む
2 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒を少量含む
4 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土粒を少量含む
5 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 焼土粒を少量含む
6 10YR3/3 黒褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒を少量含む
7 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
8 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 焼土粒を少量含む 黄土混入
9 10YR2/1 黒色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量 黄土混入
10 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
11 10YR5/6 黄褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒を含む
12 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性大 締まりやや密 炭化粒を含む
13 10YR2/1 黒色 粘性大 締まり粗 焼土粒を少量含む



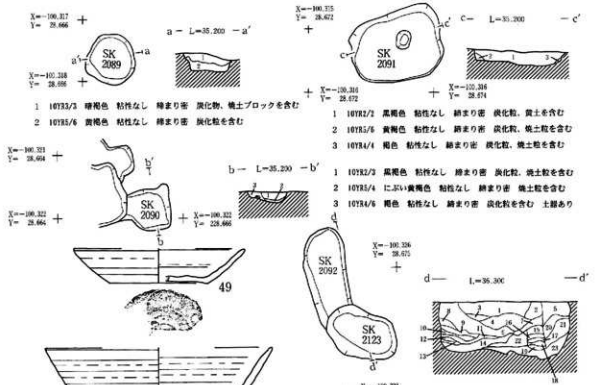
1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を含む
2 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
3 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 黄土を少量含む
4 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR2/3 黒褐色 粘性やや大 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
6 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まりやや密 炭化材、焼土粒を含む
7 10YR3/3 暗褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR4/6 褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒を含む
9 10YR5/6 黄褐色 粘性やや大 締まりやや密 砂質土

1 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR5/8 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を含む

第23図 土坑跡（11）

SK2090土坑（第24図　写真図版22、57）

長軸が南北に67cm、短軸59cm、検出面からの深さ17cmほどの方形状の土坑である。埋土は3層から構成され、炭化粒や焼土粒が混入する。底面はフラットではない。埋土断面図中の3層から須恵器の坏2点(49、50)が出土している。49は推定口径13.6cm、推定底径7.8cm、器高2.8cmを計測する。胎土に石英、小礫を含み焼成は比較的良好である。内外面とも黄灰色で、回転ヘラ切りによって切り離されている。50は推定口径18.0cm、現存高4.3cmを計測する破片である。胎土は緻密で砂礫の混入が観察できる。焼成は良好で内外面とも灰黄色である。



1　10YR3/3　暗褐色　粘性なし　締まり密　炭化物、焼土ブロックを含む
2　10YR5/6　黄褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒を含む

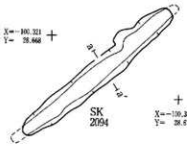
1　10YR2/2　黒褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒、黄土を含む
2　10YR5/6　黄褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
3　10YR4/4　褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む

1　10YR2/3　黒褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
2　10YR3/4　にぶい黄褐色　粘性なし　締まり密　焼土粒を含む
3　10YR4/6　褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒を含む　土器あり

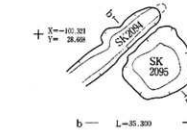
1　10YR3/2　黒褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
2　10YR3/3　暗褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
3　10YR3/1　暗褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
4　10YR3/2　黒褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
5　10YR2/2　黒褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
6　10YR2/2　黒褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
7　10YR3/2　黒褐色　粘性やや小　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
8　10YR4/6　褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
9　10YR3/4　暗褐色　粘性やや小　締まり密　焼土粒を含む
10　10YR4/4　褐色　粘性なし　締まり密　焼土粒を含む
11　10YR3/4　褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
12　10YR5/6　黄褐色　粘性やや小　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
13　10YR4/6　褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒、焼土粒を少量含む
14　10YR5/6　黄褐色　粘性やや小　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
15　10YR1.7/1　黒色　粘性小　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
16　10YR2/2　黒褐色　粘性やや大　締まりやや密　炭化粒、焼土粒を含む
17　10YR2/2　黒褐色　粘性やや大　締まりやや密　炭化粒、焼土粒を含む
18　10YR3/3　暗褐色　粘性やや大　締まりやや密　焼土粒を含む
19　10YR2/3　黒褐色　粘性やや大　締まりやや密　炭化粒、焼土粒を含む
20　10YR3/4　暗褐色　粘性小　締まり密　炭化材、焼土粒を含む
21　10YR4/4　褐色　粘性やや小　締まり密　炭化材、焼土粒を含む
22　10YR2/3　黒褐色　粘性やや小　締まり密　炭化粒、焼土粒、黄土を含む
23　10YR4/6　褐色　粘性小　締まりやや密　炭化粒を少量含む　砂質土

1　10YR3/2　にぶい黄褐色　粘性なし　締まり密　焼土粒を含む
2　10YR3/3　暗褐色　粘性なし　締まり密　焼土粒を含む
3　10YR3/2　黒褐色　粘性やや小　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
4　10YR4/6　褐色　粘性なし　締まり密　炭化粒を含む
5　10YR5/6　黄褐色　粘性やや小　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
6　10YR5/6　明黄褐色　粘性やや小　締まりやや密　炭化粒、焼土粒を含む
7　10YR5/6　黄褐色　粘性やや小　締まりやや密　炭化粒、焼土粒を含む
8　10YR5/6　黄褐色　粘性やや小　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む
9　10YR3/2　黒褐色　粘性大　締まり密　炭化粒、焼土粒を含む

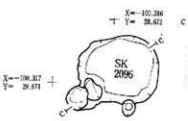
第24図　土坑図（12）



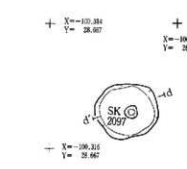
1 10YR3/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒を含む
2 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒を含む
3 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR5/6 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR4/6 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
7 10YR3/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR4/6 褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒を含む



1 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒を含む
2 10YR5/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
9 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
10 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
11 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
12 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
13 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
14 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
15 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化材を含む
16 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
17 10YR3/4 暗褐色 粘性やや大 締まり密 炭化材を含む 焼土粒を少量含む
18 10YR4/6 褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒を含む 焼土粒を少量含む

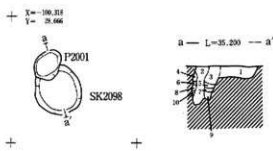


1 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化物、炭化粒、黄色土を含む
2 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む 黄色土をまばらに含む
3 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密 焼土粒、炭化粒を含む

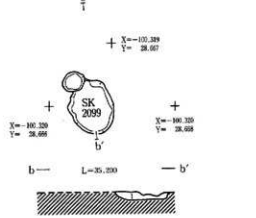


1 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR2/3 黒褐色 粘性やや小 締まり密 焼土粒を含む
5 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 焼土粒、黄土を含む
6 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒、黄土を含む
7 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 焼土粒を含む
8 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
9 10YR3/3 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
10 10YR4/6 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
11 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密 焼土粒を少量含む
12 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
13 10YR4/6 褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
14 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
15 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 焼土粒を含む
16 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 焼土粒を含む
17 10YR3/2 黒褐色 粘性小 締まり密 焼土粒を含む

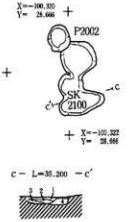
第25図　土坑跡（13）



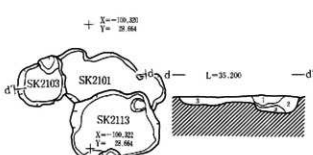
1 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土ブロックを含む
2 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土粒、黄土を含む
3 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR3/4 暗褐色 粘性ややか 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
5 10YR5/6 黄褐色 粘性ややか 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
6 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒を少量含む
7 10YR2/2 黒褐色 粘性ややか 締まり密 炭化材、焼土ブロックを含む
8 10YR5/6 黄褐色 粘性ややか 締まり密 炭化粒を少量含む
9 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まりやや密 焼土粒を少量含む
10 10YR4/6 褐色 粘性小 締まりやや密



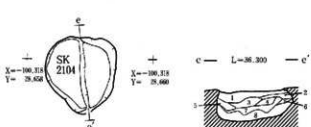
1 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む



1 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土ブロックを含む
2 10YR5/6 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR5/6 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土粒を含む

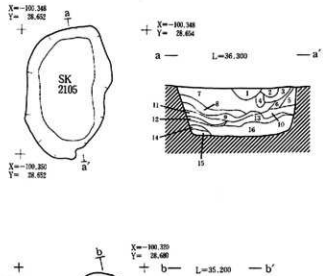


1 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
2 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土ブロックを含む

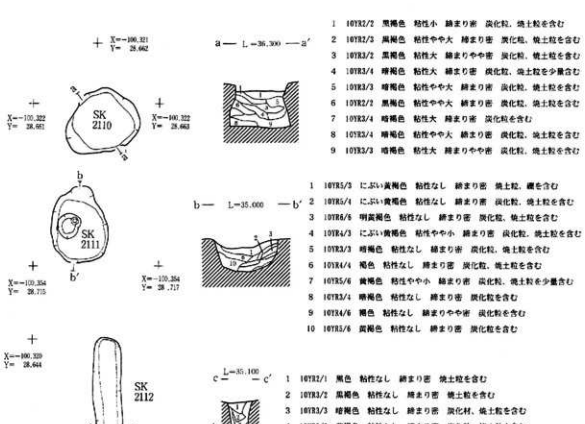


1 10YR4/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
2 10YR5/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
4 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土ブロックを含む
5 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR2/1 黒色 粘性なし 焼土粒を少量含む 黄土を含む
7 10YR5/6 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化材を含む
8 10YR5/2 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化材を含む

第26図 土坑跡 (14)


X=-100.348
Y= 28.652
a
SK
2105
a'
X=-100.348
Y= 28.654
a — L=36.300 — a'
X=-100.352
Y= 28.652
1 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒を含む
2 10YR4/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
3 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR5/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR6/4 にぶい黄橙色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR4/6 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
9 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
10 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
11 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
12 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
13 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
14 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
15 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
16 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
b
SK
2106
b'
X=-100.339
Y= 28.680
b — L=35.200 — b'
X=-100.339
Y= 28.678
1 10YR3/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒、炭化粒を含む 黄土をまばらに含む
X=-100.338
Y= 28.675
SK
2107
c
c'
X=-100.338
Y= 28.675
c — L=35.200 — c'
1 10YR1.7/1 黒色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 焼土粒を少量含む
3 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR4/6 褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR2/1 黒色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、黄褐色土を含む
6 10YR5/8 黄褐色土 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
X=-100.339
Y= 28.670
d
SK2108
d'
L=35.200
d — — d'
1 10YR2/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR5/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を含む
3 10YR6/6 明黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む（黒色土あり）
4 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む（黒色土あり）
X=-100.339
Y= 28.670
X=-100.332
Y= 28.672
X=-100.318
Y= 28.668
e
SK2009
e'
L=35.200
e — — e'
1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
2 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒を含む 焼土粒を少量含む
4 10YR2/3 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR5/6 黄褐色 粘性なし 締まり密炭化粒、焼土粒を含む
X=-100.320
Y= 28.668
X=-100.329
Y= 28.670

第27図　土坑跡（15）

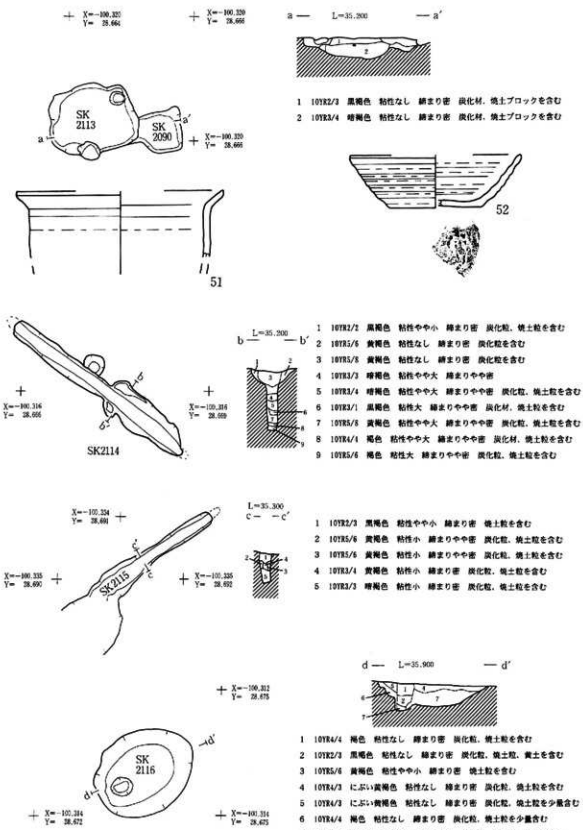


第28図　土坑跡（16）

SK２１１３土坑（第29図　写真図版28、98）

長軸1.4m、短軸1.12m、検出面からの深さ28cmほどの長方形状の土坑である。SK2090土坑と重複し、本遺構のほうが古い。遺構の壁面は撹乱によって所々壊されている。埋土は2層からなり上層に黒褐色土、下層に暗褐色土が堆積する。両層には炭化材、焼土ブロックが含まれている。

遺物は土師器の甕（51）、須恵器の坏（52）が出土している。51は推定口径16.1cm、現存高5.3cmの口縁部から体部にかけての破片である。内外面とも橙色で胎土には直径0.5～2㎜程度の砂礫が混入する。焼成は悪くロクロで成形されている。52は推定口径13.6cm、推定底径7.4cm、器高4.2cmの破片である。外面は黄灰色で内面は灰黄色である。焼成はそれほど良くない。ロクロで成形され、底部は回転ヘラ切りで切り離される。



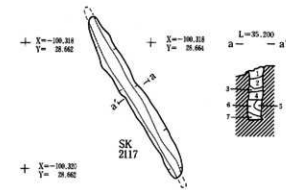
1 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土ブロックを含む
2 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土ブロックを含む

1 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR5/6 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を含む
3 10YR5/8 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を含む
4 10YR3/3 暗褐色 粘性やや大 締まりやや密
5 10YR3/4 暗褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR3/1 黒褐色 粘性大 締まりやや密 炭化材、焼土粒を含む
7 10YR5/8 黄褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR4/4 褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化材、焼土粒を含む
9 10YR5/6 褐色 粘性大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む

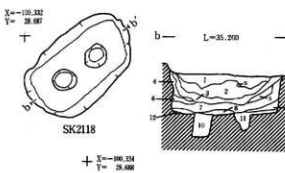
1 10YR2/3 黒褐色 粘性やや小 締まり密 焼土粒を含む
2 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR5/8 黄褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR3/3 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む

1 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒、黄土を含む
3 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 焼土粒を含む
4 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
6 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
7 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒、黄土を含む

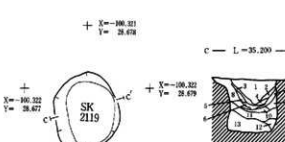
第29図　土坑跡（17）



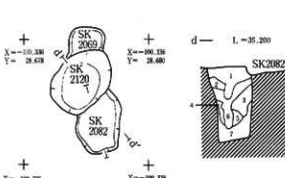
1 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 焼土粒を含む
2 10YR3/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR5/6 黄褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR5/8 黄褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む



1 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり 炭化粒、焼土ブロックを含む
4 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密 焼土粒を少量含む
5 10YR2/3 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
7 10YR4/6 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土ブロックを含む
8 10YR3/3 暗褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
9 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
10 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
11 10YR4/4 褐色 粘性大 締まりやや密 炭化粒を含む 砂質土
12 10YR5/6 黄褐色 粘性大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む

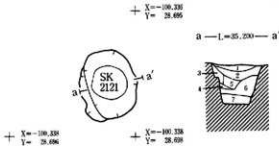


1 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
9 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
10 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
11 7.5YR5/8 明褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
12 7.5YR5/8 明褐色 粘性大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
13 10YR4/6 粘性大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む

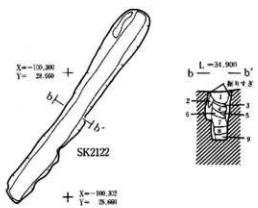


1 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR2/3 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR5/8 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR4/6 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR5/4 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR6/8 明黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む

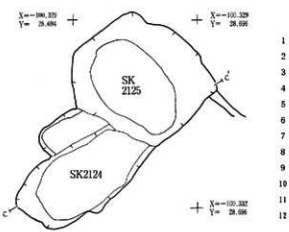
第30図　土坑跡（18）



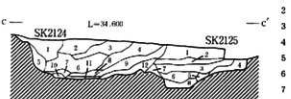
1 10YR6/3 にぶい黄橙色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 焼土粒を含む
4 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まりやや密
5 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 焼土粒を少量含む
6 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
7 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を少量含む



1 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR1/4 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
3 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 焼土粒を少量含む
4 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 焼土粒を少量含む
5 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 焼土粒を少量含む
6 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性小 締まりやや密 焼土粒を少量含む
7 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR3/1 黒褐色 粘性大 締まりやや密 焼土粒を含む
9 10YR5/6 黄褐色 粘性大 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む

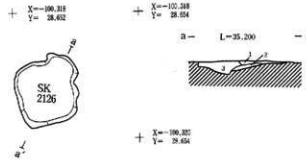


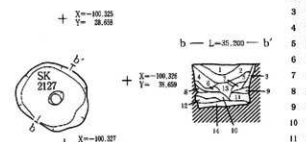
1 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を含む
3 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を含む 焼土粒を少量含む
4 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR4/6 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR3/6 黄褐色 粘性やや小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR3/1 にぶい黄褐色 粘性なし 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
9 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密 炭化物、焼土粒をまばらに含む
10 10YR3/1 褐灰色 粘性大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
11 10YR4/1 褐灰色 粘性やや大 締まり密
12 10YR4/2 灰黄褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒をまばらに含む

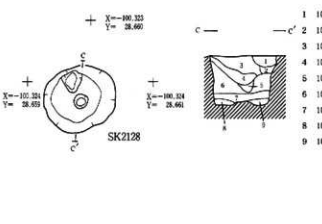


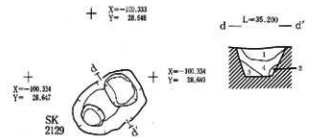
1 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化材を含む 焼土粒を少量含む
2 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を含む
3 10YR4/6 褐色 粘性なし 締まり密 炭化材を含む 焼土粒を少量含む
4 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を少量含む
5 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まりやや密 焼土粒を少量含む
6 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒を含む
7 10YR4/6 褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を含む
8 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性大 締まりやや密 炭化材を含む

第31図 土坑跡（19）

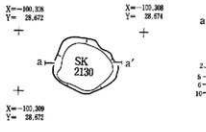

X=-100.318
Y= 28.632
X=-102.348
Y= 29.054
SK
2126
a
a'
L=35.200
1 10YR4/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を含む
3 10YR2/3 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒を含む
X=-100.327
Y= 29.454


X=-100.325
Y= 28.638
SK
2127
b
b'
L=35.200
X=-100.326
Y= 28.459
X=-100.327
Y= 28.638
1 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
3 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR2/3 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒をまばらに含む
7 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
9 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
10 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
11 10YR3/4 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
12 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
13 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒をまばらに含む
14 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む 砂質土

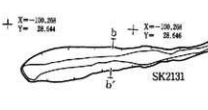

X=-100.323
Y= 28.660
c
c'
X=-101.324
Y= 28.659
X=-100.324
Y= 28.661
SK2128
1 10YR3/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR3/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR3/3 暗褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を少量含む
6 10YR4/4 褐色 粘性小 締まりやや密 炭化材、焼土粒を含む
7 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
8 10YR5/6 黄褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒を含む 焼土粒を少量含む
9 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒を少量含む 砂質土


X=-102.333
Y= 28.648
d
d'
L=35.200
X=-100.324
Y= 28.647
X=-100.324
Y= 28.663
SK
2129
1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
3 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 焼土粒を含む
4 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む

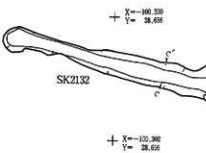
第32図 土坑跡 (20)



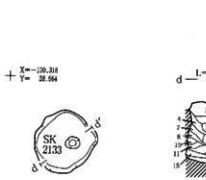
1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒をまばらに含む
2 10YR5/8 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒を含む
3 10YR2/3 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR3/2 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
9 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
10 10YR6/6 明黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
11 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
12 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
13 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
14 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む



1 10YR1.7/1 黒色 粘性なし 締まり密 焼土粒を少量含む
2 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒をまばらに含む
3 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR5/8 黄褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR5/6 黄褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR6/6 明黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む

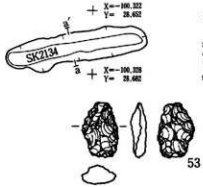


1 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR5/6 黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
5 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR3/4 暗褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR5/6 黄褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR2/2 黒褐色 粘性大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む

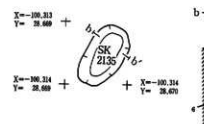


1 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR2/3 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む 黄土をまばらに含む
6 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR3/4 暗褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化材、焼土粒を含む
9 10YR3/3 暗褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化材、焼土粒を含む
10 10YR2/2 黒褐色 粘性大 締まりやや密 焼土粒を含む
11 10YR3/2 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
12 10YR2/3 黒褐色 粘性大 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
13 10YR2/2 黒褐色 粘性大 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
14 10YR4/6 褐色 粘性中 締まりやや密 炭化粒を含む
15 10YR3/4 暗褐色 粘性大 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
16 10YR3/4 暗褐色 粘性やや大 締まり密 炭化材を含む 砂質土

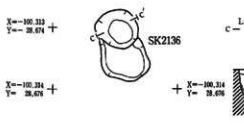
第33図 土坑跡 (21)



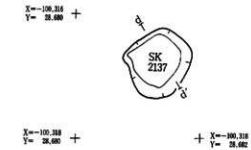
1 10YR5/2 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR3/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 焼土粒をまばらに含む
4 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR5/8 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
9 10YR5/8 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
10 10YR2/3 黒褐色 粘性やや大 締まり密
11 10YR4/6 褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒を含む



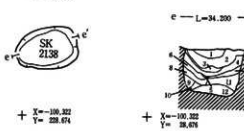
1 7.5YR5/6 明褐色 粘性なし 締まり密 炭化材、焼土ブロックを含む
2 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR5/6 黄褐色 粘性中 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR5/6 黄褐色 粘性中 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR5/2 灰黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む



1 10YR5/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、黄褐色土を含む
2 10YR7/3 にぶい黄橙色 粘性なし 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を少量含む
3 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、褐色土を含む

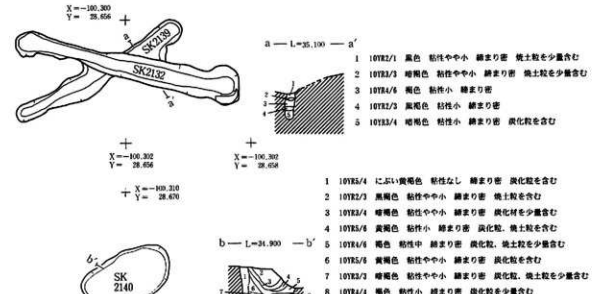


1 10YR3/1 黒褐色 粘性小 締まり密 焼土粒を少量含む 褐色土混入
2 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密 焼土粒を含む 褐色土混入
3 10YR2/1 黒色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む 褐色土をまばらに含む



1 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化材、焼土粒を含む
3 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒をまばらに含む
5 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む
8 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
9 10YR4/6 褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
10 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
11 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
12 10YR5/6 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む

第34図 土坑跡 (22)

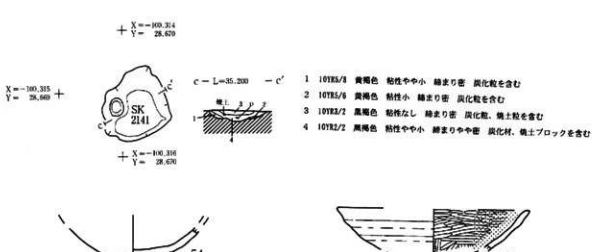


第35図　土坑跡（23）

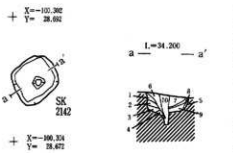
SK２１４１土坑（第36図　写真図版36、58）

長軸1.40m、短軸0.93m、検出面からの深さ17cmほどの不整形な浅い土坑である。遺構の西側は柱穴状土坑に破壊されている。埋土は大別すると黄褐色土と黒褐色土の層からなり、それぞれ2層ずつ分層でき、4層からの埋土で構成される。全ての層に炭化材や焼土粒の混入が観察できる。遺物は埋土から須恵系土器坏（54）、土師器坏（55）が出土している。

54は推定底径4.5cm、現存高2.1cmを計測し、内外面とも橙色である。胎土は緻密で、焼成は悪い。内外面ともロクロ成形と思われるが、摩滅が著しくはっきりとしない。また、底部の切り離しも回転糸切りと思われるが、摩滅のためはっきりとしない。55は推定口径15.0cm、現存高3.4cmを計測する。外面は浅黄橙色で内面は黒色処理がされる。胎土は緻密で焼成は普通である。ロクロ成形後内面にミガキ調整が施される。



第36図　土坑跡（24）

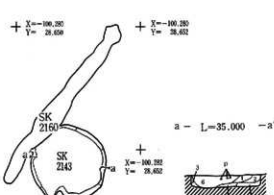


第37図　土坑跡（25）

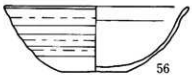
SK２１４３土坑（第38、39図　写真図版37、58）

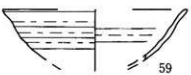
直径63cmほどの円形の土坑である。SK2160土坑と重複し、本土坑のほうが新しい。埋土は6層から構成されるが、そのすべてに炭化粒、焼土粒が混入する。遺物はすべて埋土からの出土である。

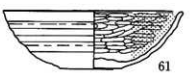
56は土師器の坏である。口径14.8cm、底径5.1cm、器高5.2cmを計測する。胎土はやや緻密で焼成は非常に悪い。外面はにぶい橙色で内面は灰黄褐色である。ロクロ成形がなされている。内外面とも焼成が悪いため器壁が剥がれ落ちている部分がある。内面は特にひどい。外面底部もまた器面荒れが激しく切り離し方はわからない。57は土師器の坏である。推定口径12.6cm、推定底径7.4cm、現存高4.4cmを計測する。胎土はやや緻密で焼成はや非常に悪い。外面はにぶい黄橙色で内面は器面が剥げ落ち灰白色である。内外面ともロクロ成形であるが、底部外面は器面荒れのため切離し方は不明である。58は土師器の坏である。口径14.8cm、底径5.1cm、器高4.7cmを計測する。胎土はやや緻密で焼成は比較的悪い。外面は橙色で内面は黒色処理がなされる。ロクロ成形で、内面にはミガキが施される。外面底部は回転糸切り痕が残る。59は土師器の坏である。推定口径14.6cm、現存高4.2cmの底部が欠損する破片である。胎土は緻密で焼成はやや良い。外面は橙色で内面はにぶい橙色である。黒色処理は剥落している。60もロクロ成形された土師器の坏である。口径14.0cm、底径5.2cm、器高4.6cmを計測する。胎土は比較的緻密で、砂礫、石英をまばらに含む。焼成はやや良好。外面はにぶい黄橙色で内面は黒色処理がなされミガキ調整が施される。回転糸切である。61はロクロ成形された土師器の坏である。口径14.3cm、底径4.6cm、器高4.6cmを計測する。胎土は比較的緻密で、石英が少量混入する。焼成はやや悪い。外面はにぶい黄橙色で内面は黒色処理がなされ、ミガキ調整が施されている。回転糸切りである。

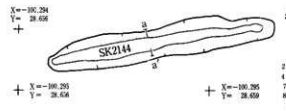


第38図　土坑跡（26）

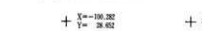


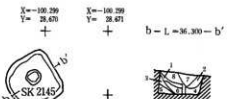




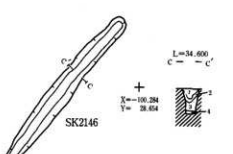


1 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を含む
2 10YR2/1 黒色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒を含む
4 10YR2/1 黒色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
5 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
6 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒を含む
7 10YR5/8 黄褐色 粘性中 締まり密 炭化粒を含む
8 10YR4/6 褐色 粘性中 締まり密 炭化粒を含む
9 10YR1.7/1 黒色 粘性大 締まりやや密 炭化粒を含む

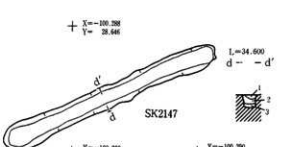




1 10YR4/2 灰黄褐色 粘性小 締まり密 炭化材を含む
2 10YR5/1 褐灰色 粘性小 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む
3 10YR5/8 黄褐色土 粘性小 締まり密 炭化材を含む
4 10YR3/1 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む
5 10YR4/2 灰黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化材を含む
6 10YR4/1 褐灰色 粘性やや小 締まり密 炭化材、黄褐色土を含む
7 10YR3/1 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒、赤褐色土を含む
8 10YR3/1 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む

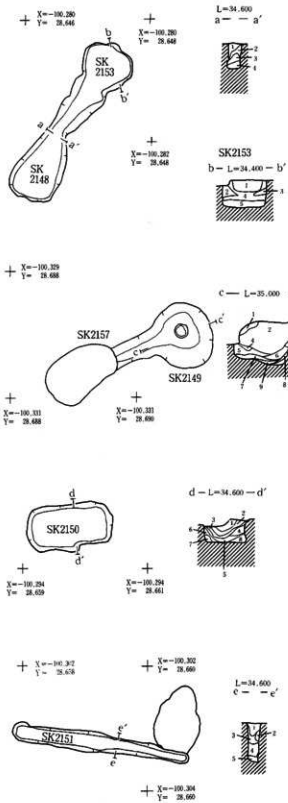


1 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
3 10YR5/8 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
4 10YR3/4 暗褐色 粘性中 締まりやや密

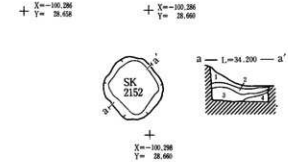


1 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒を含む
2 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を少量含む

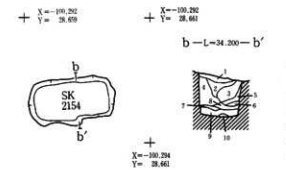
第39図 土坑跡（27）


SK2148
L=34.600
a — — a′
1 10YR5/6 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR4/6 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR3/2 黒褐色 粘性中 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR2/2 黒褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
SK2153
SK2148
X=−100.280
Y= 28.646
X=−100.280
Y= 28.648
X=−100.282
Y= 28.648
SK2153
b — L=34.400 — b′
1 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む
2 10YR5/8 黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む
3 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性小 締まり密 赤褐色土をまばらに含む
4 10YR5/1 灰黄褐色 粘性中 締まり密 赤褐色土を含む
5 10YR4/2 灰黄褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、赤褐色土を含む
X=−100.329
Y= 28.688
SK2157
SK2149
c — L=35.000 — c′
1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR1.7/1 黒色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR3/4 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
4 10YR3/2 黒褐色 粘性中 締まり密 焼土粒を少量含む
5 10YR2/2 黒褐色 粘性中 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR2/3 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密 焼土粒をまばらに含む
7 10YR3/4 暗褐色 粘性中 締まりやや密 炭化粒を含む
8 10YR3/3 暗褐色 粘性中 締まり密 炭化粒を少量含む
9 10YR3/3 暗褐色 粘性中 締まりやや密 炭化粒を含む
10 10YR4/4 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒を少量含む
X=−100.331
Y= 28.688
X=−100.321
Y= 28.690
SK2150
X=−100.284
Y= 28.659
X=−100.284
Y= 28.661
d — L=34.600 — d′
1 10YR4/2 灰黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR6/6 明黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR6/6 明黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR5/8 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
X=−100.302
Y= 28.678
X=−100.302
Y= 28.660
SK2151
L=34.600
e — — e′
1 10YR1.7/1 黒色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR2/1 黒色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒を含む
5 10YR6/6 明黄褐色 粘性中 締まり密 炭化粒を含む
X=−100.304
Y= 28.660

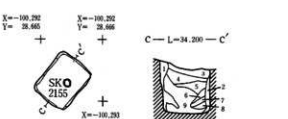
第40図　土坑跡（28）



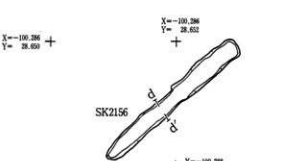
1 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR3/2 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒、褐色土を含む
3 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR5/8 黄褐色 粘性中 締まり密 炭化粒、小礫を含む



1 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒、黄褐色土を含む
2 10YR5/2 灰黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む
3 7.5YR4/1 灰色 粘性小 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む
4 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒、赤褐色土を含む
5 7.5YR3/1 オリーブ黒色 粘性小 締まり密 赤褐色土、褐色土を含む
6 7.5YR2/1 黒色 粘性中 締まりやや密 褐色土を少量含む
7 7.5YR4/1 灰色 粘性小 締まりやや密 褐色土を含む
8 7.5YR3/1 オリーブ黒色 粘性大 締まりやや密
9 7.5YR3/1 オリーブ黒色 粘性大 締まりやや粗
10 10GY5/1 緑灰色 粘性やや大 締まりやや密



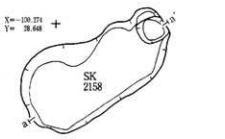
1 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を少量含む
2 10YR5/2 灰黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
3 10YR2/1 黒色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR3/1 黒褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR4/1 褐灰色 粘性中 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR3/2 黒褐色 粘性中 締まり密 炭化粒、黄褐色土を含む
8 10YR4/6 褐色 粘性やや大 締まり密 炭化材を含む
9 10YR3/1 黒褐色 粘性中 締まり密 炭化粒、褐色土を含む



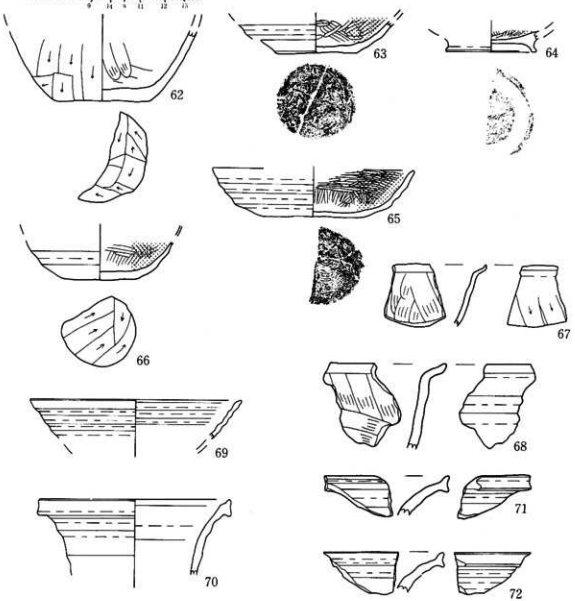
第41図 土坑跡（29）

SK２１５８土坑（第42図　写真図版41、58）

長軸1.33m、短軸0.5～0.6m、検出面からの深さ18cm前後の不整形な土坑である。埋土は15層に細分され、すべてに焼土粒、炭化材、炭化粒が混入する。人為的堆積と思われる。遺物は土師器の坏、高台付き坏、鉢、須恵器の坏、短頸壺と思われる口縁部の破片が出土している。62は土師器の鉢と思われる底部から胴部にかけての破片である。推定底径7.8cm、現存高5.6cmを計測する。底部は平底で外面にケズリ調整が施される。胴部の外面にはケズリ調整が施され、内面には指ナデと思われる調整が施される。外面はにぶい橙色で、内面は橙色である。胎土はやや粗雑で、直径0.5～4㎜の細礫を全体に多く含む。焼成は悪い。63はロクロ成形の土師器坏である。推定底径6.5cm、現存高2.2cmの破片である。胎土はやや緻密で、焼成は比較的良い。外面はにぶい橙色で、内面は黒色処理されミガキ調整が施される。底部には回転糸切り痕が観察できる。64は土師器の高台付き坏である。高台推定径7.0cm、現存高1.7cmを計測し、高台の高さは0.6cmほどである。胎土は緻密で、焼成は比較的良好である。外面は浅黄橙色で内面は黒色処理される。外面の調整は不明であるが、内面にはミガキ調整が施される。高台端部は外方にはみ出るように傾いている。65は土師器の坏である。推定口径15.9cm、推定底径7.8cm、現存高3.8cmを計測する。胎土は緻密で焼成は比較的良好である。ロクロ成形がなされ、外面はにぶい黄橙色、内面は黒色処理され、ミガキ調整が施される。底部外面には回転糸切り痕が観察できる。66は土師器の坏である。底径6.0cm、現存高3.0cmを計測する。胎土はやや粗雑で焼成は比較的悪い。ロクロ成形され外面はにぶい橙色、内面は黒色処理がなされミガキ調整が施される。底部外面には切り離し後の再調整が観察できる。67は土師器の小型甕と思われる破片である。鉢または甕の可能性も考えられるが、器壁が薄いことから小型甕と判断した。現存は4.9cmを計測する。胎土はやや粗雑で焼成は悪い。外面は橙色で内面は浅黄橙色である。器面荒れのため内外面とも調整方法がはっきりしないが、外面にはケズリ調整が、内面には指ナデ調整が施されると思われる。68は土師器の甕と思われる破片である。内面に見られるケズリ調整から判断した。現存高は6.8cmを計測する。胎土はやや緻密で焼成はやや悪い。外面はにぶい橙色で内面は浅黄橙色である。ロクロ成形がなされ内面には指ナデ調整が施されると思われる。69は須恵器坏の破片である。推定口径16.7cm、現存高3.6cmを計測する。胎土はやや粗雑で、焼成もそれほど良くない。ロクロ成形がなされ、内外面とも灰黄色である。70は須恵器の短径壺と思われる口縁部から頚部にかけての破片である。推定口径15.0cm、現存高6.0cmを計測する。胎土はやや緻密で焼成は良好、ロクロ成形がなされ、内外面とも褐灰色である。71は須恵器の短頚壺の口縁部と思われる破片である。現存高4.9cmを計測する。口縁端部上方はつまみあげられるように外傾し、下方もまたつまみあげられるように外傾する。胎土は緻密で焼成は比較的良好、ロクロ成形で内外面とも褐灰色である。72は須恵器の短頚壺と思われる破片である。現存高は3.2cmを計測する。胎土はやや緻密で砂粒が混入する。焼成は比較的良く、内外面とも灰色である。

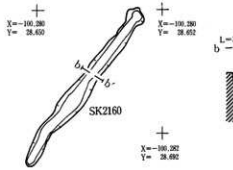


1 10YR3/2 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む
2 10YR3/1 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土ブロック、赤褐色土を含む
3 10YR4/1 褐灰色 粘性中 締まり密 炭化材、赤褐色土を含む
4 10YR3/1 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化材、赤褐色土粒、褐色土を含む
5 10YR3/1 黒褐色 粘性中 締まり密 炭化粒、焼土粒、黄褐色土を含む
6 10YR3/2 黒褐色 粘性中 締まり密 炭化粒、赤褐色土粒を含む
7 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒、黄褐色土を含む
8 10YR3/2 黒褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む
9 10YR3/2 黒褐色 粘性中 締まり密 炭化材、赤褐色土を含む
10 10YR4/2 灰黄褐色 粘性やや大 締まり密 炭化材、焼土粒、赤褐色土を含む
11 10YR4/4 褐色 粘性中 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
12 10YR4/6 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土ブロックを含む
13 10YR2/2 黒褐色 粘性やや大 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
14 10YR3/1 黒褐色 粘性大 締まりやや密 炭化材、焼土粒、赤褐色土を含む
15 10YR4/6 褐色 粘性大 締まり密 炭化粒を含む

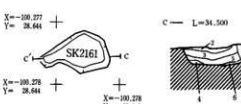


第42図　土坑跡（30）

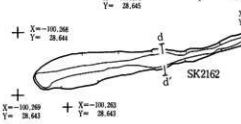
1 10YR5/6 黄褐色 粘性なし 締まり密
2 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密
3 10YR4/6 褐色 粘性なし 締まり密 砂質土



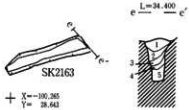
1 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR2/2 黒褐色 粘性中 締まり密 炭化粒を含む
5 10YR4/6 褐色 粘性中 締まり密 炭化粒、焼土粒を少量含む



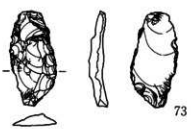
1 10YR4/1 褐灰色 粘性小 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む
2 10YR6/3 にぶい黄橙色 粘性中 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む
3 10YR4/2 灰黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む
4 10YR7/3 にぶい黄橙色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、赤褐色土を含む
5 10YR7/4 にぶい黄橙色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、赤褐色土を含む
6 10YR4/1 褐灰色 粘性中 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む

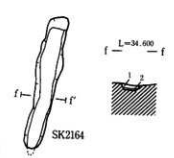


1 10YR4/1 褐灰色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR3/1 黒褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR4/6 褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR4/2 灰黄褐色 粘性やや小 締まり密 焼土粒を含む
5 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む

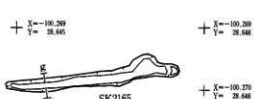


1 10YR2/1 黒色 粘性中 締まりやや密 焼土粒を含む
2 10YR3/1 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘性中 締まり密 炭化粒を含む
4 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR4/6 褐色 粘性小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む





1 10YR4/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒を含む
2 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む



第43図　土坑跡（31）

表－1　土坑一覧表

※長軸・短軸・深さの単位はm

遺構番号	平面形	長軸	短軸	深さ	遺　物	底面小穴	その他・備考
2037	細長形	2.36	0.22	0.54	無し	無し	縄文・陥し穴か
2038	楕円形	1.16	0.94	0.88	無し	無し	縄文・陥し穴か
2039	隅丸正方形か	1辺0.6m前後		0.88	無し	有り・1	縄文・陥し穴か
2040	隅丸正方形	1.20	1.02	0.87	無し	有り・1	縄文・陥し穴か
2042	隅丸正方形	1辺0.9m前後		0.19	無し	無し	
2043	不整円形	1.17	1.08	0.31	無し	無し	
2044	円形	直径0.86m		0.42	無し	無し	縄文・陥し穴か
2045	円形	直径0.96m		0.28	無し	無し	
2046	長方形	1.41	0.92	0.69	無し	有り・1	縄文・陥し穴か
2047	楕円形	1.66	1.08	0.66	無し	有り・1	縄文・陥し穴か
2048	隅丸方形	1.12	1.00	0.94	無し	有り・1	縄文・陥し穴か
2049	卵形	0.67	0.58	0.13	須恵・坏　鉄	無し	平安
2050	長楕円形	0.86	0.50	0.09	須恵・坏	無し	平安
2051	不整円形	直径0.86m		0.08	無し	無し	
2052	楕円形	1.20	0.80	0.59	無し	有り・1	縄文・陥し穴か
2053	不整円形	直径1.14m		0.84	無し	有り・1	縄文・陥し穴か
2054	隅丸方形	0.98	0.87	0.84	無し	無し	縄文・陥し穴か
2055	楕円形	1.57	0.81	0.76	無し	無し	縄文・陥し穴か
2056	隅丸方形	2.17	1.15	0.78	無し	有り・2	縄文・陥し穴か
2057	楕円形	1.86	0.76	0.25	無し	無し	
2058	隅丸方形	1.89	1.20	0.82	無し	有り・2	縄文・陥し穴か
2059	円形	直径1.02m		0.84	無し	無し	縄文・陥し穴か
2060	細長形	3.32	0.48	0.88	無し	無し	縄文・陥し穴か
2061	楕円形	1.64	0.96	0.68	無し	有り・2	縄文・陥し穴か
2063	細長形	3.24	0.41	0.72	無し	無し	縄文・陥し穴か
2064	円形	直径0.93m		0.20	土師・鉢	無し	
2065	隅丸長形	0.86	0.40	0.36	無し	無し	
2066	楕円形	1.16	0.76	0.60	須恵・坏、瓶	有り・1	縄文・陥し穴か
2068	隅丸正方形	1辺0.86m		0.72	無し	無し	縄文・陥し穴か
2069	不明	－	0.56	0.10	無し	無し	埋土に焼土粒混入

遺構番号	平面形	長軸	短軸	深さ	遺　物	底面小穴	その他・備考
2070	長方形	0.70	0.54	0.09	無し	無し	埋土に焼土粒混入
2071	細長形	1.63	0.36	0.65	無し	無し	縄文・陥し穴か
2072	隅丸長方形？	－	0.82	0.88	無し	無し	縄文・陥し穴か
2073	卵形	1.30	094	0.81	無し	無し	縄文・陥し穴か
2074	方形	1.00	0.92	1.04	無し	有り・1	縄文・陥し穴か
2075	細長形	3.50	0.46	0.60	無し	無し	縄文・陥し穴か
2076	不明	－	－	0.82	無し	無し	遺構重複
2077	楕円形	0.96	0.90	0.87	無し	無し	縄文・陥し穴か
2078	細長形	3.20	0.28	0.54	無し	無し	縄文・陥し穴か
2079	円形	1辺0.53m		0.86	無し	無し	縄文・陥し穴か
2080	楕円形	1.10	0.94	0.12	須恵・坏2	無し	平安
2081	不整形	0.96	0.64	0.32	須恵・甕	無し	平安
2082	隅丸方形	1.04	0.70	0.14	須恵・瓶	無し	平安
2083	隅丸長方形	1.66	1.06	0.76	無し	無し	縄文・陥し穴か
2084	不整形	1.04	0.82	0.77	無し	無し	縄文・陥し穴か
2085	楕円形	1.22	0.94	0.84	無し	無し	縄文・陥し穴か
2086	細長形	3.32	0.66	1.01	無し	無し	縄文・陥し穴か
2087	細長形	3.14	0.60	1.00	無し	無し	縄文・陥し穴か
2088	不整形	2.04	0.96	0.26	無し	無し	
2089	不整円形	0.84	0.78	0.26	無し	無し	
2090	不整形	0.70	0.64	0.16	須恵・坏2	無し	平安
2091	隅丸長方形	1.48	1.10	0.18	無し	有り・1	
2092	細長形	1.46	0.66	0.78	無し	無し	
2093	細長形	3.12	0.31	0.71	無し	無し	縄文・陥し穴か
2094	細長形	3.02	0.39	0.74	無し	無し	縄文・陥し穴か
2095	隅丸方形	1.11	0.96	0.86	無し	無し	縄文・陥し穴か
2096	隅丸方形	1.32	1.08	0.21	無し	無し	
2097	楕円形	0.98	0.84	0.74	無し	有り・1	縄文・陥し穴か
2098	楕円形？	不明	0.74	0.18	無し	無し	他遺構重複
2099	楕円形	0.88	0.68	0.12	無し	無し	
2100	不整形	－	－	0.14	無し	無し	撹乱か？
2101	不整形	－	0.78	0.12	無し	無し	
2103	隅丸方形	0.76	0.61	0.26	無し	無し	

遺構番号	平面形	長軸	短軸	深さ	遺　物	底面小穴	その他・備考
2104	不整形	1.24	1.14	0.44	無し	無し	
2105	隅丸方形	2.12	1.32	0.76	無し	無し	縄文・陥し穴か
2106	不整形	1.26	0.96	0.32	無し	無し	
2107	長楕円形	0.92	0.61	0.19	無し	無し	
2108	細長形	2.61	0.36	0.68	無し	無し	縄文・陥し穴か
2109	細長形	2.54	0.36	0.56	無し	無し	縄文・陥し穴か
2110	隅丸方形	1.21	1.06	0.68	無し	無し	
2111	隅丸方形？	1.24	0.91	0.46	無し	有り・1	縄文・陥し穴か
2112	細長形	2.91	0.44	0.74	無し	無し	縄文・陥し穴か
2113	隅丸方形	1.36	1.12	0.34	土師・甕　須恵・坏	無し	平安
2114	細長形	2.34	0.28	0.94	無し	無し	縄文・陥し穴か
2115	細長形	－	0.24	0.48	無し	無し	縄文・陥し穴か
2116	卵形	1.64	1.34	0.34	無し	無し	
2117	細長形	2.92	0.31	0.86	無し	無し	縄文・陥し穴か
2118	隅丸長方形	1.91	1.12	0.64	無し	有り・2	縄文・陥し穴か
2119	隅丸方形	1.19	0.98	0.86	無し	無し	縄文・陥し穴か
2120	卵形	1.08	0.81	1.18	無し	無し	縄文・陥し穴か
2121	隅丸長方形	1.08	0.94	0.64	無し	無し	縄文・陥し穴か
2122	細長形	3.66	0.36	0.78	無し	無し	縄文・陥し穴か
2123	長楕円形	1.16	0.76	0.91	無し	無し	縄文・陥し穴か
2124	長方形	2.21	1.04	0.64	無し	無し	
2125	不明	2.04	－	0.64	無し	無し	
2126	隅丸方形	1.02	0.96	0.22	無し	無し	
2127	隅丸方形	1.18	1.02	0.68	無し	有り・1	縄文・陥し穴か
2128	隅丸方形	1.14	1.04	0.72	無し	有り・1	縄文・陥し穴か
2129	不明	－	0.82	0.46	無し	無し	他遺構重複
2130	卵形	1.04	0.91	0.78	無し	無し	縄文・陥し穴か
2131	細長形	3.54	0.31	0.84	無し	無し	縄文・陥し穴か
2132	細長形	3.46	0.42	0.84	無し	無し	縄文・陥し穴か
2133	隅丸方形	0.96	0.88	0.94	無し	有り・1	縄文・陥し穴か
2134	細長形	2.26	0.48	0.72	石器・削掻器	無し	縄文・陥し穴か
2135	長楕円形	1.04	0.64	0.96	無し	無し	
2136	不整円形			0.44	無し	無し	

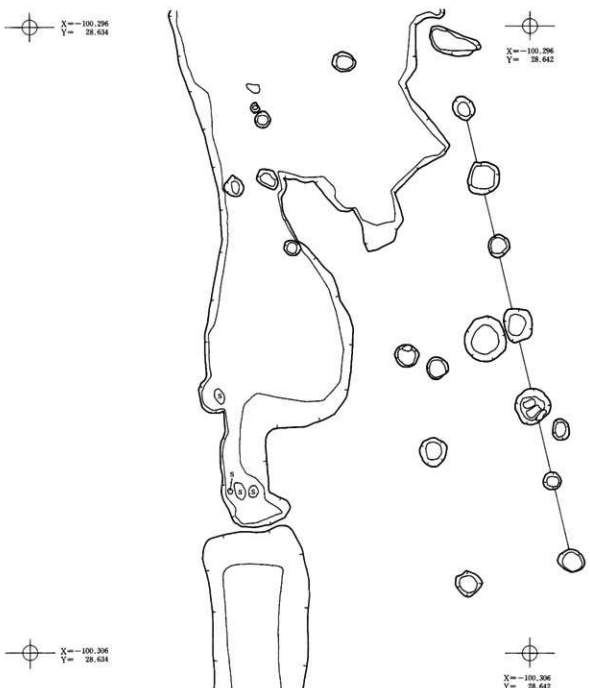
遺構番号	平面形	長軸	短軸	深さ	遺　物	底面小穴	その他・備考
2137	不整形	0.96	－	0.24	無し	無し	
2138	長楕円形	1.01	0.71	0.72	無し	無し	
2139	細長形	2.96	0.28	0.38	無し	無し	縄文・陥し穴か
2140	長楕円形	1.44	0.92	0.61	無し	無し	縄文・陥し穴か
2141	不整形	1.11	1.04	0.16	土師・坏2	無し	
2142	隅丸方形	0.72	0.68	0.32	無し	無し	縄文・陥し穴か
2143	円形	直径1.20m		0.19	須恵系・坏3 土師・坏3	無し	
2144	細長形	3.64	0.34	0.56	無し	無し	縄文・陥し穴か
2145	隅丸方形	1辺0.96m		0.34	無し	無し	縄文・陥し穴か
2146	細長形	2.94	0.32	0.41	無し	無し	縄文・陥し穴か
2147	細長形	3.71	0.34	0.21	無し	無し	縄文・陥し穴か
2148	不整形	－	0.22	0.41	無し	無し	
2149	隅丸方形	1.22	1.04	0.68	無し	有り・1	縄文・陥し穴か
2150	隅丸長方形	1.38	0.68	0.38	無し	無し	縄文・陥し穴か
2151	細長形	2.84	0.22	0.61	無し	無し	縄文・陥し穴か
2152	隅丸方形	0.96	0.86	0.51	無し	無し	縄文・陥し穴か
2153	不明	－	0.85	0.42	無し	無し	
2154	隅丸長方形	1.41	0.66	0.64	無し	無し	縄文・陥し穴か
2155	隅丸方形	0.84	0.64	0.82	無し	有り・1	縄文・陥し穴か
2156	細長形	2.76	0.32	0.19	無し	無し	縄文・陥し穴か
2158	不整形	2.56	1.12	0.34	土師器　須恵器	無し	平安
2159	細長形	3.66	0.36	0.13	無し	無し	縄文・陥し穴か
2160	細長形	2.44	0.25	0.39	無し	無し	縄文・陥し穴か
2161	不整形	1.12	0.66	0.28	無し	無し	
2162	細長形	3.56	0.31	0.36	無し	無し	縄文・陥し穴か
2163	細長形	－	0.23	0.68	無し	無し	縄文・陥し穴か
2164	細長形	2.16	0.31	0.09	無し	無し	
2165	細長形	2.78	0.21	－	無し	無し	縄文・陥し穴か

4　近世と思われる遺構群（第44、45図）

柱列１条、掘立柱建物跡１棟、溝跡11条を検出した。

SA２００１柱列跡（第44図）

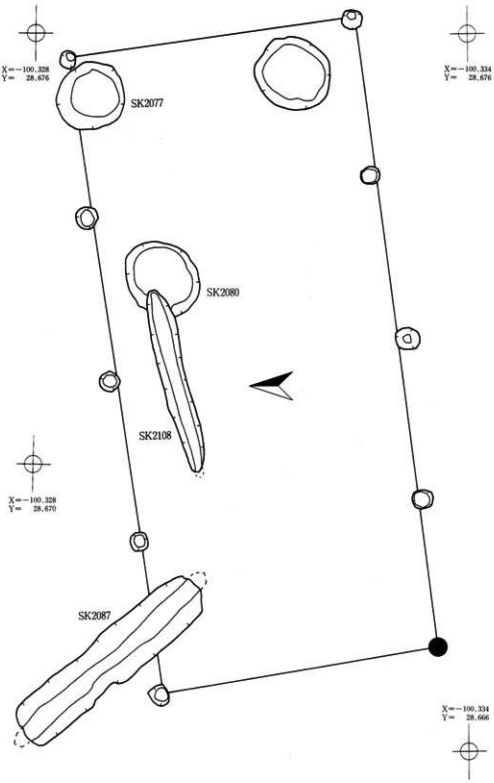
調査区中央西寄り、SD2006溝跡の東で検出した。長さは7.4mほどである。柱列跡から西に1.7mほどにはSA2001柱列跡の南端から平行して3基の柱列が観察できるが、周辺に柱列、または柱穴等が検出されないことから、建物跡の可能性を考えつつも柱列跡として登録した。柱穴内には礫を敷くものなども検出している。遺物が出土していないため時期は断言できないが、柱穴埋土から近世遺構と思われる。



第44図　SA2001柱列跡

SB２００８掘立柱建物跡（第45図）

調査区ほぼ中央で検出した。長軸はいくらか振れるが東西方向で約９m、短軸が3.88mである。柱穴の直径は約24cm前後で、平成11年度に調査した建物跡と比較するとやや小さめである。遺物は出土していないが、近世以降の掘立柱建物跡と思われる。



第45図　SB2008掘立柱建物

溝跡（第46～49図参照　写真図版45～49）

11本の溝跡を検出した。

SD01、2003、2004、2005溝跡（第46図　写真図版45）

平成11年度調査で検出したSD01溝跡の東側に続く溝跡である。同一のものであることから同じ遺構名で登録した。平成11年度調査時にこの溝跡が北進することが想定されており、今回はその予想をもとに調査を開始したのであるが、北進した長さは約3mほどで、その後、東に向きを変え段丘下へと延びて行った。規模は上幅で約40cm前後、下幅で15cm前後、検出面からの深さは40cm程度である。埋土は4層で構成され、上層から褐色土ブロックが混入する黒褐色土、黄褐色土粒が混入する黒褐色土、混入物がほとんどない黒褐色土、黄褐色土である。

SD01溝跡の北伸部には段丘下へ延びる（東進する）3本の溝跡が接続する。それぞれ南からSD2003、2004、2005溝跡として登録した。これら3本の溝跡はSD01溝跡と比較するとすべて浅い溝跡である。SD2003溝跡は上幅25cm前後、下幅15cm前後、検出面からの深さ20cm前後である。埋土は2層に分かれ上層に暗褐色土、下層に暗褐色土粒が混入する黄褐色土が堆積する。SD2004は規模、埋土状況ともにSD2003溝跡と類似する。SD2005溝跡は上幅40cm前後、下幅30cm前後、深さ20cm前後で埋土は3層から構成されている。上層から暗褐色土、黄褐色土、黄褐色土粒が混入する暗褐色土である。このSD2005溝跡は途中2本に分岐するが再度合流し、段丘下へと延びる。

SD01、SD2003、2004、2005、溝跡の新旧関係は押えることができなかった。

SD2006溝跡（第46図　写真図版46）

調査区南部をほぼ東西に横切る溝跡である。精査中にビニール管が出土したことから現代の溝跡、おそらく田んぼの用水路と思われることから、詳細は省略する。

SD2007、2008溝跡（第46図　写真図版47）

調査区南西隅に2本平行して、L字形に検出した。西端も南端も調査区外へ延びる。東西方向に走る溝跡が2本であるのに対し、南北に走る溝跡は1本と合流してしまうようである。南北に走る溝跡は、平成11年度調査時に検出した溝跡の北伸部にあたるのであるが、平成11年度の調査の際にビニールが出土していることから、現代の溝跡である可能性が高い。

SD2009、2010、2011、2012溝跡（第47、48図　写真図版48）

調査区ほぼ中央を東西に横切るように検出した。精査時には各々単独の溝跡と解釈していたが、精査終了時にSD2009溝跡とSD2012溝跡が、SD2010溝跡とSD2011溝跡が平行していることに気づいた。これら4本の溝跡は道路側溝の可能性が考えられる。また、SD2012溝跡は耕地整理に伴う掘削で西側半分ほどが破壊されていることから、おそらく耕地整理以前の道路跡であろう。SD2009溝跡とSD2011溝跡で新旧関係を確認しておりSD2009溝跡の方が新しい。したがって、4本の溝跡を道路側溝と考えた場合、SD2009-2012溝跡を持つ道路跡が新しく、SD2010-2011溝跡を持つ道路跡が古い。また、SD2012溝跡からはビニールが出土していることから耕地整理直前まで使われていた道路跡の可能性がある。

SD2013溝跡（第49図　写真図版49）

調査区北西で検出した。調査区外から延びてきて北方向に向きを変え北進する溝跡である。南側のL字コーナー付近が最も深くなっており、北側は浅い。途中SX2016と合流し規模を小さくしながらも

さらに北進し調査区外まで延びる。規模が小さくなるのは耕地整理による削平と関係があるのであろう。用途は不明であるが、耕地整理以前の農業用水路の可能性が考えられる。

井戸跡（第50、51、52図　写真図版49～51）

8基確認された。すべてが素掘りの井戸跡である。

SE２００３井戸跡（第50図　写真図版49）

開口部の長軸2.16m、短軸1.86m、検出面からの深さ1.88mを計測する。埋土は人為的堆積層と考えられ、ほとんどの層に小礫、または拳大ほどの礫が混入する。埋土中層から下層にかけて、グライ化が認められる。この井戸跡は礫層を掘り抜いて作られている。遺物は出土していない。

SE２００４井戸跡（第50図　写真図版49）

やや不整形ではあるが、開口部直径1.36mを計測する平面円形状の井戸跡である。下部にいくにしたがって徐々に狭くなっていく。検出面からの深さは約２mほどである。埋土には小礫、または拳大ほどの礫の混入が確認できる。埋土中層よりやや下層から木材が出土しているが、製品等ではない。他に遺物は出土していない。

SE２００５井戸跡（第50図　写真図版50）

やや不整形ではあるが、平面隅丸方形状の井戸跡である。１辺は1.4m前後で、検出面からの深さは1.52mを計測する。埋土のほとんどの層に小礫、または拳大の礫が混入し、中層から下層にかけてはグライ化が認められる。下部にいくにしたがって狭くなり、底面は長軸約0.8m、短軸0.6mほどの楕円形状である。底面付近から木材が出土しているが、製品ではない。

SE２００６井戸跡（第51図　写真図版50）

長軸1.74m、短軸1.46m、検出面からの深さ1.89mを計測する井戸跡である。下部にいくにしたがって狭くなり、底面では長軸0.4m、短軸0.2mほどの台形状となる。埋土は下層にグライ化が認められるが、礫等は混入しない。遺物は埋土中層で土師器片を出土しているが、これをもって時期を仮定するのは危険である。なお、非常に小片であるため、実測図及び写真は掲載できなかった。

SE２００７井戸跡（第51図　写真図版50）

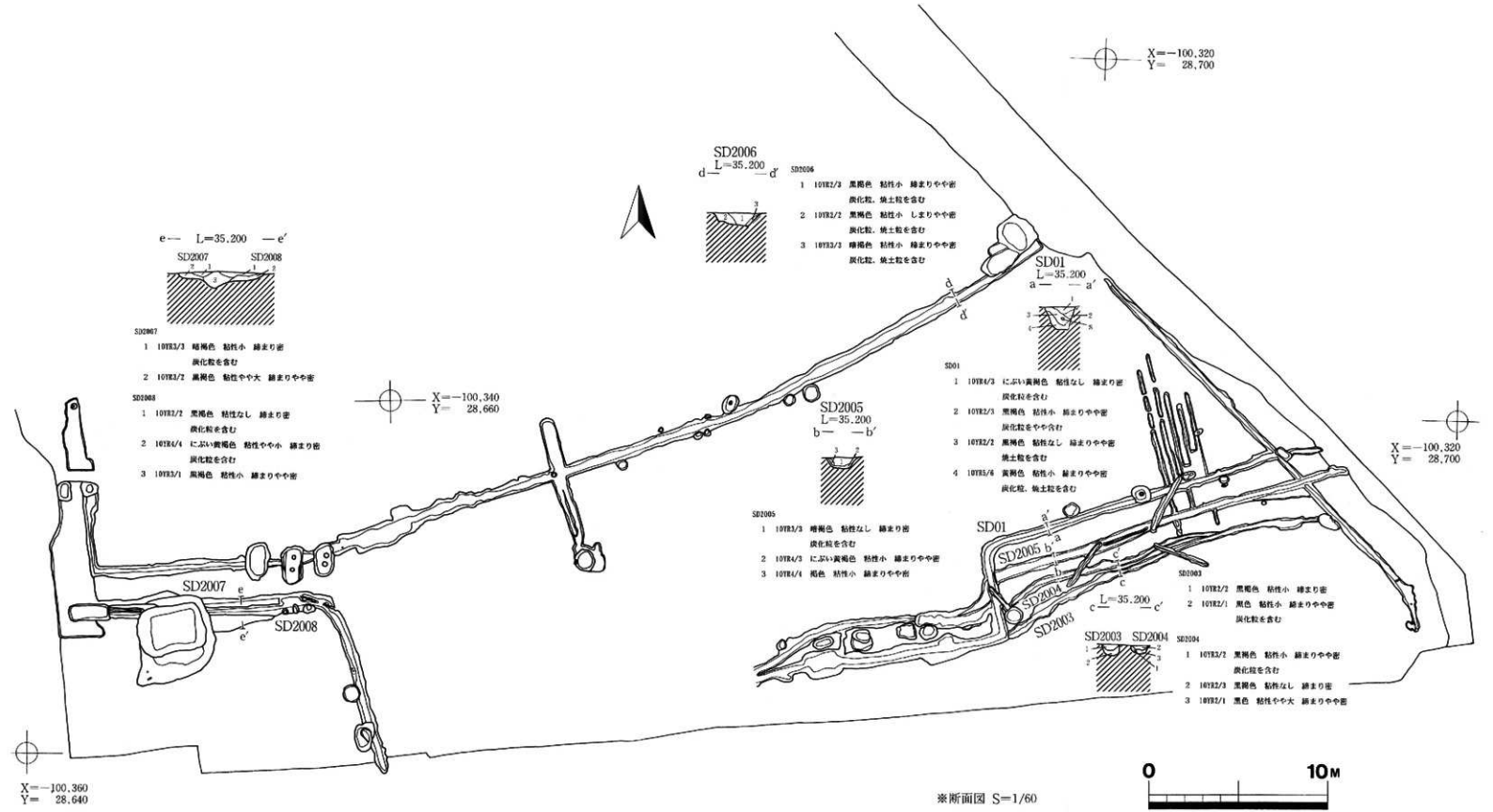
やや不整形ではあるが、直径1.9mを計測する平面円形状の井戸跡である。検出面からの深さは2.2m前後である。埋土には小礫、または拳大の礫が混入し、下層からは陶磁器片が出土している。陶磁器片は18世紀から19世紀にかけての破片と思われる。SE2007井戸跡の廃棄時期と重なるものであろう。実測図、写真等は掲載していない。

SE２００８井戸跡（第51図　写真図版50、51）

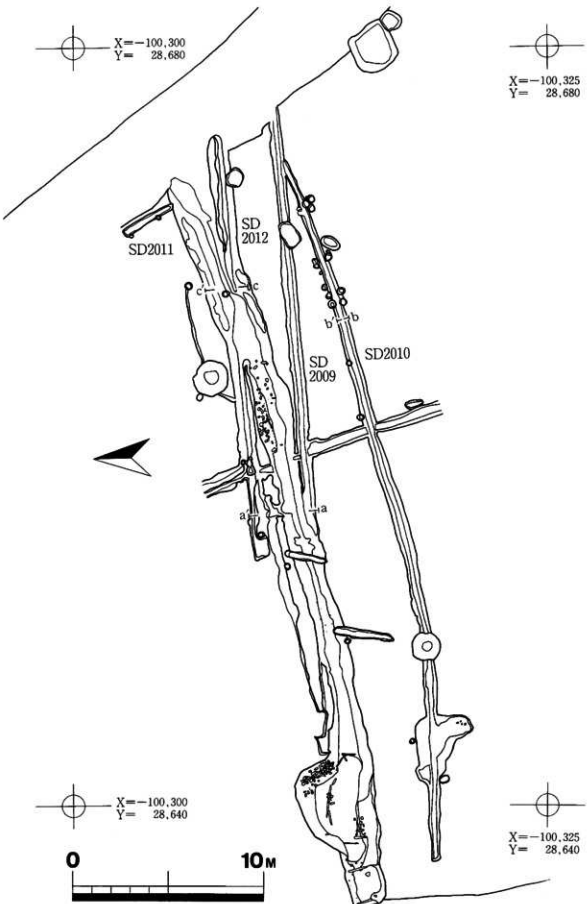
やや不整形ではあるが、直径1.6m前後の平面円形状の井戸跡である。埋土は崩落のため記録できなかったが、礫の混入が認められている。

SE２００９井戸跡（第52図　写真図版51）

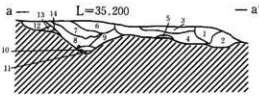
長軸1.54m、短軸1.4m、検出面からの深さ1.82mを計測する素掘りの井戸跡である。埋土の一部に


X=−100,320
Y= 28,700
SD2006
d— L=35.200 —d′
SD2006
1 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR3/2 黒褐色 粘性小 しまりやや密
炭化粒、焼土粒を含む
3 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む
e— L=35.200 —e′
SD2007
SD2008
SD2007
1 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密
炭化粒を含む
2 10YR3/2 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密
SD2008
1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒を含む
2 10YR4/4 にぶい黄褐色 粘性やや小 締まり密
炭化粒を含む
3 10YR3/1 黒褐色 粘性小 締まりやや密
X=−100,340
Y= 28,660
SD01
L=35.200
a— —a′
SD01
1 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒を含む
2 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まりやや密
炭化粒をやや含む
3 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まりやや密
焼土粒を含む
4 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む
SD2005
L=35.200
b— —b′
SD2005
1 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒を含む
2 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性小 締まりやや密
3 10YR4/4 褐色 粘性小 締まりやや密
X=−100,320
Y= 28,700
SD2007
SD2008
SD01
SD2005
SD2004
SD2003
c— L=35.200 —c′
SD2003 SD2004
SD2003
1 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まり密
2 10YR2/1 黒色 粘性小 締まりやや密
炭化粒を含む
SD2004
1 10YR3/2 黒褐色 粘性小 締まりやや密
炭化粒を含む
2 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密
3 10YR2/1 黒色 粘性やや大 締まりやや密
X=−100,360
Y= 28,640
※断面図 S=1/60
0
10M

第46図 溝跡（1）


X=−100,300
Y= 28,680
X=−100,325
Y= 28,680
SD2011
SD
2012
SD
2009
SD2010
X=−100,300
Y= 28,640
X=−100,325
Y= 28,640
0
10M

第47図　溝跡（2）



SD2009 & SD2011 & SD2012

(SD2012)

1 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

2 10YR4/4 褐色 粘性ややか 締まり密
炭化粒を含む

(SD2011)

3 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

4 10YR5/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

5 10YR4/6 褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

6 10YR6/4 にぶい黄橙色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

7 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

8 10YR3/4 暗褐色 粘性ややか 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

9 10YR4/6 褐色 粘性ややか 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

10 10YR4/1 褐灰色 粘性ややか 締まり密
炭化粒、黄褐色土を含む

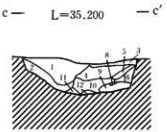
11 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘性ややか 締まりややか密

(SD2009)

12 10YR5/6 黄褐色 粘性ややか 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

13 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

14 10YR5/6 黄褐色 粘性ややか 締まり密
炭化粒、焼土粒を少量含む



SD2012 & SD2011

(SD2012)

1 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒をまばらに含む

2 10YR4/2 灰黄褐色 粘性中 締まり密
炭化粒、赤褐色土をまばらに含む

(SD2011)

3 10YR6/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

4 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

5 10YR4/6 褐色 粘性ややか 締まり密
炭化粒を含む

6 10YR4/6 褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒を含む

7 10YR4/4 褐色 粘性ややか 締まり密
炭化粒を少量含む

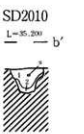
8 10YR4/4 褐色 粘性ややか 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

9 10YR5/6 黄褐色 粘性中 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

10 10YR5/2 灰黄褐色 粘性ややか 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

11 10YR3/2 黒褐色 粘性小 しまり密
炭化粒、焼土粒、黄土を含む

12 10YR5/8 黄褐色 粘性中 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

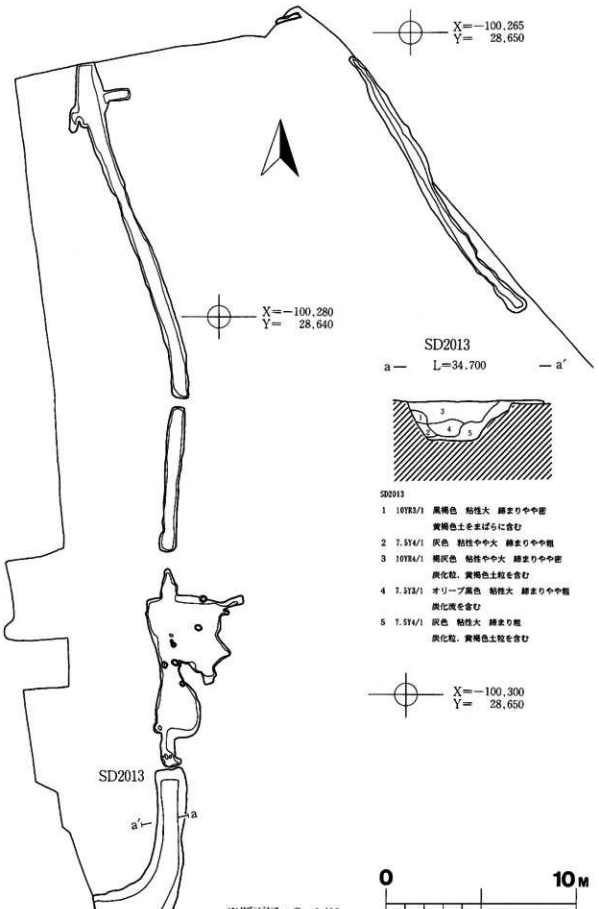


SD2010

1 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

2 10YR4/6 褐色 粘性ややか 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む

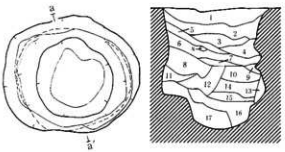
第48図 溝跡（3） 断面図



※断面図 S=1/60

第49図 溝跡（4）

SE2003



1 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を少量含む 礫を多く含む

2 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を少量含む 礫を多く含む

3 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密
炭化粒、焼土粒を少量含む 黄土をまばらに含む 礫を多く含む

4 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まりやや密
炭化粒を少量含む 黄土をまばらに含む 礫を多く含む

5 10YR2/2 黒褐色 粘性大 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を少量含む 黄褐色土をまばらに含む 礫を多く含む

6 10YR5/8 黄褐色 粘性大 締まりやや密
小礫を多く含む

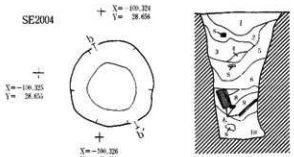
7 10YR3/1 黒褐色 粘性大 締まりやや密
黄褐色土、礫を含む

8 10YR2/1 黒色 粘性大 締まり粗
赤褐色土を少量含む 小礫を含む

9 10YR6/2 灰黄褐色 粘性大 締まり粗
小礫を含む

10 10YR2/1 黒色 粘性大 締まり粗
礫を含む

SE2004



1 10YR3/4 暗褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を少量含む 礫を多く含む

2 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を少量含む 礫を多く含む

3 10YR3/3 暗褐色 粘性やや小 締まり密
炭化粒、焼土粒を少量含む 黄土をまばらに含む 礫を多く含む

4 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まりやや密
炭化粒を少量含む 黄土をまばらに含む 礫を多く含む

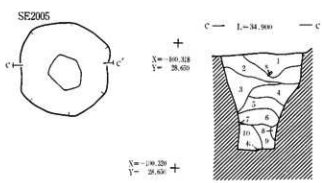
5 10YR2/2 黒褐色 粘性大 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を少量含む 黄褐色土をまばらに含む 礫を多く含む

6 10YR5/8 黄褐色 粘性大 締まりやや密
小礫を多く含む

7 10YR3/1 黒褐色 粘性大 締まりやや密
黄褐色土、礫を含む

8 10YR2/1 黒色 粘性大 締まり粗
礫を含む

SE2005



1 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒、黄褐色土を含む 小礫を多く含む

2 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密
炭化粒、焼土粒、黄褐色土を含む 小礫を多く含む

3 10YR4/3 にぶい黄褐色 粘性小 締まり密
炭化粒、焼土粒、黄褐色土を含む 小礫を多く含む

4 10YR3/3 暗褐色 粘性大 締まり粗
小礫を多く含む

5 10YR4/1 褐灰色 粘性大 締まり粗
黄褐色土を含む

6 7.5Y4/1 灰色 粘性大 締まり粗
小礫を含む 黄褐色土を少量含む

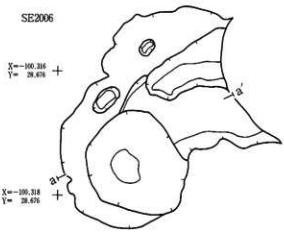
7 7.5GY2/1 暗オリーブ灰色 粘性大 締まり粗
小礫、黄褐色土を含む

8 7.5YR5/6 明褐色 粘性大 締まり粗

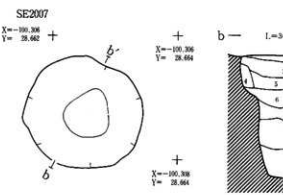
9 7.5GY4/1 暗オリーブ灰色 粘性大 締まり粗
小礫を含む

10 7.5Y3/1 オリーブ黒色 粘性大 締まり粗
小礫を含む 木材あり

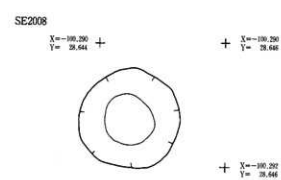
第50図 井戸跡（1）



1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まり密
炭化材、焼土粒を含む
3 10YR2/3 黒褐色 粘性やや小 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR2/3 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密
焼土粒を含む
5 10YR2/3 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR2/2 黒褐色 粘性大 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR5/2 黄褐色 粘性大 締まり密
炭化粒を含む
8 10YR2/1 黒色 粘性やや大 締まりやや密
炭化粒、焼土ブロックを含む
9 10YR2/3 黒褐色 粘性大 締まり密
焼土粒を含む
10 10YR3/1 黒褐色 粘性大 締まり粗
黄土を含む
11 10YR3/1 黒褐色 粘性大 締まり粗
12 7.5Y5/2 灰色 粘性大 締まり粗
黄土をまばらに含む
13 7.5Y5/1 灰色 粘性大 締まり粗
黄土を含む
14 10YR3/1 黒褐色 粘性大 締まり粗
黄土を含む



1 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR3/3 暗褐色 粘性なし 締まり密
礫を多く含む 遺物を含む
3 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密
炭化粒、黄色土粒を含む
4 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まり密
炭化粒、黄色土粒を含む
5 礫層間に 10YR3/1 黒褐色
黒褐色土をはさむ 遺物を含む
6 10YR4/1 褐灰色 粘性小 締まり密
礫を多く含む
7 7.5Y4/1 灰色 粘性大 締まりやや密
グライ化層
8 10YR4/1 褐灰色 粘性大 締まりやや粗
9 7.5Y3/1 オリーブ黒色 粘性大 締まりやや粗
小礫、遺物を含む グライ化層
10 7.5Y4/1 灰色 粘性大 締まり粗
礫をまばらに含む グライ化層

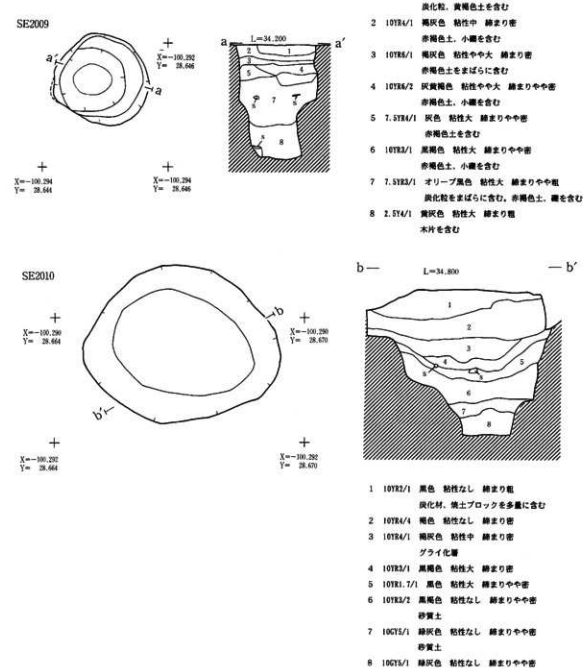


第51図 井戸跡（2）

礫の混入が認められ、最下層には木片が混入している。この木片以外の遺物は出土していない。

SE2010井戸跡（第52図　写真図版51）

長軸2.92m、短軸2.58m検出面からの深さ2.34mを計測する平面不整形な井戸跡である。東側の段丘下で検出した。埋土に礫の混入は見られず、下層では砂質土の堆積が確認できる。遺物は出土していない。



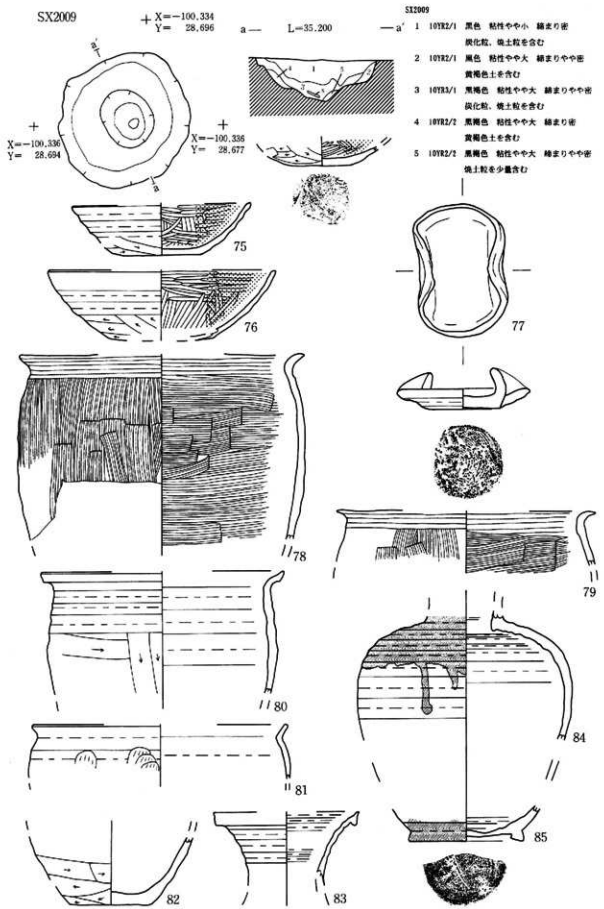
第52図　井戸跡（3）

5　その他性格不明遺構（第53～55図　写真図版51～54、58、59）

SX2009遺構（第53図　写真図版52、58、59）

平安時代と思われる性格不明遺構である。平面形は直径約2mの円形状で、検出面からの深さは0.66mである。検出面から0.46m前後の深さで幅16～40cmほどの平坦面をもち、その後さらに落ち込む。落ち込みの平面形は長軸94cm、短軸38cmの楕円形状で、擂鉢形に落ち込む。埋土は大別すると上層の黒色土、下層の黒褐色土の2層で、焼土粒や炭化物粒、黄褐色土粒の混入具合からさらに分層できる。堆積状況から人為的堆積と推測する。遺物は土師器の坏（74～76）、長胴甕（78～82）、須恵系土器耳皿（77）、須恵器の壺口縁部（83）、灰釉陶器壺（84）が出土している。すべて埋土からの出土である。

74は土師器の坏で、推定底径4.8cm、現存高1.4cmを計測する。外面底部付近にはケズリ調整が、内面にはミガキ調整が施され、黒色処理がなされる。外面はにぶい黄橙色で、胎土は緻密、焼成はそれほど良くない。外面底部には回転糸切りの痕跡が確認できる。75は土師器の坏で推定口径14.1cm、底径6.3cm、器高4.0cmを計測する。ロクロ成形がされ、外面底部付近にケズリを施し内面にはミガキ調整が施される。外面は橙色で内面には黒色処理がなされる。焼成は比較的良好である。外面底部の摩滅が激しいため切り離し方はわからない。76は土師器の坏である。推定口径18.0cm、推定底径8.3cm、現存高5.7cmを計測する。ロクロ成形がなされ、外面底部付近にはケズリ調整が、内面にはミガキ調整が施される。外面はにぶい黄橙色で内面は黒色処理がなされている。胎土は比較的緻密で焼成も比較的良好である。77は須恵頸土器の耳皿である。口径10.5cm、底径6.0cmの皿状の縁を折り曲げたものである。器高は3.3cmを計測する。内外面ともにぶい黄橙色で胎土は比較的緻密、焼成も比較的良好である。ロクロ成形がなされ、外面底部には回転糸切り痕が残る。78は土師器長胴甕の破片である。推定口径22.3cm現存高14.8cmを計測し、胴部下半から底部までが欠損している。胎土はやや緻密で直径1mm前後の砂礫が混入する。外面は明黄褐色で内面は黄橙色である。非ロクロ成形で胴部外面には縦方向のハケメ調整が、内面には横方向のハケメ調整が施される。口縁部は内外面とも横ナデ調整が施される。79は土師器長胴甕と思われる破片である。推定口径18.6cm、現存高4.2cmを計測する。胎土はやや粗く、直径1mm前後の砂礫が多く混入する。焼成は比較的良好である。非ロクロ成形で外面胴部には縦方向のハケメ調整が、内面には横方向のハケメ調整が施される。口縁部には内外面とも横ナデ調整が施される。80は土師器長胴甕の破片である。推定口径19.1cm、現存高9.8cmを計測し、胴部下半から底部にかけて欠損している。胎土はやや緻密で、直径0.5～2.5mmほどの砂礫が多く混入する。内外面ともにぶい黄橙色で焼成はやや悪い。胴上部はロクロ成形がなされ、外面にはケズリ調整も施される。81は土師器の甕と思われる破片である。推定口径19.9cm、現存高4.3cmを計測する。胎土は緻密で、焼成は比較的良好、内外面ともにぶい黄橙色である。ロクロ成形がなされており、外面には指ナデ調整の痕跡もあるがはっきりしない。82は土師器甕の底部破片である。底径6.6cm、現存高5.5cmを計測する。胎土は粗雑で直径0.5～5mmほどの砂礫を多く含む。内外面とも橙色で焼成は悪い。外面底部付近の胴部には横方向のケズリ調整が施される。内面には指ナデ調整のような痕跡が確認できるがはっきりしない。83は須恵器壺口縁部の破片である。推定口径11.4cm、現存高11.4cmを計測する。胎土は緻密で焼成は比較的良好である。ロクロ成形がなされ、内外面とも褐灰色である。84は灰釉陶器壺の胴部片である。胴部最大径は推定ではあるが17.4cm、現存高10.4cmを計測する。胎土は緻密、色調は灰白色で施釉部分はオリーブ黄色である。焼成は良好である。85と同一個体の可能性がある。85は灰釉陶器の底部片で、高さ8mmの高台が付く。高台部の径は9.1cmで


SX2009
X=−100.334
Y= 28.696
a
L=35.200
a'
SX2009
1 10YR2/1 黒色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
2 10YR2/1 黒色 粘性やや大 締まりやや密 黄褐色土を含む
3 10YR3/1 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR2/2 黒褐色 粘性やや大 締まり密 黄褐色土を含む
5 10YR2/2 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密 焼土粒を少量含む
X=−100.336
Y= 28.694
X=−100.336
Y= 28.677
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85

第53図 SX2009

現存高2.8cmを計測する。胎土は84同様緻密で、色調は灰白色、施釉部分がオリーブ黄色である。高大はやや内傾する。外面底部には十字の線刻がなされる。

SX2008遺構（第54図　写真図版51）

SD01溝跡の北側で検出した不整形な遺構である。埋土には炭化材粒や焼土粒、ブロック等が混入することから人為的堆積と推測する。SD01溝跡よりも古く、SK2006、SK2067土坑よりも新しい。当初、一辺が2mほどの方形プランを確認したことから、竪穴住居跡の可能性も考えられたが、精査が進むにつれて不整形状になったことから竪穴状遺構として登録した。土師器の破片が出土していることから、平安時代の可能性がある。なお、遺物は小片であることから、実測図、写真等は掲載していない。

SX2010遺構（第54、55図　写真図版52）

調査区南西部で検出した。SD2007、2008溝跡と重複し、本遺構のほうが古い。長軸4.64m、短軸4.24m、検出面からの深さ67cmを計測する方形状の竪穴遺構である。南側は北方に向ってなだらかに傾斜し、幅70cmほどの平坦面をもつ。埋土には炭化材粒や焼土粒の混入が確認できる。南側のなだらかな傾斜部分、埋土1層中から土師器の甕（86）が出土している。推定口径18.8cm、現存高15.5cmを計測する。胎土は比較的緻密で直径1mm前後の砂礫が多く混入する。焼成は比較的良く、外面はにぶい褐色、内面はにぶい黄橙色である。ロクロ成形で、外面胴部にはヘラケズリ調整が観察できる。

SX2011遺構（第55図　写真図版53）

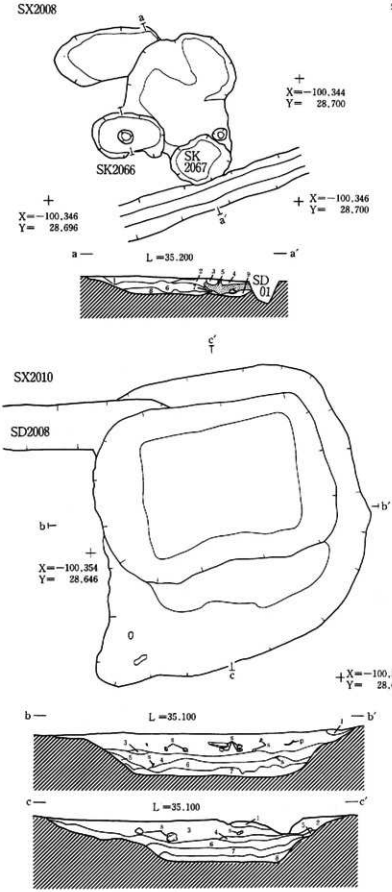
長軸1.64m、短軸1.38m、検出面からの深さ48cmの不整形な遺構である。埋土には炭化粒や焼土粒の混入が確認できる。断面図を実測した地点では底面に向かって擂り鉢状に落ち込むが、東西、北側には幅25cm前後の平坦面が確認できる。遺物は出土していない。

SX2012遺構（第55図　写真図版53）

やや形は崩れるが、1辺1.3mほどの竪穴遺構である。黒色系の埋土が主体で一部に黄褐色系の埋土がブロック状に堆積している。埋土のほとんどには炭化材粒、焼土粒が混入する。遺物は土師器の小片が出土しているが、実測図、写真等は掲載していない。

SX2013遺構（第56図　写真図版54）

調査区中央西側で検出した。SD2012溝跡に連続する、あるいはSD2012溝跡の一部と思われる遺構である。最大幅で約4mを計測し、検出面からの深さは約64cmほどである。SX2013の西側、SD2012溝跡の西側、調査区界付近から、SD2012溝跡を閉鎖するように木製板が4枚並べられる。その間隔は西端板から中間板までが1.6m、中間板から東端板までが75cmほどである。東端板から東へ4.6mの所に最東端板が設けられる。東端板と最東端板の間がSX2013遺構である。遺構の東側には拳大から人頭大ほどの川原石が80cmほどの幅にわたって積まれている。この石積みには崩落防止のためと思われる木杭による支えも検出した。SX2013底面北側にはSD2012溝跡との境を作るかのように木製の杭状の棒が横たわっている。埋土のほとんどに炭化材粒が混入し、一部には焼土粒の混入も観察できる。SD2012溝跡を利用した水場跡と推測する。



SX2008

1 10YR2/2 黒褐色 粘性なし 締まりやや密
炭化粒、焼土粒をまばらに含む

2 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密
炭化粒、焼土粒をまばらに含む

3 10YR2/3 黒褐色 粘性なし 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む

4 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む

5 10YR3/4 暗褐色 粘性やや大 締まりやや密
炭化材、焼土ブロックを含む

6 10YR3/2 黒褐色 粘性やや小 締まりやや密
炭化粒、黄褐色土を含む

7 10YR4/4 褐色 粘性小 締まりやや密
炭化粒を含む

8 10YR3/4 暗褐色 粘性やや大 締まり密
炭化粒を含む

9 10YR2/2 黒褐色 粘性大 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む

SX2010（東西ベルト）

1 10YR2/3 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密
黄褐色土を含む

2 10YR2/2 黒褐色 粘性大 締まりやや密
黄褐色土を少量含む

3 10YR2/1 黒色 粘性やや小 締まりやや密
焼土粒、黄褐色土を少量含む

4 10YR2/2 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密
焼土粒、黄褐色土を少量含む

5 10YR3/3 暗褐色 粘性小 締まりやや密
炭化粒、焼土粒、黄褐色土を含む

6 10YR2/2 黒褐色 粘性小 締まりやや密
炭化粒、焼土粒、黄褐色土を含む

7 10YR2/1 黒褐色 粘性小 締まりやや密
黄褐色土を含む

SX2010（南北ベルト）

1 10YR2/3 黒褐色 粘性小 締まりやや密
焼土粒、炭化粒を含む

2 10YR2/1 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密
炭化粒、焼土粒を含む

3 10YR2/3 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密
炭化粒、黄褐色土を含む

4 10YR2/2 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密
炭化粒、焼土粒、黄褐色土を含む

5 10YR3/1 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密
黄褐色土を含む

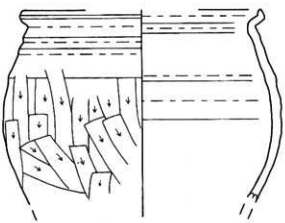
6 10YR2/3 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密
炭化粒、焼土粒、黄褐色土を含む

7 10YR2/2 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密
焼土粒、黄褐色土を含む

8 10YR3/2 黒褐色 粘性はやや大 締まりやや密
炭化粒、焼土粒、黄褐色土を含む

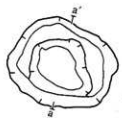
椗54図　SX2008、SX2010

SX2011



SX2010出土遺物

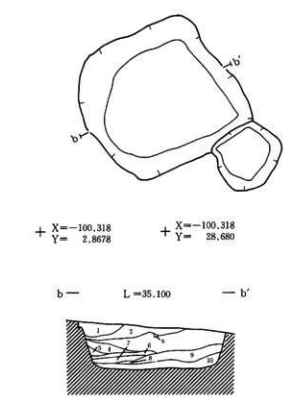
86



SX2011

1 10YR4/4 褐色 粘性なし 締まり密
焼土粒、黄褐色土を含む
2 10YR2/1 黒色 粘性やや大 締まり密
焼土粒、黄褐色土を含む
3 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性やや大 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR4/4 褐色 粘性大 締まり密
炭化粒を含む
5 10YR2/1 黒色 粘性やや大 締まりやや密
焼土粒、黄褐色土を含む

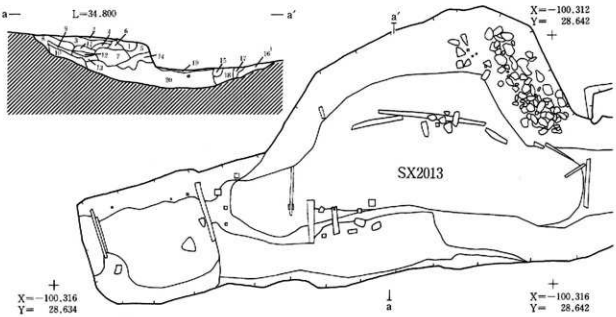
SX2012



SX2012

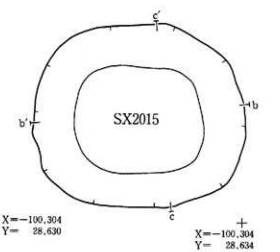
1 10YR1.7/1 黒色 粘性やや小 締まり密
焼土粒を含む
2 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密
焼土粒、黄土を含む
3 10YR2/2 黒褐色 粘性やや小 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR5/8 黄褐色 粘性小 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
5 10YR5/8 黄褐色 粘性やや大 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
6 10YR5/4 にぶい黄褐色 粘性やや大 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
7 10YR5/6 黄褐色 粘性小 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
8 10YR4/4 褐色 粘性小 締まり密
炭化粒、焼土粒を含む
9 10YR1.7/1 黒色 粘性小 締まり密
焼土粒、黄土を含む
10 10YR2/2 黒褐色 粘性やや大 締まり密
炭化粒、焼土粒、黄土を含む

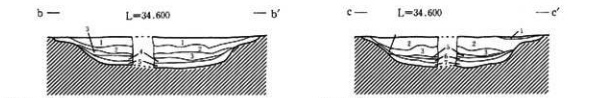
第55図 SX2011、SX2012



SX2013

1 10YR5/3 にぶい黄褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒を含む
2 10YR6/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密 焼土粒を含む
3 10YR4/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
4 10YR4/1 褐灰色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒、赤褐色土を含む
5 10YR5/1 褐灰色 粘性なし 締まり密 炭化粒、赤褐色土をまばらに含む
6 10YR6/1 褐灰色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒、赤褐色土をまばらに含む
7 10YR4/1 褐灰色 粘性小 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む
8 10YR4/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
9 7.5YR5/8 明褐色 粘性やや小 締まり密 炭化粒を含む
10 7.5Y6/2 灰オリーブ色 粘性中 締まり密 赤褐色土を含む
11 10YR4/1 褐灰色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
12 10YR4/1 褐灰色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む
13 10YR2/1 黒褐色 粘性中 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む
14 10YR3/1 黒褐色 粘性やや大 締まりやや密 赤褐色土を含む
15 7.5Y3/1 オリーブ黒色 粘性やや大 締まり密
16 10YR3/1 黒褐色 粘性大 締まり密
17 10YR3/2 黒褐色 粘性やや大 締まり密
18 7.5Y3/1 オリーブ黒色 粘性大 締まりやや密 炭化粒を含む
19 10YR3/3 暗褐色 粘性中 締まり密 炭化粒、焼土粒を含む
20 7.5Y3/1 オリーブ黒色 粘性大 締まりやや密 炭化粒、赤褐色土をまばらに含む





SX2015 (東西ベルト)

1 10YR4/1 褐灰色 粘性やや小 締まり密 炭化粒、赤褐色土を含む
2 10YR3/1 黒褐色 粘性中 締まりやや密 炭化粒、焼土粒、赤褐色土を含む
3 10YR3/1 黒褐色 粘性大 締まりやや粗 赤褐色土をまばらに含む
4 7.5Y5/1 灰色 粘性大 締まりやや粗 炭化粒、赤褐色土をまばらに含む
5 7.5Y4/1 灰色 粘性大 締まりやや粗 炭化粒、赤褐色土粒を含む

SX2015 (南北ベルト)

1 10YR6/2 灰黄褐色 粘性なし 締まり密 炭化粒を少量含む
2 10YR4/1 褐灰色 粘性なし 締まり密 炭化材を少量含む
3 10YR3/1 黒褐色 粘性中 締まり密 炭化粒をまばらに含む
4 10YR3/1 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化材、黄褐色土を含む
5 10YR3/1 黒褐色 粘性小 締まり密 炭化粒を含む
6 10YR4/1 褐灰色 粘性やや大 締まり密 炭化粒をまばらに含む
7 10YR4/1 褐灰色 粘性大 締まりやや密 炭化粒を含む

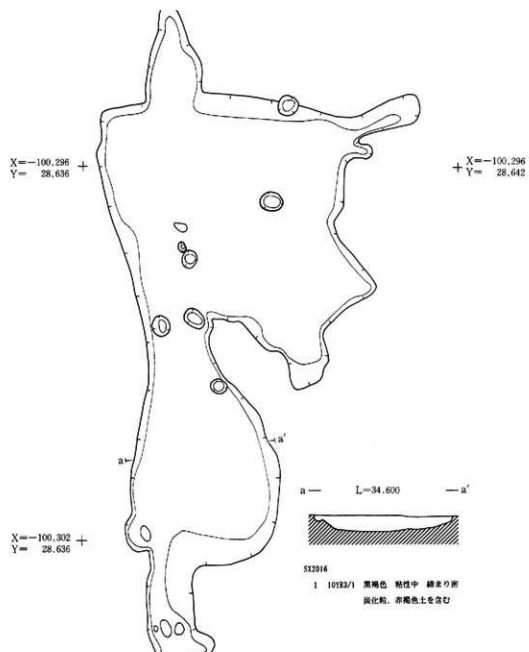
第56図 SX2013、SX2015

SX2015遺構（第56図　写真図版54）

SD2013溝跡の西側に検出した。長軸2.34m、短軸2.92m、検出面からの深さ0.48mを計測する隅丸方形状の竪穴遺構である。埋土には炭化材粒や焼土粒が混入する。埋土下層と底面はグライ化していることから水が堆積していたと推測する。遺物は出土していない。

SX2016遺構（第57図）

SD2013溝跡の北側に検出した。長軸10.56m、短軸0.5～4.2m、検出面からの深さ0.3m前後の不整形な遺構である。SD2013溝跡の北部延長にあたることから、SD2013溝跡の続きである可能性もある。埋土には炭化粒が混入する。遺物は出土しない。



第57図　SX2016遺構

6　遺構外出土遺物（第58図　写真図版59）

87は土師器の坏である。底径6.1cm、現存高2.9cmを計測破片である。胎土はやや緻密で、焼成はやや悪い。外面は浅黄橙色で内面は黒色処理がなされる。ロクロ成形で、内面にはミガキ調整が施される。回転糸切り無調整である。88は土師器の坏で推定口径14.8cm、現存高3.8cmを計測する破片である。胎土は緻密で焼成も比較的良い。外面は浅黄橙色で内面は黒色処理される。ロクロ成形で内面にはミガキ調整が施される。89は土師器の坏で推定口径14.1cm、現存高3.3cmを計測する破片である。胎土は緻密で焼成は比較的良好である。外面は浅黄橙色で内面は黒色処理される。ロクロ成形で内面にはミガキ調整が施される。90は須恵系土器の坏で、推定口径12.0cm、推定底径4.6cm、器高4.2cmを計測する破片である。胎土は緻密で焼成はやや良好である。ロクロ成形で外面は橙色、内面は浅黄橙色である。回転糸切り無調整である。91は土師器の甕で指定口径20.3cm、現存高9.1cmを計測する破片である。胎土は粗雑で焼成もやや悪い。ロクロ成形がされ外面は灰白色、内面ははにぶい黄橙色である。92は土師器の甕と思われる破片で、推定口径19.2cm、現存高3.6cmを計測する。胎土はやや緻密で焼成は悪い。ロクロ成形で内外面とも橙色である。94は土師器の甕で、推定底径9.0cm、現存高4.8cmを計測する破片である。胎土はやや粗雑で直径0.5～3mmほどの砂礫が多く混入する。焼成は比較的良く、外面が灰黄褐色、内面が浅黄橙色である。外面にはケズリ調整が、内面にはハケメ調整が施される。内面の底部と胴部の境には押指の痕跡が残る。外面底部にはケズリ調整が施されるが、木葉痕も残る。95は土師器甕の破片で推定底径8.8cm、現存高6.4cmを計測する。胎土はやや粗雑で焼成は悪い。外面は橙色で、内外面とも橙色で外面にはハケメ調整が施される。内面の調整は摩滅によりわからない。底部には木葉痕が観察できる。

V　まとめ

1　縄文時代

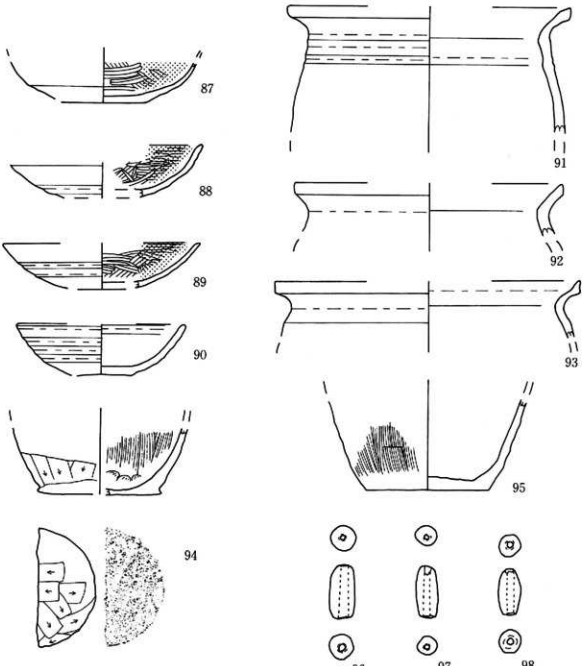
断定はできないが、埋土の状況や形状から縄文時代と思われる土坑が77基ほど確認された。埋土で共通することは、暗褐色系の土層と黄褐色系の土層が交互に堆積、または黄褐色系の土層が暗褐色系の土層の間にはさまれることである。自然堆積と壁面の崩落が繰り返された結果と思われる。このような堆積状況を示す土坑をすべて縄文時代と推定した。

形状は隅丸方形また円形状、隅丸長方形または楕円形状、細長い土坑の3種である。これら3種の形状は平成11年度調査でも確認済みで、同じ形状でも底面に小穴を持つもの、持たないものにも分類ができ、小穴を持つものでも1つもつものと2つもつものとに分類できることも確認できている。今回の調査では他に細長いタイプのものにも底面に小穴を持つタイプがある事を確認できた。底面に小穴が無くとも、埋土に柱状の痕跡が残る土坑も確認されている。今後この小穴、小穴に入っていたであろう“柱状のもの”の性格をつかむことが必要となろう。

2　平安時代

竪穴住居跡3棟が検出された。ほとんどの竪穴住居跡が削平されている。出土した遺物は須恵器の坏、土師器の坏・長胴及び球胴甕・鉢、須恵器の坏・壷つまみ、不明鉄製品などが出土している。

SI2003竪穴住居跡出土坏の法量は口径13cm～14cm、底径6cm～7cm台、器高4.0cm～5.0cmと概ね一定している。水沢市常盤小学校遺跡の坏の法量も下植田遺跡SI2003竪穴住居跡出土坏と同じである。常盤小学校遺跡からは土師器の内面黒色処理がなされた鉢も出土しており、器主組成も類似している



第58図　遺構外出土遺物

ことから、下植田遺跡SI2003竪穴住居跡出土の遺物は９世紀第２四半世紀頃であろう。

他に２点の砥石が出土していることから、鉄製品の使用が想像される。また、そのうちの1点No21には線刻が見られ、呪術的な様相が感じられる。他に、礫石器4点が出土している。No23は砥石になる可能性がある。No24は石皿、No25は磨り石と敲打石の兼用石器、No26は磨り石である。いずれも埋土からの出土であるが、古代の住居跡から礫石器が出土する事例が増加しつつあることから、古代にも使用した可能性も否定できないのではないだろうか。

竪穴住居跡からの出土ではないのだが、灰釉陶器の壺と思われる破片（84、85）が出土している。この遺構（SX2009）からは他に土師器の耳皿、土師器の甕等が出土している。灰釉陶器の出土、甕の形状から考えると10世紀前半代が想定されよう。

土坑については出土遺物も少ないことから年代の推定が困難である。回転篦切りの須恵器坏が出土している土坑があるが、これらの土坑については竪穴住居跡の年代から9世紀第2四半世紀頃と推測する。

3　近世以降

SE2007井戸跡から18～19世紀までの陶磁器片が出土している。おそらく、井戸の埋め立てと同時に混入したものであろう。この井戸跡の埋土には拳大程の礫が埋土に混入している。特に上層では非常に密に混入されている。SE2006井戸跡とSE2010井戸跡をのぞくと、すべての井戸跡が類似した堆積状況をしていることから、同時期の可能性が考えられる。

井戸跡の他には掘立柱建物跡、柱列跡などが近世以降の遺構と考えられるが、これらはすべて埋土の堆積状況から判断したもので、遺物は出土していない。近世下植田屋敷に関係する遺構ではないかと推測する。

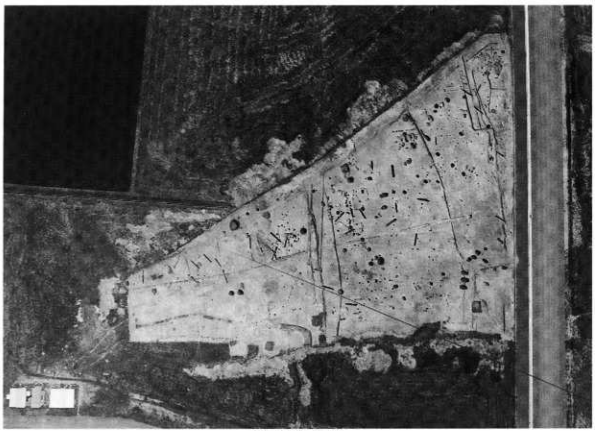
参考、引用文献

伊藤　博幸　1998年「北上盆地南部」(『東北地方の古代集落』
第24回古代城柵官衙遺跡検討会資料集)

佐藤　良和　1999年「常盤小学校遺跡」(『水沢遺跡群範囲確認調査』　水沢市文化財報告書第33集
平成10年度発掘調査概報　水沢市教育委員会)

佐藤　良和　2000年「下植田遺跡Ⅰ」(水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第14集　農林漁業用揮発税財源身替農道整備事業に伴う緊急発掘調査　財団法人水沢市埋蔵文化財調査センター)

写 真 図 版



調査区全景

SI01屋外溝

写真図版1　調査全景・SI01屋外溝

ＳＩ2003　全　景

ＳＩ2003　埋土断面　南北ベルト

ＳＩ2003　東側断面　南側

ＳＩ2003　西側断面　北側

写真図版2　ＳＩ2003（1）

ＳＩ2003　東西ベルト

西　側

東　側

ＳＩ2003　カマド全景（焚き口から）

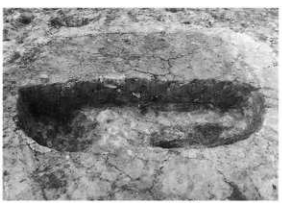
ＳＩ2003　カマド全景（煙道から）

写真図版３　ＳＩ2003（２）

S I 2003　煙道断面

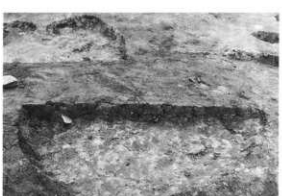
S I 2003　煙道断面

S I 2003　煙道断面

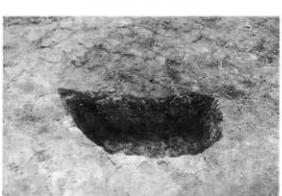


S I 2003　K 1 断面

S I 2003　K 2 断面



S I 2003　K 3 断面



S I 2003　K 4 断面

S I 2003　K 5 断面

写真図版 4　S I 2003（3）

ＳＩ2004　全　景

ＳＩ2004　堆土断面　南北ベルト

ＳＩ2004　南北ベルト南側

ＳＩ2004　南北ベルト北側

写真図版5　ＳＩ2004（1）

ＳＩ2004　東西ベルト

ＳＩ2004　東西ベルト西側

ＳＩ2004　東西ベルト東側

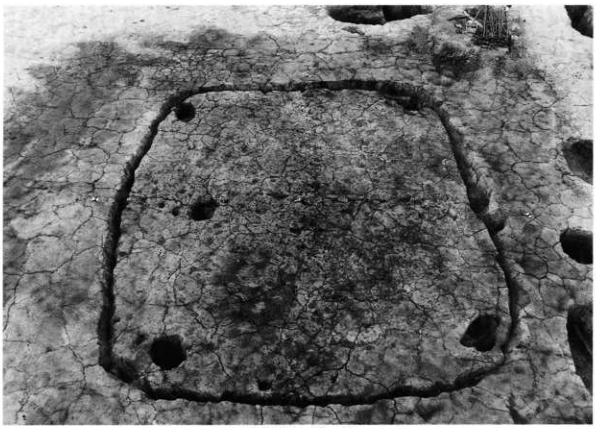
ＳＩ2004　Ｋ1断面

ＳＩ2004　Ｋ2断面

ＳＩ2004　Ｋ3断面

作業風景

写真図版6　ＳＩ2004（2）



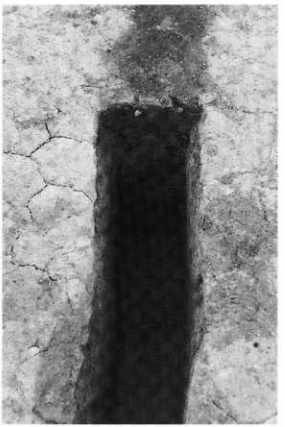
ＳＩ2005　全　景

ＳＩ2005　南北断面

ＳＩ2005　東西断面

写真図版７　ＳＩ2005

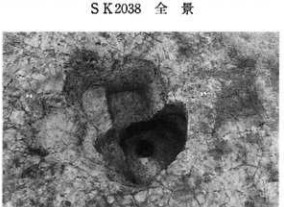
SK2037　全　景



SK2037　断　面

SK2038　全　景

SK2038　断　面



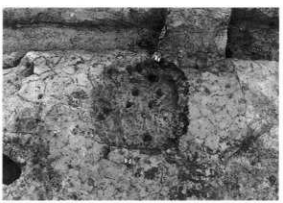
SK2039・2072　全　景

SK2039　断　面

写真図版8　土坑跡（1）

SK2040　全　景

SK2040　断　面



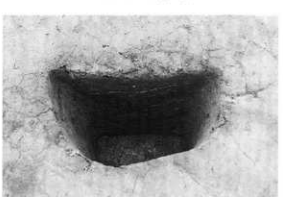
SK2042　全　景

SK2042　断　面

SK2043　全　景

SK2043　断　面

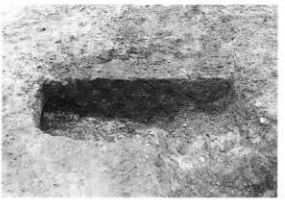
SK2044　全　景



SK2044　断　面

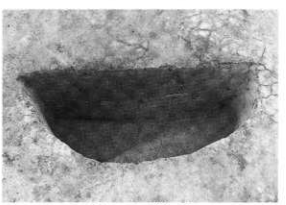
写真図版9　土坑跡（2）

SK2045 全景

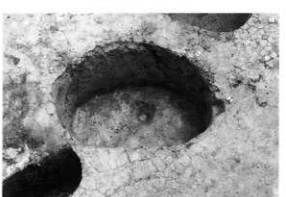


SK2045 断面

SK2046 全景

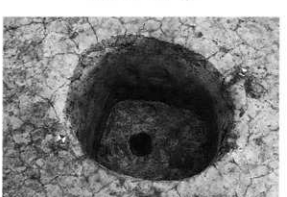


SK2046 断面

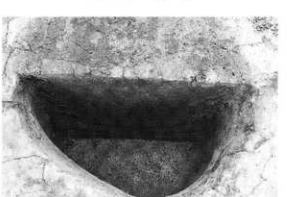


SK2047 全景

SK2047 断面

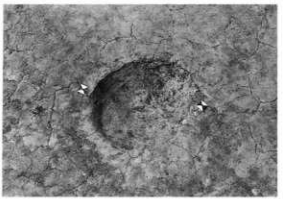


SK2048 全景



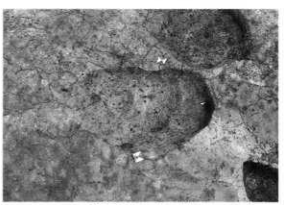
SK2048 断面

写真図版10 土坑（3）



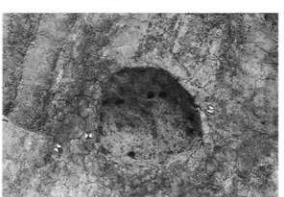
SK2049　全　景

SK2049　断　面



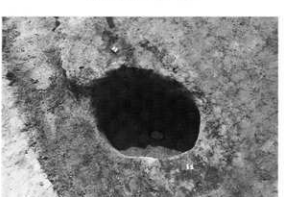
SK2050　全　景

SK2050　断面



SK2051　全　景

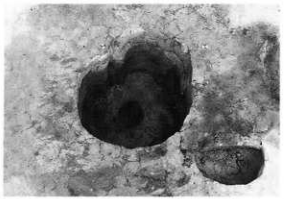
SK2051　断　面



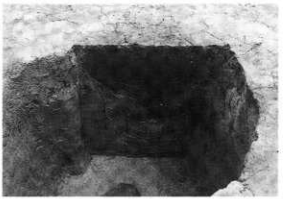
SK2052　全　景

SK2052　断　面

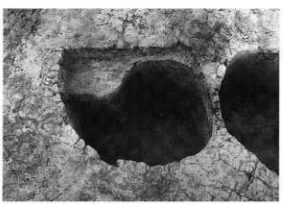
写真図版11　土坑跡（4）



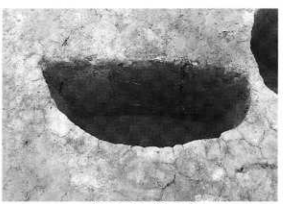
SK2053 全景



2053 断面

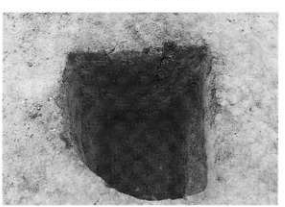


SK2054 全景



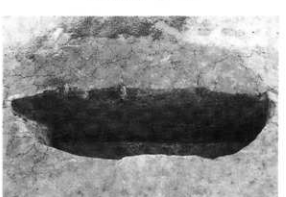
SK2054 断面

SK2055 全景



SK2055 断面

SK2056 全景

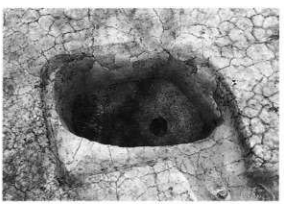


SK2056 断面

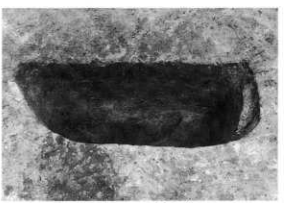
写真図版12 土坑跡（5）

SK2057　全　景

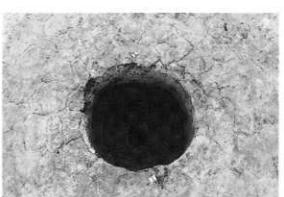
SK2057　断　面



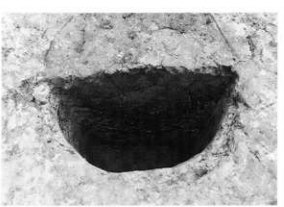
SK2058　全　景



SK2058　断　面



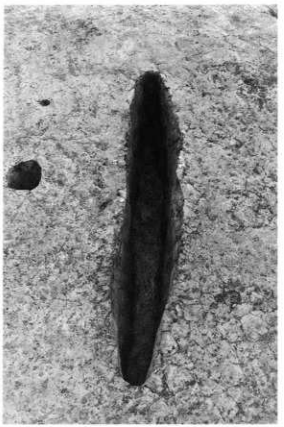
SK2059　全　景



SK2059　断　面

調　査　風　景

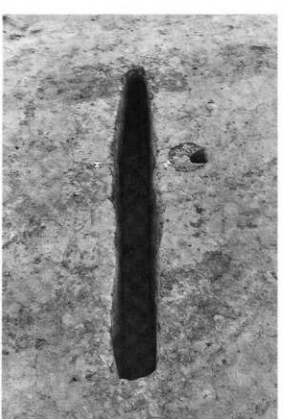
写真図版13　土坑（6）



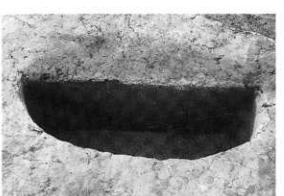
SK2060　全　景

SK2060　断　面

SK2061　全　景



SK2063　全　景

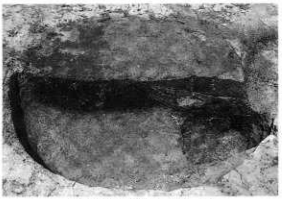


SK2061　断　面

SK2063　断　面

写真図版14　土坑跡（7）

SK2064・2065　全　景



SK2064・2065　断　面

SK2066　全　景

SK2066　断　面

SK2067　全　景

SK2067　断　面

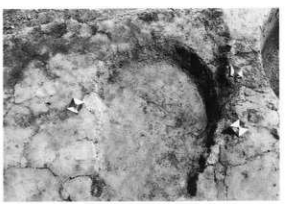
SK2068　全　景

SK2068　断　面

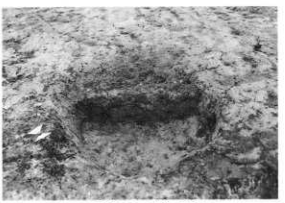
写真図版15　土坑跡（8）

SK2069　全　景

SK2069　断　面

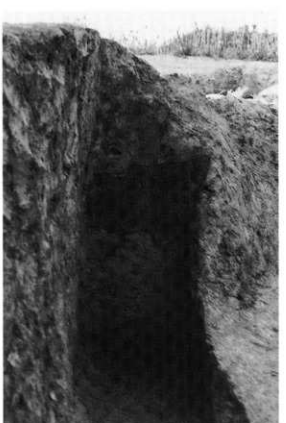


SK2070　全　景



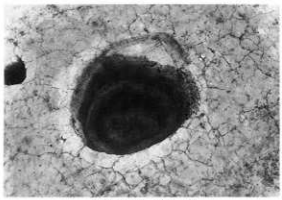
SK2070　断　面

SK2071　全　景

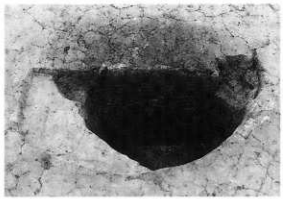


SK2071　断　面

写真図版16　土坑（9）

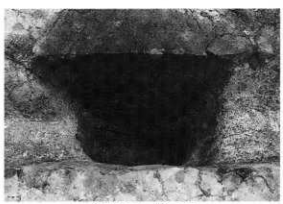


SK2073 全 景



SK2073 断 面

SK2074 全 景



SK2074 断 面

SK2075 全 景

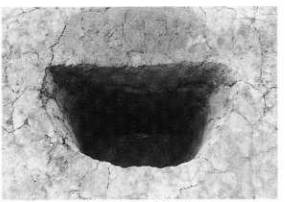
SK2075 断 面

写真図版17 土坑 (10)

SK2076 全景

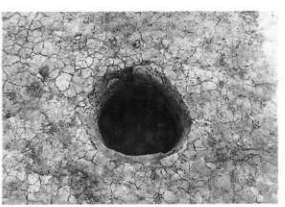
SK2076 断面

SK2077 全景

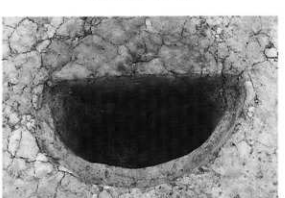


SK2077 断面

SK2078 全景

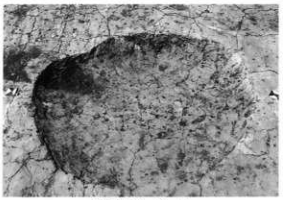


SK2079 全景



SK2079 断面

写真図版18 土坑（11）

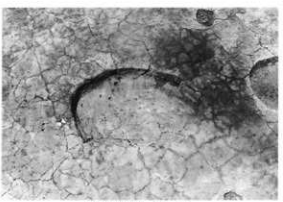


SK2080　全　景

SK2080　断　面

SK2081　全　景

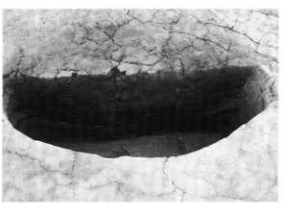
SK2081　断　面



SK2082　全　景

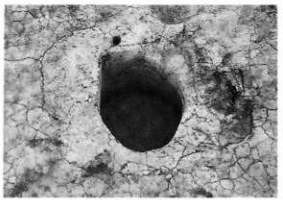
SK2082　断　面

SK2083　全　景



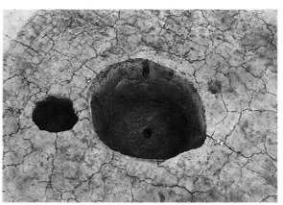
SK2083　断　面

写真図版19　土坑跡（12）

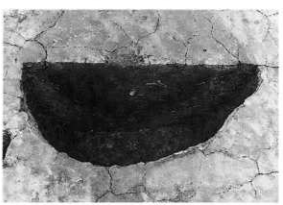


SK2084　全　景

SK2084　断　面



SK2085　全　景

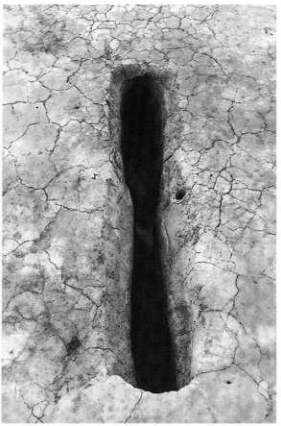


SK2085　断　面

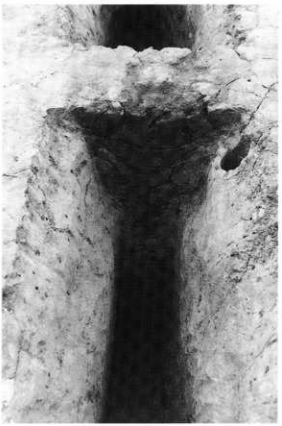
SK2086　全　景

SK2086　断　面

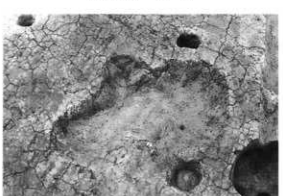
写真図版20　土坑跡（13）



SK2087　全　景



SK2087　断　面



SK2088　全　景

SK2088　断　面

SK2089　全　景

SK2089　断　面

写真図版21　土坑跡（14）

SK2090　全　面

SK2090　断　面

SK2091　全　面

SK2091　断　面

SK2092・2123　全　面

SK2092・2123　断　面

作　業　風　景

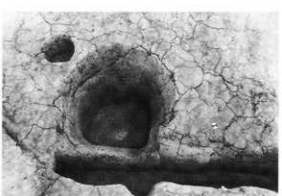
作　業　風　景

写真図版22　土坑（15）

SK2093　全　景

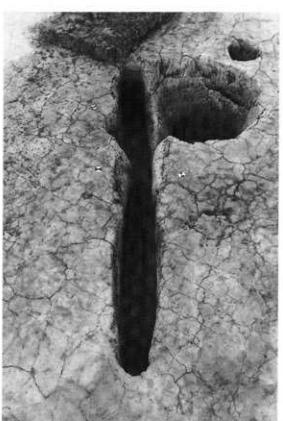
SK2093　断　面

SK2094　断　面



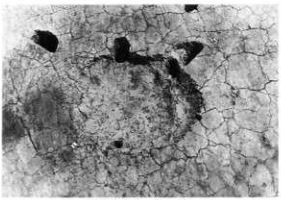
SK2095　全　景

SK2095　断　面



SK2094　全　景

写真図版23　土坑跡（16）

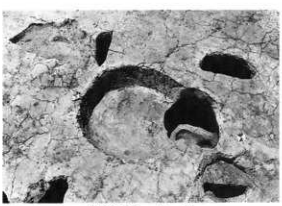


SK2096 全景

SK2096 断面

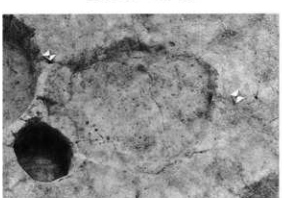
SK2097 全景

SK2097 断面



SK2098 全景

SK2098 断面

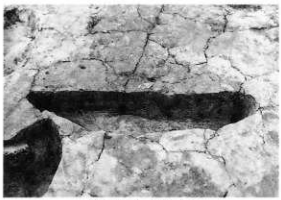


SK2099 全景

SK2099 断面

写真図版24 土坑（17）

SK2100 全景



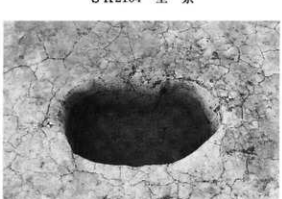
SK2100 断面

SK2101～2103 全景

SK2101～2103 断面

SK2104 全景

SK2104 断面

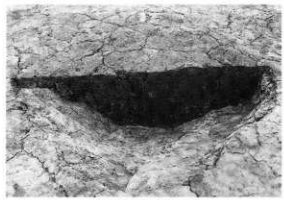


SK2105 全景

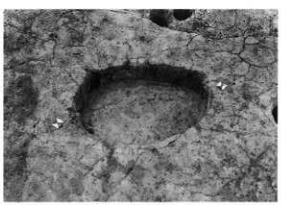
SK2105 断面

写真図版25 土坑跡（18）

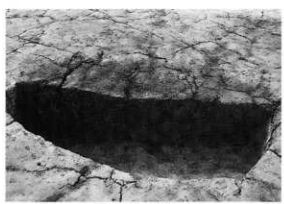
SK2106 全 景



SK2106 断 面

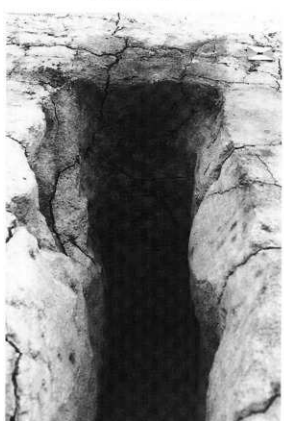


SK2107 全 景



SK2107 断 面

SK2108 全 景

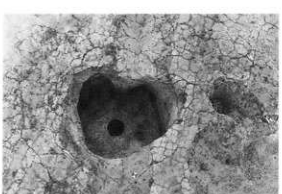


SK2108 断 面

写真図版26 土坑跡 (19)

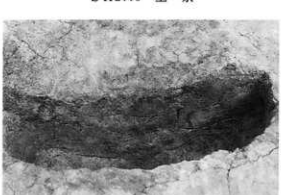
SK2109 全景

SK2109 断面



SK2110 全景

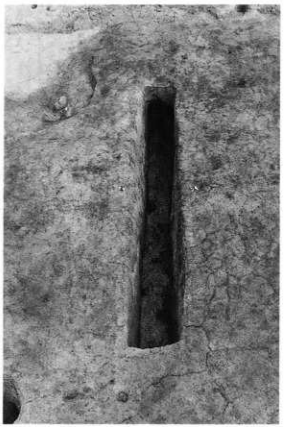
SK2110 断面



SK2111 断面

作業風景

写真図版27 土坑 (20)



SK2112　全　景

SK2112　断　面

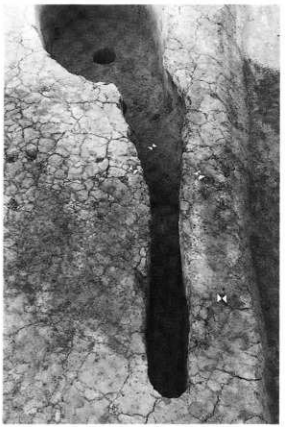
SK2113　全　景

SK2114　全　景

SK2113　断　面

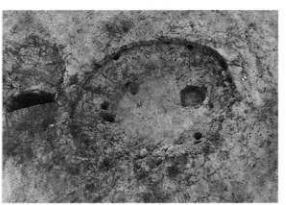
SK2114　断　面

写真図版28　土坑跡（21）



SK2115 全 景

SK2115 断 面



SK2116 全 景

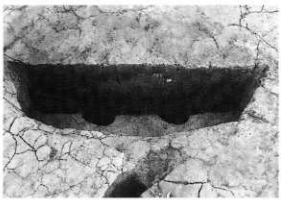
SK2117 全 景

SK2116 断 面

SK2117 断 面

写真図版29 土坑 (22)

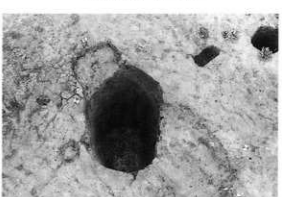
SK2118 全 景



SK2118 断 面

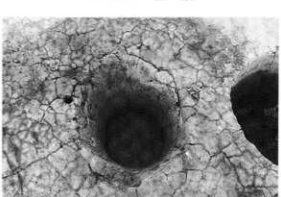
SK2119 全 景

SK2119 断 面



SK2120 全 景

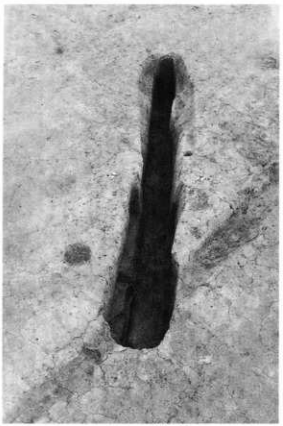
SK2120 断 面



SK2121 全 景

SK2121 断 面

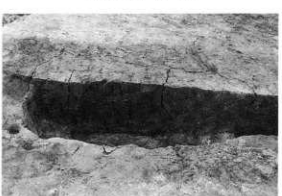
写真図版30 土坑跡 (23)



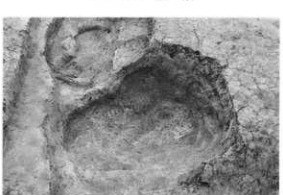
SK2122　全　景

SK2122　断　面

SK2124　全　景



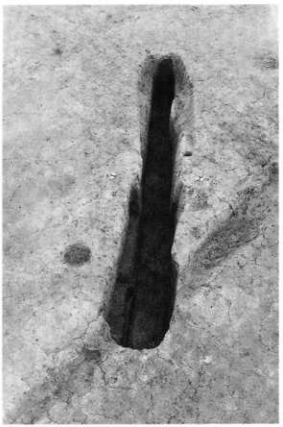
SK2124　断　面



SK2125　全　景

SK2125　断　面

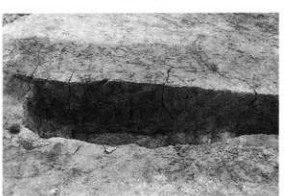
写真図版31　土坑跡（24）



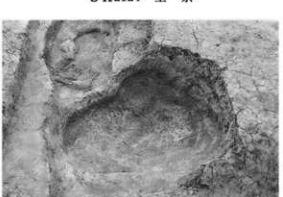
SK2122 全 景

SK2122 断 面

SK2124 全 景



SK2124 断 面

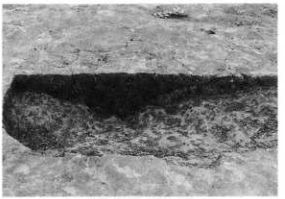


SK2125 全 景

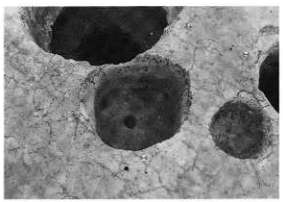
SK2125 断 面

写真図版31 土坑跡 (24)

SK2126　全　景

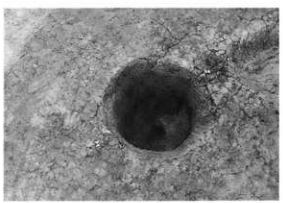


SK2126　断　面



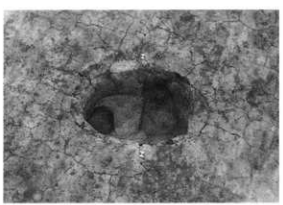
SK2127　全　景

SK2147　断　面

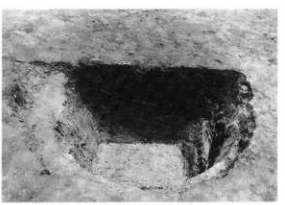


SK2128　全　景

SK2128　断　面



SK2129　全　景

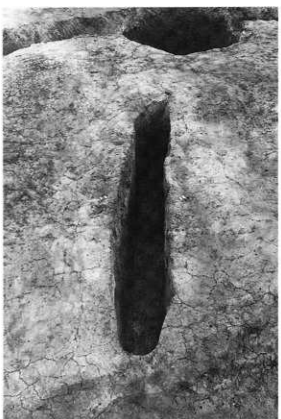


SK2129　断　面

写真図版32　土坑跡（25）

SK2130 全景

SK2130 断面



SK2131 全景

SK2132 全景

SK2131 断面

SK2132 断面

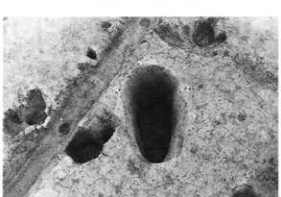
写真図版33 土坑跡 (26)

SK2133 全 景

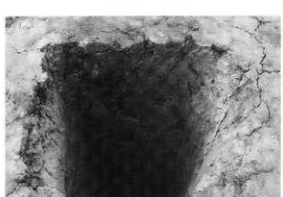
SK2133 断 面

SK2134 全 景

SK2134 断 面

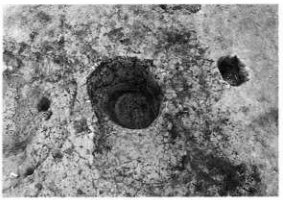


SK2135 全 景

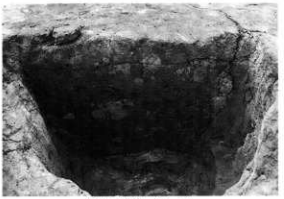


SK2135 断 面

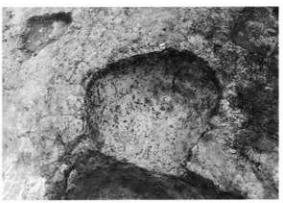
写真図版34 土坑跡 (27)



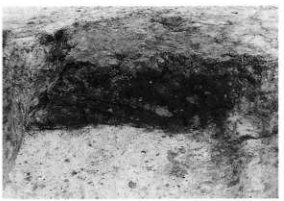
SK2136 全景



SK2136 断面



SK2137 全景



SK2137 断面

SK2138 全景

SK2138 断面

作業風景

作業風景

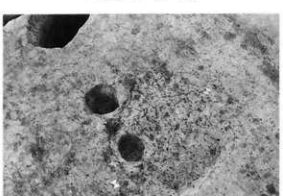
写真図版35 土坑跡 (28)

SK2139 全 景

SK2139 断 面

SK2140 全 景

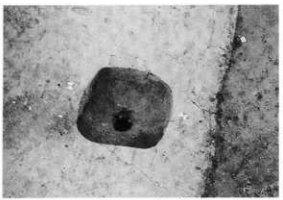
SK2140 断 面



SK2141 全 景

SK2141 断 面

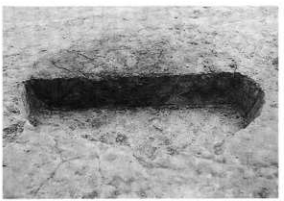
写真図版36 土坑跡 (29)



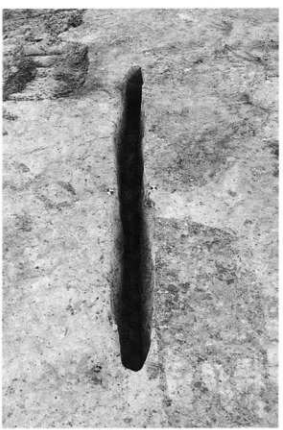
SK2142　全　景

SK2142　断　面

SK2143　全　景



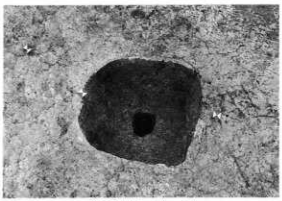
SK2143　断　面



SK2144　全　景

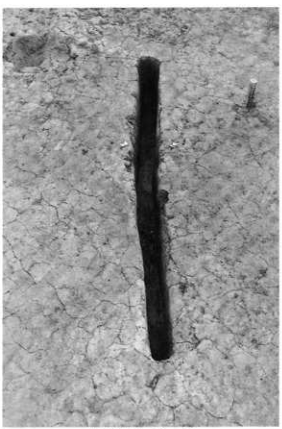
SK2144　断　面

写真図版37　土坑跡（30）

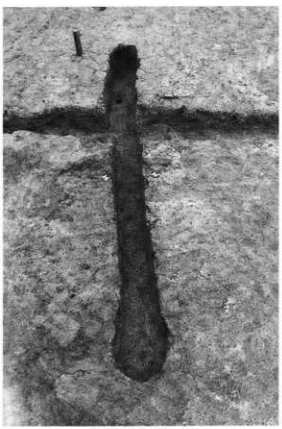


SK2145 全 景

SK2145 断 面



SK2146 全 景

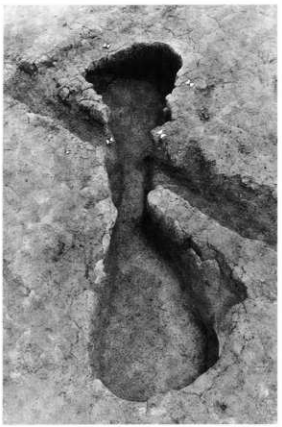


SK2147 全 景

SK2146 断 面

SK2147 断 面

写真図版38 土坑跡 (31)



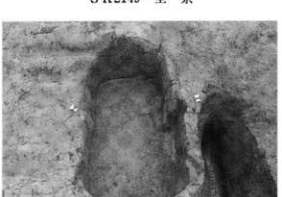
SK2148・2153　全　景

SK2148　断　面

SK2153　断　面

SK2149　全　景

SK2149　断　面



SK2150　全　景

SK2150　断　面

写真図版39　土坑跡（32）

SK2151　全　景

SK2151　断　面

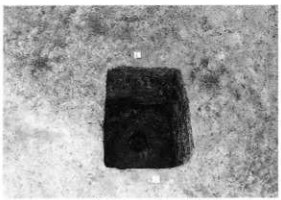
SK2152　全　景

SK2152　断　面

SK2154　全　景

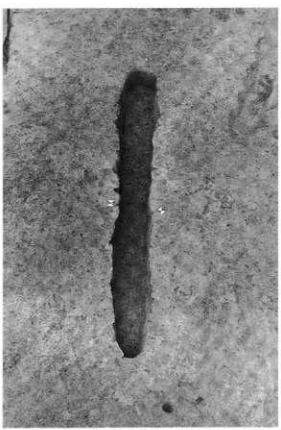
SK2154　断　面

写真図版40　土坑跡（33）



SK2155 全 景

SK2155 断 面



SK2156 全 景

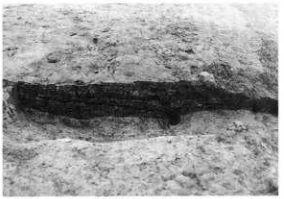
SK2157 全 景

SK2156 断 面

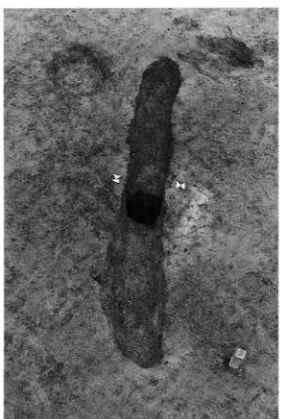
作 業 風 景

写真図版41 土坑跡 (34)

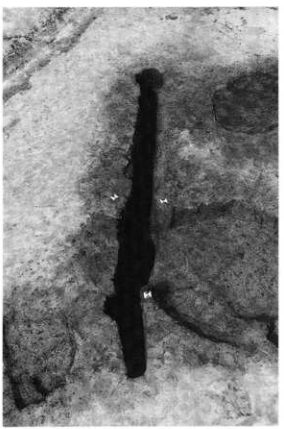
SK2158 全景



SK2158 断面



SK2159 全景



SK2160 全景

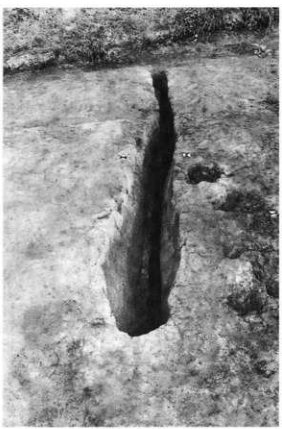
SK2159 断面

SK2160 断面

写真図版42 土坑跡（35）

SK2161　全　景

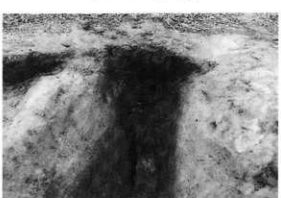
SK2161　断　面



SK2162　全　景

SK2163　全　景

SK2162　断　面



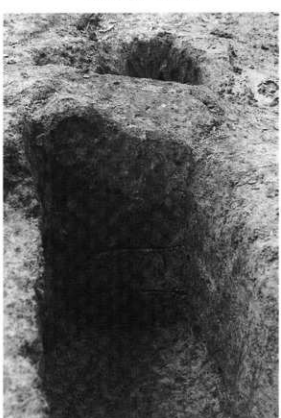
SK2163　断　面

写真図版43　土坑跡（36）

SK2164　全　景

SK2165　全　景

SK2164　断　面



SK2165　断　面

写真図版44　土坑跡（37）

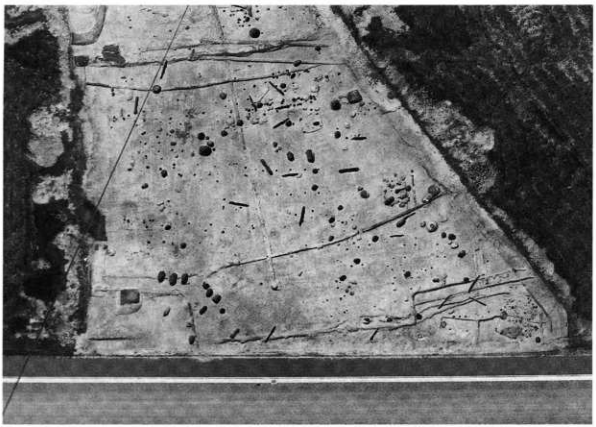
SD2003～2005　全　景

SD01　断　面

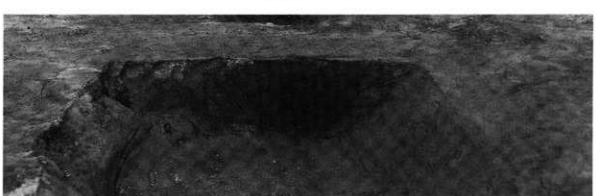
SD2005　断　面

SD2003・2004　断　面

写真図版45　溝跡（1）



SD2006　全　景

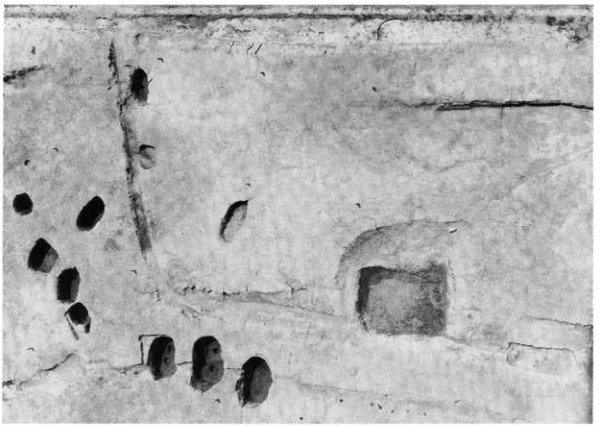


SD2006　断　面

SD2006　断　面

SD2006　断　面

写真図版46　溝跡（2）



ＳＤ2007・2008　全　景

ＳＤ2007・2008　断　面

作　業　風　景

作　業　風　景

写真図版47　溝跡（３）

SD2009～SD2012　全　景

SD2009　断　面

SD2010　断　面

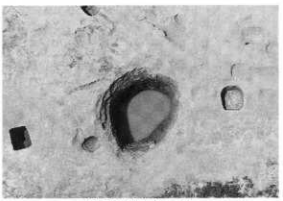
SD2011・2012　断　面

SD2011　杭　列

写真図版48　溝跡（4）

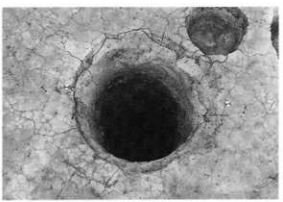
SD2013　全　景

SD2013　断　面

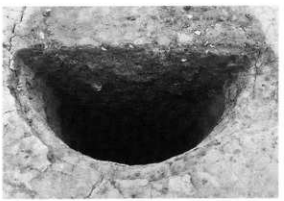


SE2003　全　景

SE2003　断　面



SE2004　全　景



SE2004　断　面

SE2004　木　枠

調　査　風　景

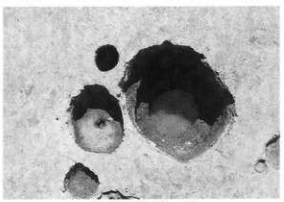
写真図版49　SD2013溝跡・井戸跡（1）

SE2005 全 景

SE2005 断 面

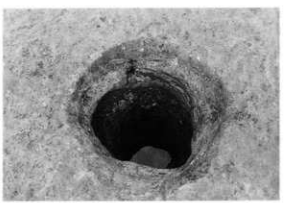
SE2006 全 景

SE2006 断 面



SE2007 全 景

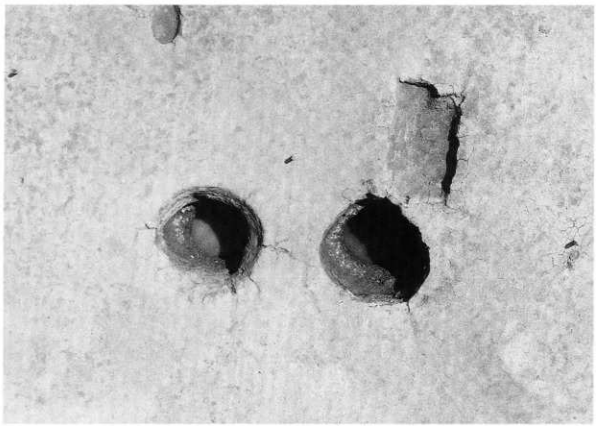
SE2007 断 面



SE2008 全 景

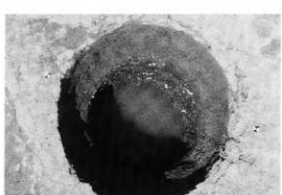
作 業 風 景

写真図版50 井戸跡（2）

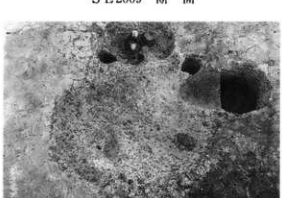


SE2008・2009　全　景

SE2009　断　面



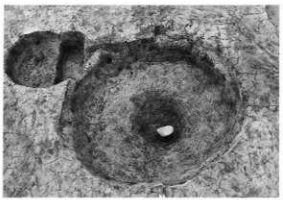
SE2010　全　景



SX2008　全　景

SX2008　断　面

写真図版51　井戸跡（3）・性格不明遺構（1）

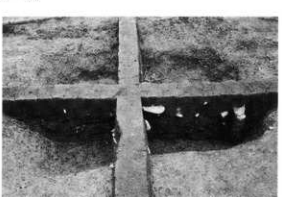


ＳＸ2009　全　景

ＳＸ2009　断　面

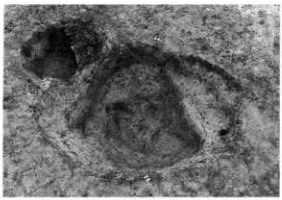
ＳＸ2010　全　景

ＳＸ2010　断面Ｎ－Ｓベルト



ＳＸ2010　断面Ｗ－Ｅベルト

写真図版52　性格不明遺構（２）



SX2011 全景

SX2011 断面

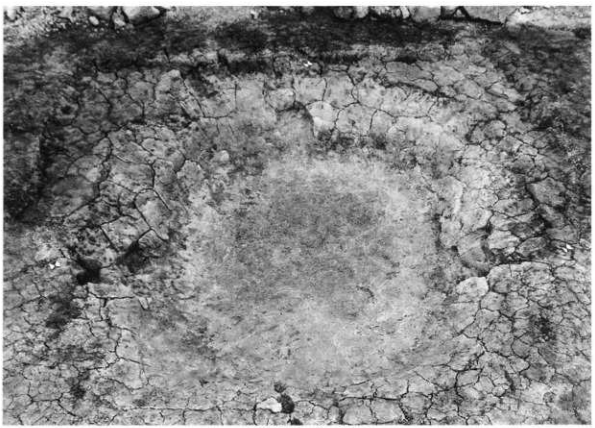
SX2012 全景

SX2012 断面

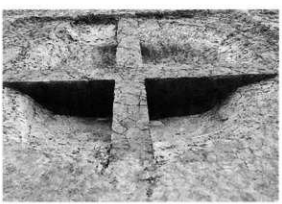
写真図版53 性格不明遺構（3）

ＳＸ2013　全　景

ＳＸ2013　断　面



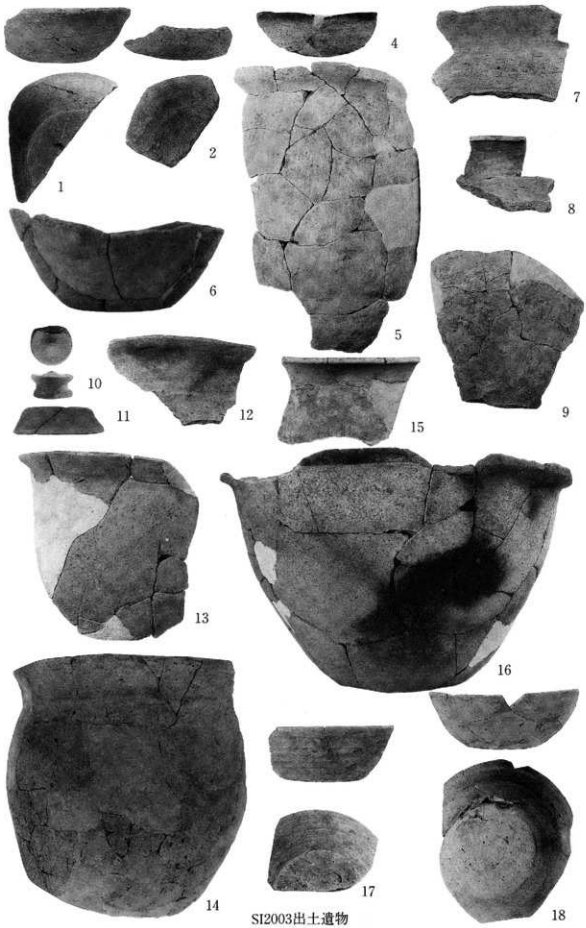
ＳＸ2015　全　景



ＳＸ2015　断面Ｎ-Ｓベルト

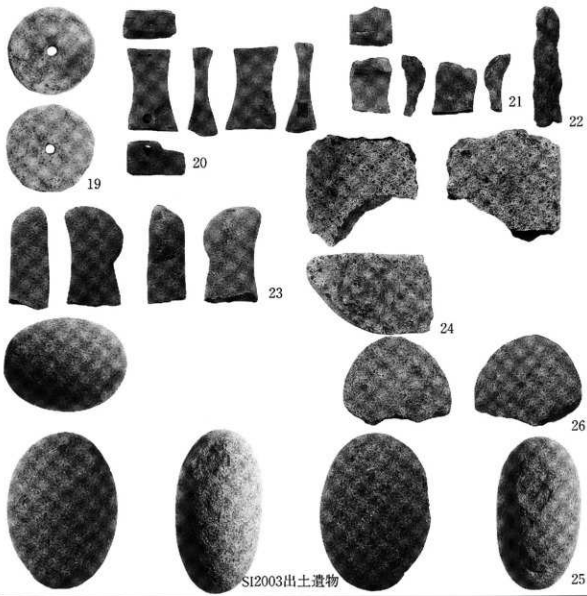
ＳＸ2015　断面Ｅ-Ｗベルト

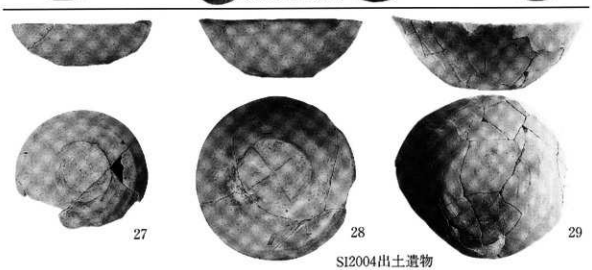
写真図版54　性格不明遺構（４）



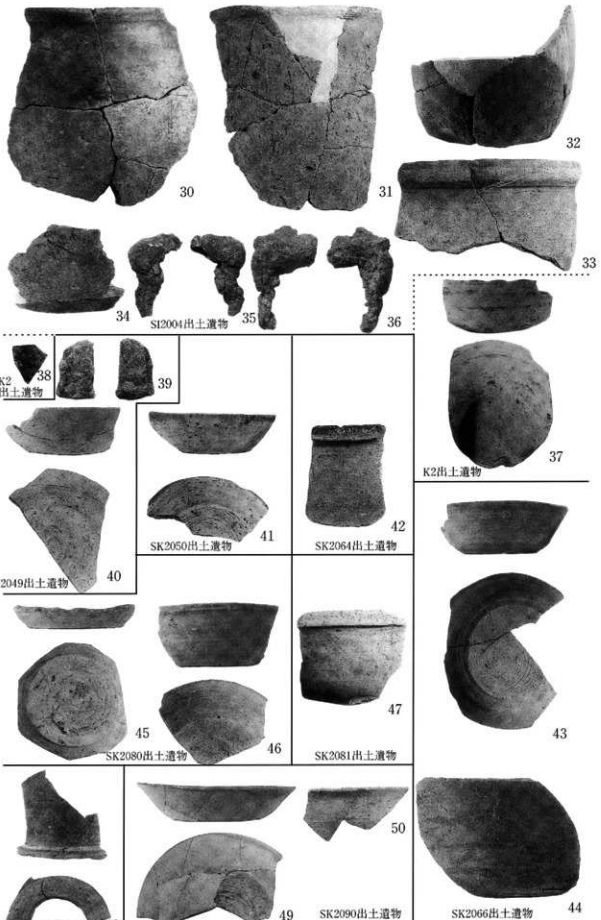
SI2003出土遺物

写真図版55　出土遺物（1）

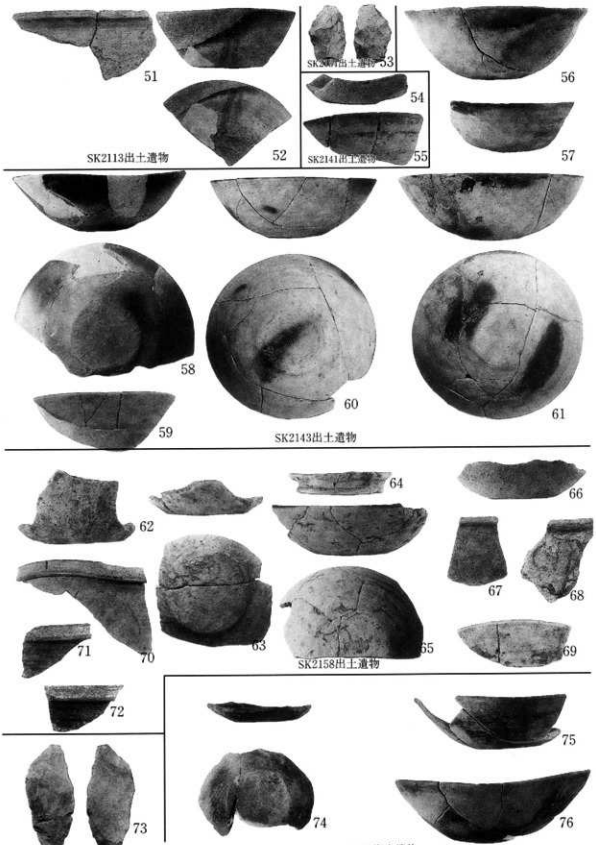




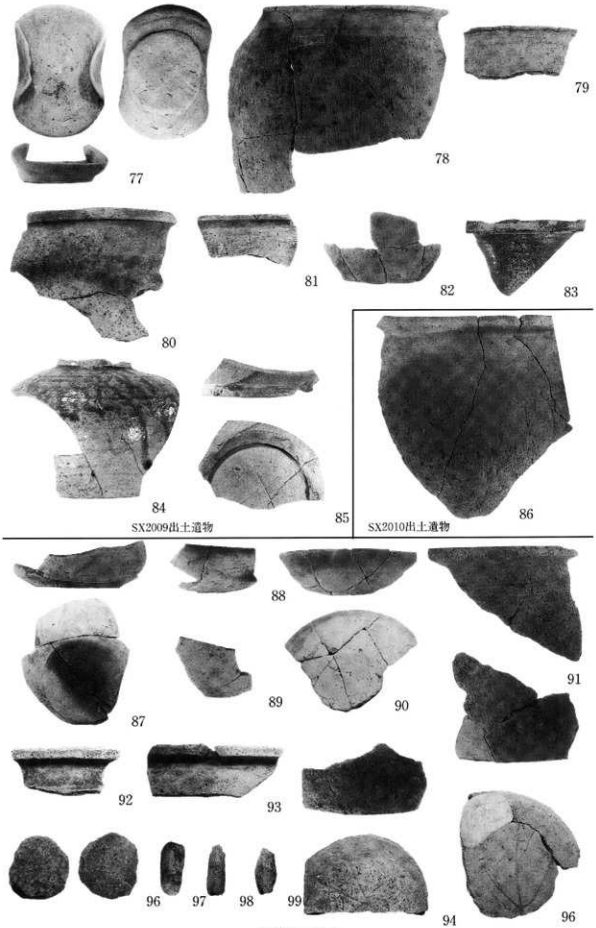
写真図版56　出土遺物（2）



写真図版57　出土遺物（3）



写真図版58　出土遺物（4）



写真図版59　出土遺物（5）

第59図　平成13年度遺構配置図